

取扱説明書 詳細版

DIGNO[®] rafre



au

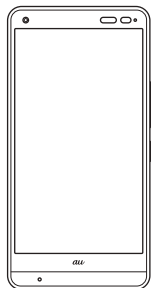
ごあいさつ

このたびは、DIGNO® rafre(ディグノ ラフレ)(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

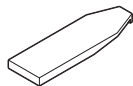
ご使用前に本製品に付属する『設定ガイド』『取扱説明書』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



KYV36用 IC Cardトレイ
取り出し工具(試供品)

- 取扱説明書
- 設定ガイド
- 本体保証書

以下のものは同梱されていません。

・ACアダプタ ・microSDメモリカード ・microUSBケーブル
・イヤホン



memo

- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

操作説明について

■『設定ガイド』／『取扱説明書』

主な機能の主な操作のみ説明しています。

さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』やauホームページより『取扱説明書(詳細版)』(本書)をご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

・本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』をご利用できます。

また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

ホーム画面→[アプリ一覧]→[取扱説明書]

・初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリをダウンロードして、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL:

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

本製品をご利用いただくにあたって

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。
- 故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
<http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair>
- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください(ただし、LTE/WiMAX 2+/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております)。
- 日本国内の緊急機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用した接続はできません。
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のために提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外でご利用される場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および社長の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- 撮影などした写真/動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元: 京セラ株式会社

お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ(ワンセグ)を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

目次

ごあいさつ	ii
同梱品一覧	ii
操作説明について	ii
本製品をご利用いただくにあたって	1
マナーも携帯する	1

目次 2

安全上のご注意 7

本書の表記方法について	8
安全上のご注意(必ずお守りください)	8
取り扱い上のお願	11
ご利用いただく各種暗証番号について	12
PINコードについて	12
MIL-STD-810G、防水・防塵に関するご注意	13
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について	16
2.4GHz帯ご使用上の注意	16
パケット通信料についてのご注意	16
アプリケーションについて	16

ご利用の準備 17

ご利用の準備	18
各部の名称と機能	18
スマートソニックレシーバーについて	19
au Nano IC Card O4について	19
au Nano IC Card O4を取り付ける/取り外す	19
au Nano IC Card O4を取り外す	20
充電する	20
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	20
パソコンを使って充電する	21
電源を入れる/切る	21
電源を入れる	21
電源を切る	21
強制的に電源を切り再起動する	21
スタート画面について	21
スタート画面からホーム画面を表示する	21
スリープモードについて	22
初期設定を行う	22
Googleアカウントをセットアップする	22
au IDを設定する	22

基本操作 23

基本操作	24
タッチパネルの使いかた	24
ナビゲーションバーの使いかた	24
縦/横画面表示を切り替える	24
ホーム画面を利用する	24
天気ウィジェットを利用する	24
ホーム画面の壁紙を変更する	25
ホーム画面にウィジェット/ショートカット/フォルダを追加する	25
スライドスクリーンを利用する	25
アプリ一覧を利用する	25
アプリ一覧のメニューを利用する	27
アプリ一覧のナビゲーションを利用する	27
インストールされたアプリを削除する	27
クイック起動エリアを利用する	27
ホームアプリを切り替える	27
エントリーホームを利用する	27
ショートカットキーを登録する	28
エントリーホームのホーム画面を拡張する	28

auベーシックホームを利用する	28
本製品の状態を知る	29
アイコンの見かた	29
通知パネルについて	29
最近使用したアプリを起動する	29
アプリショートカットを設定する	30
アシストリングを利用する	30
メニューを表示する	30
スクリーンショットを撮影する	30

文字入力 30

文字を入力する	30
iWnn IMEメニューを表示する	30
キーボードを切り替える	30
キーボードスタイルを切り替える	30
テンキー/フルキーで入力する	31
ケータイ入力を利用する	32
文字入力の便利な機能を利用する	32
絵文字/記号/顔文字を入力する	32
文字を切り取り/コピーしてから貼り付ける	32
引用入力(マッシュルーム)を利用する	32
iWnn IMEの各種設定を行う	33
ユーザー辞書に登録する	33
iWnn IMEケータイ入力の設定を行う	34

電話 35

電話	36
電話をかける	36
履歴を利用して電話をかける	36
ボイスパーティーで電話をかける	37
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)	37
電話を受ける	37
着信に伝言メモで応答する	38
着信を拒否する	38
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する	38
シンクコールについて	38
シンクコールを設定する	38
伝言メモを利用する	38
自分の電話番号を確認する(プロフィール)	38

メール 39

メールについて	40
Eメールを利用する	40
Eメールの表示モードを切り替える	40
フォルダモードでの画面の見かた	41
会話モードでの画面の見かた	42
Eメールを送信する	42
宛先を追加・削除する	43
送信予約をする	43
Eメールにデータを添付する	43
D絵文字を利用する	43
コミコミを利用する	44
本文入力中にできること	44
フォルダモードで本文を装飾する	44
Eメールを受信する	45
添付データを受信・再生する	45
添付画像を保存する	45
差出人/宛先/件名/電話番号/Eメールアドレス/URLを利用する	45
新着メールを問い合わせで受信する	46
Eメールを検索する	46
Eメールをフォルダモードで確認する	46
Eメール一覧画面でできること	47
Eメールを個別に操作する	48
Eメール詳細表示画面でできること	48
フォルダ一覧画面でできること	49
フォルダを作成/編集する	49
Eメールを会話モードで確認する	50
スレッド一覧画面でできること	50

スレッド内容表示画面でできること	50
Eメールを個別に操作する	50
Eメールを設定する	51
受信・表示に関する設定をする	51
送信・作成に関する設定をする	52
通知に関する設定をする	52
個別の通知に関する設定をする	52
Eメールアドレスの変更やその他の設定をする	53
Eメールをバックアップ／復元する	53
メールデータをバックアップする	53
メールデータを復元する	53
Eメールをまるごとバックアップする	54
まるごとバックアップデータを復元する	54
迷惑メールフィルターを設定する	54
SMSを利用する	55
SMSを送信する	55
SMSを受信する	56
SMSを返信／転送する	56
電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する	56
SMSを保護／保護解除する	56
SMSの電話番号を電話帳に登録する	56
SMSを検索する	56
SMSを削除する	56
SMSを設定する	57
受信フィルターを設定する	57
Gmailを利用する	57
Gmailを起動する	57
Gmailを更新する	57
Gmailを送信する	57
Gmailを受信する	57
Gmailを返信／転送する	58
Gmailのメニューを利用する	58
インターネット	59
インターネットに接続する	60
パケット通信を利用する	60
Chromeを利用する	60
Webページを表示する	60
Webページを移動する	60
Webページのメニューを利用する	60
ブックマーク／履歴を利用する	61
ブックマークを利用する	61
ブックマークに登録する	61
履歴を利用する	61
ツール・アプリケーション	63
電話帳	64
連絡先を登録する	64
連絡先から電話をかける	64
連絡先を編集／削除する	64
連絡先を編集する	64
連絡先を削除する	64
グループを設定する	64
連絡先をインポート／エクスポートする	65
インポートする	65
エクスポートする	65
カメラ	65
カメラを利用する	65
カメラをご利用になる前に	65
撮影画面の見かた	66
撮影前の設定をする	66
静止画／動画を撮影する	67
QR・バーコードリーダーを利用する	67
ギャラリーでファイルを表示する	68
データを再生する	68
ギャラリーのメニューを利用する	68

静止画を編集する	68
音楽を聴く	68
音楽データを再生する	68
音楽を再生する	68
曲や曲に関連する情報を検索する	68
プレイリストを作成する	69
ビデオを再生する	69
テレビ	69
テレビ利用時のご注意	69
テレビの初期設定をする	70
テレビを見る	70
テレビの設定をする	70
テレビリンクを利用する	71
テレビを終了する	71
番組表を利用する	71
テレビ番組を視聴予約する	71
予約お知らせを設定する	71
放送エリアを登録・変更する	71
放送エリアを登録する	71
放送エリアを変更する	71
おサイフケータイ®	72
おサイフケータイ®とは	72
おサイフケータイ®ご利用にあたって	72
リーダー／ライターとやりとりする	72
おサイフケータイ®を設定する	73
おサイフケータイ®の機能をロックする	73
NFCを利用する	73
Reader/Writer, P2P機能をオンにする	73
Androidビームでデータを送信／受信する	74
NFCタグリーダーを利用する	74
NFCタグリーダーでデータを送信／受信する	74
NFCメニューを利用する	74
FeliCaに対応したサービスを利用する	75
「おサイフケータイ」アプリのメニューを利用する	75
Androidアプリ	75
Google Playを利用する	75
Google Playをご利用になる前に	75
アプリを検索し、インストールする	75
アプリを管理する	76
提供元不明のアプリのダウンロード	76
インストールされたアプリを削除する	76
YouTube	76
YouTubeを利用する	76
Facebookを利用する	76
Googleサービス	77
ハンガアウトを利用する	77
ハンガアウトにログインする	77
Googleマップを利用する	77
ストリートビューを表示する	77
興味のある場所を検索する	77
周辺のスポットを確認する	77
道案内を取得する	77
カレンダーを利用する	78
カレンダーのメニューを利用する	78
予定を新規登録する	78
カレンダーを設定する	78
時計を利用する	78
アラームを利用する	78
アラームを削除する	78
「時計」アプリの設定をする	78
タイマーを利用する	79
ストップウォッチを利用する	79
世界時計を利用する	79
電卓を利用する	79
メモ帳を利用する	79
メモを確認／編集する	79

メモを選択して削除する	79	Wi-Fi®機能の詳細設定をする	95
音声レコーダーを利用する	79	Wi-Fi Direct®を設定する	95
音声を再生する	80	テザリング機能を利用する	96
音声データを選択して削除する	80	テザリングについて	96
簡易ライトを利用する	80	USBテザリング機能を利用する	96
エコモードを利用する	80	Wi-Fi®テザリング機能を利用する	96
エコモードを設定する	80	Bluetooth®テザリング機能を利用する	96
自動設定を利用する	80	機能設定	97
スクリーンショットシェアを利用する	81	機能設定	98
スクリーンショットを撮る	81	設定メニューを表示する	98
画像を編集する	81	au設定メニューを利用する	98
画像やテキストを他のアプリへ送る	81	無線とネットワークの設定をする	98
auお客さまサポートアプリを利用する	82	機内モードを設定する	99
auスマートサポートを利用する	82	VPNを設定する	99
auスマートサポートでできること	82	通話に関する設定をする	99
Lookout for auを利用する	82	着信拒否を設定する	100
位置検索をご利用いただくにあたって	82	画面の設定をする	100
Lookout for auを利用する	82	スクリーンセーバーを設定する	100
リモートサポートを利用する	82	音と通知の設定をする	100
リモートサポートを利用する	82	各種音量を調節する	100
安心アクセス for Android™を利用する	83	マナーモードを設定する	100
管理者情報を登録する	83	ストレージに関する設定をする	101
管理者ページを利用する	83	電池使用量を表示する	101
スマートフォン自動診断を利用する	84	位置情報の設定をする	101
au Wi-Fi接続ツールを利用する	84	スタート画面の設定をする	101
au災害対策アプリを利用する	84	スタート画面のセキュリティをかける	101
災害用伝言板を利用する	84	スタート画面のセキュリティを解除する	101
緊急速報メールを利用する	85	スタート画面の背景を設定する	101
災害用音声お届けサービスを利用する	85	セキュリティの設定をする	102
災害関連情報を利用する	85	SIMカードロックを設定する	102
auスマートパスを利用する	86	アカウントの設定をする	102
アカウントを追加/削除する	86	アカウントを追加/削除する	102
ファイル管理	87	言語と入力に関する設定をする	102
内部ストレージ	88	バックアップとリセット	103
microSDメモリカードを利用する	88	本製品を初期化する	103
microSDメモリカードを取り付ける/取り外す	88	日付と時刻の設定をする	103
microSDメモリカードを取り付ける	88	日付を設定する	103
microSDメモリカードを取り外す	88	時刻を設定する	103
microUSBケーブルでパソコンと接続する	89	ユーザー補助の設定をする	103
メモリの使用量を確認する	89	ユーザー補助プラグインを利用する	103
microSDメモリカードを初期化する	89	印刷に関する設定をする	104
ファイルコマンドーを利用する	90	端末情報に関する設定をする	104
データ通信	91	auのネットワークサービス・海外利用	105
赤外線通信	92	auのネットワークサービスを利用する	106
赤外線の利用について	92	着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	106
赤外線データを受信する	92	着信お知らせサービスについて	106
赤外線データを送信する	92	着信転送サービスを利用する(標準サービス)	106
各機能のメニューから赤外線送信する	92	応答できない電話を転送する(無応答転送)	106
Bluetooth®機能	93	通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)	106
Bluetooth®機能をオンにする	93	応答できない電話を転送する(圏外転送)	106
Bluetooth®機器を登録する	93	手動で転送する(選択転送)	107
他のBluetooth®機器から検出可能にする	93	かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	107
Bluetooth®機器の接続を解除する	93	着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)	107
Bluetooth®機能でデータを送受信する	94	発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	107
Bluetooth®機能でデータを送信する	94	電話番号を通知する	107
Bluetooth®機能でデータを受信する	94	番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	107
無線LAN(Wi-Fi®)機能	94	番号通知リクエストサービスを開始する	108
Wi-Fi®機能をオンにする	94	番号通知リクエストサービスを停止する	108
Wi-Fi®ネットワークに接続する	95	お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	108
Wi-Fi®ネットワークを簡単に設定する	95	お留守番サービスEXIについて	108
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する	95	お留守番サービス総合案内(141)を利用する	108
Wi-Fi®機能を切断する	95	応答できない電話を転送する(無応答転送)	108
Wi-Fi安定制御機能を設定する	95	通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)	108
Wi-Fi®機能のスリープ設定をする	95	応答できない電話を転送する(圏外転送)	108

手動で転送する(選択転送).....	109
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送).....	109
電話をかけてきた方が伝言を録音する.....	109
ボイスメールを録音する.....	109
伝言お知らせについて.....	109
伝言・ボイスメールを聞く.....	109
応答メッセージの録音/確認/変更をする.....	110
伝言の蓄積を停止する(不在通知).....	110
伝言の蓄積停止を解除する.....	110
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス).....	110
英語ガイダンスへ切り替える.....	110
日本語ガイダンスへ切り替える.....	110
三者通話サービスを利用する(オプションサービス).....	111
割込通話サービスを利用する(オプションサービス).....	111
割込通話サービスを開始する.....	111
割込通話サービスを停止する.....	111
割込通話を受ける.....	111
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス).....	111
撃退する電話番号を登録する.....	112
登録した電話番号を全件削除する.....	112
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス).....	112
グローバルパスポート.....	112
GLOBAL PASSPORT(グローバルパスポート)について.....	112
海外でご利用になるときは.....	112
海外で安心してご利用いただくために.....	113
海外利用に関する設定を行う.....	113
データローミングを設定する.....	113
渡航先で電話をかける.....	113
渡航先から国外(日本含む)に電話をかける.....	113
渡航先の国内に電話をかける.....	113
渡航先で電話を受ける.....	113
お問い合わせ方法.....	114
海外からのお問い合わせ.....	114
日本国内からのお問い合わせ.....	114
サービスエリアと海外での通話料.....	114
パケットサービス・メッセージサービスの通信料.....	115
主な国・地域の国際アクセス番号&国番号一覧.....	115
グローバルパスポートに関するご利用上の注意.....	115
付録/索引.....	117
付録.....	118
周辺機器のご紹介.....	118
故障とお考えになる前に.....	118
イヤホンを使用する.....	119
ソフトウェアやOSを更新する.....	119
ソフトウェアやOSをダウンロードして更新する.....	119
SIMロック解除.....	120
アフターサービスについて.....	120
利用できるデータの種類.....	121
主な仕様.....	121
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	121
索引.....	122
知的財産権について.....	124
おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意.....	125
1. おサイフケータイ®対応サービスについて.....	125
2. FeliCaチップ内及びau ICカード内のデータの取り扱い等について.....	125
3. FeliCaチップまたはau ICカードの固有の番号等の通知について.....	125
4. 不正利用について.....	126
5. その他.....	126
au Wi-Fi SPOT利用規約.....	126
OpenSSL License.....	127
FCC Notice.....	127
European RF Exposure Information.....	127
Declaration of Conformity.....	127



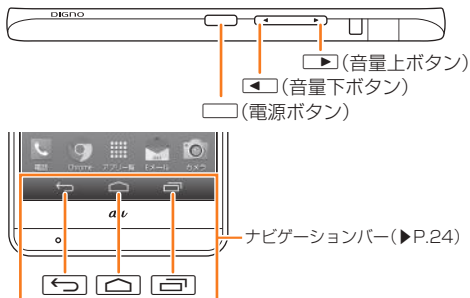
安全上のご注意

本書の表記方法について.....	8
安全上のご注意(必ずお守りください).....	8
取り扱い上のお願い.....	11
MIL-STD-810G、防水・防塵に関するご注意.....	13
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について.....	16
パケット通信料についてのご注意.....	16
アプリケーションについて.....	16

本書の表記方法について

■掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です(▶P.24)。

表記例	意味
ホーム画面→[電話]→ [1][4][1]→[発信]	ホーム画面下部の「[電話]」をタップします。続けて「[1]」「[4]」「[1]」の順にタップして、最後に「[発信]」をタップします。
スリープモード中に [電源ボタン]	スリープモード中に[電源ボタン]を押します。

■掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。また、画面の一部などを省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



memo

- ◎本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- ◎本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎本書では本体カラー「コーラルピンク」の表示を例に説明しています。
- ◎本書では「microSD™メモリーカード」および「microSDHC™メモリーカード」、「microSDXC™メモリーカード」の名称を、「microSDメモリーカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎本書に表記の金額は、特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- この「安全上のご注意」には本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書詳細版」(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明

	危険	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	警告	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負うことが想定される内容」を示しています。
	注意	この表示は「取り扱いを誤った場合に人が軽傷 ^(※2) を負うことが想定される内容や物的損害 ^(※3) の発生が想定される内容」を示しています。












※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
 ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
 ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■図記号の説明










	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card 04、周辺機器共通

- 危険** 必ず下記危険事項をお読みになってからご使用ください。
 - 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
 - 高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
 - 電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
 - 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
 - お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電法違反になります。
 - 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客様センターまでお問い合わせください。
- 警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。
 - ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ[®]の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください(おサイフケータイをロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください)。
 - 金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子、イヤホンマイク端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。



-  落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
-  屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
-  接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。発熱・火災・故障・感電・やけどの原因となります。
-  本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部だけがする場合があります。
-  本製品が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。
-  本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体がイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーなどから本製品などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。
-  自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。交通事故や転倒・転落事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
-  所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。
-  乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。
-  使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。
-  充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、発熱・発火・破損・故障の原因となります。

注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。







-  カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災、故障の原因となります。
-  直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほりの多い場所に保管しないでください。発熱・変形・故障の原因となる場合があります。
-  ぐらついた台の上や傾いた場所などに置いたり、不安定な場所で充電したりしないでください。落下してけがや破損の原因となります。パイプレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。故障・傷害の原因となります。
-  本製品を長時間使用したり、外部電源と接続したりした状態では熱くなることがあります。本製品や指定の充電用機器に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。また、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。
-  本製品を充電する際は、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
-  腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
-  使用中に煙が出たり、臭異や異音がある、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
-  イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、少しずつ音量を上げて適度な音量に調節してください。始めから音量を上げすぎて突然大きな音が出たり、音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。
-  ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。

■ 本体について



危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

-  本体にくぎをさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。
-  ベットが本体に噛みつかないようにご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。

警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

-  航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
-  病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
-  赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。
-  撮影ライト/簡易ライトをご使用になる場合は、人の目の前、自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて発光させないでください。また、撮影ライト/簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。
-  ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。
-  本製品のディスプレイ部には化学強化ガラスを使用していますが、万一、破損してしまった場合は破損部に触れないでください。破損部だけがすることがあります。auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。




-  自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。
-  皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

■ DIGNO® rafre本体

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース、スクリーンフロント(ディスプレイ側)	PA樹脂	アクリル系UV硬化塗装
外装ケース(背面側)	PC樹脂	ウレタン系熱硬化塗装
ディスプレイ	化学強化ガラス	防汚処理
イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバー、音量下/上ボタン、TVアンテナ先端	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
電源ボタン	アルミニウム	アルマイト処理
カメラレンズ	PMMA樹脂	ハードコート処理
TVアンテナシャフト	ステンレス	-
モバイルライト部	PMMA樹脂	-

■ KYV36用 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)

使用場所	使用材料	表面処理
外装	POM樹脂	-

-  キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。
-  イヤホンマイク端子、外部接続端子、microSDメモリーカードスロット、au Nano IC Card O4挿入口に液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。
-  イヤホンなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

! 通常はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

! テレビ(ワンセグ)視聴時以外ではTVアンテナを収納してください。TVアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

! 心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

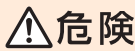
! 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

■ 内蔵電池について



Li-ion 00

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。) 内蔵電池をお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならないときは、ご使用前に充電してください。



必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

! 液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますので直ちに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

! 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■ 充電用機器について



必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

! 指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。
・海外で充電可能なACアダプタ(別売): AC100V~240V

! 指定の充電用機器の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

! 指定の充電用機器のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。

! 雷が鳴り出したら指定の充電器に触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

! お手入れをするときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、回路のショートの原因となります。

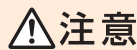
! 電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

! 長時間使用しない場合は指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。火災・故障の原因となります。

! 水やベットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器の電源プラグを抜いてください。

! ご使用にならないときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントに接続したままにしないでください。また、指定の充電用機器の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

! 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。



必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



風呂場などの湿気が多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。



! 指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au Nano IC Card 04について



必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



! au Nano IC Card 04の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。



カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。



カードは、直射日光が当たったり高温となる場所やほこりの多い場所には保管、放置しないでください。故障の原因となります。



! au Nano IC Card 04は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について



必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

取り扱い上のお願い

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card O4、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くの物が詰まった荷物の中に入れて、中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーをしっかりと取り付けた状態でご使用ください。ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたままでイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水滴れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
 - 充電用機器
 - 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～90%の範囲内でご使用ください。ただし、-21℃～50℃であれば一時的な使用は可能です。)
 - 本製品本体
 - au Nano IC Card O4(本製品本体装着状態)なお、お風呂場については浴室温度40℃以下、湿度99%以下で連続使用1時間以内でご使用ください。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

- 接続端子、イヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子、イヤホンマイク端子を変形させないでください。

- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、塗装面の品質変化により、外装印刷の剥がれ、色あせ、自然回復性能が劣化したり自然回復できなかつたりする場合があります。

- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。

- 本製品には、シールなどを貼り付けしないでください。音が出なくなる場合や相手に音声が届かなくなることがあります。

■ 本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。

- ボタンやディスプレイの表面、背面塗装部に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。

- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- ・ 爪の先での操作
- ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
- ・ 保護シートやシールなどを貼った状態での操作
- ・ 水中での操作

- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合に電波法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が本製品本体内で確認できるようになっております。ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[端末情報]→[認証情報]本製品本体を分解して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイおよび背面塗装部が金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下での使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。

- カメラのレンズやディスプレイの内側が温度や湿度などの使用環境によってくもる(結露する)ことがあります。本製品の故障や不具合ではありません。

- カメラのレンズやディスプレイの内側が結露しやすい環境について以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズやディスプレイの内側がくもる(結露する)場合があります。
 - ・ 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
 - ・ 寒い場所から屋内などの暖かい場所に持ち込む
 - ・ 湿度が高い環境で外部接続端子カバーなどを開閉する

- くもりを取る方法
高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所でキャップ類(イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバー)を開けた状態で放置し、周囲の温度になじませるとくもりが取れます。

- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。

- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のコネクタやプラグがまっすぐになるように抜き差ししてください。

- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

- microSDメモ리카ードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れしないでください。手や指を傷つける場合があります。

- microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

- 通話中、送話口(マイク)を指などでおわれないようにご注意ください。相手にこちらの声が聞こえにくくなります。

- センサーを指でふさいだり、センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の状況にセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に表示されなくなり、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■ 本体背面塗装について

- 本製品の背面には、通常使用する際に摩擦などで発生する浅い擦り傷であれば、自然回復可能な塗装技術が使われています(スクラッチヒーリング)。
 - ・ 背面部にシールなどを貼ると、シール痕が残ったり、塗装面の品質変化により自然回復性能が劣化したりする場合があります。
 - ・ 周囲の温度環境、傷の深さによって回復する時間は変化します(傷の回復に1週間程度の時間を要する場合があります)。
 - ・ 本製品を落下させる、投げつけるなど強い衝撃、鋭利な物との接触などによって発生する深い傷(塗装の剥がれ、塗装自体の切断なども含む)はスクラッチヒーリングでも回復できません。すべての傷の回復を保証するものではありません。
 - ・ 本製品の使用および保管中のご利用環境(摩擦素材、荷重、温度など)により、自然回復性能が劣化したり、自然回復できなかつたりする場合があります。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。

- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。

- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

- 手袋を装着した状態でのタッチ操作が可能です。手袋の厚み・素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
 - ・ 手袋に水滴が付着している状態でタッチ操作ができない場合は、水滴を拭き取ってください。
 - ・ 素手でタッチ操作した後手袋を装着してタッチ操作ができない場合は、本製品を一度スリープモードに移行してから、スリープモードを解除してください。
 - ・ 指先がフィットしていない手袋でのタッチ操作ができない場合は、指の腹をディスプレイに当てるように操作してください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。

- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。

- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
 - ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)
 - ・ 電池残量なしの状態(本製品の電源が入らない程度消費している状態)
 - ・ 高温多湿の状態

■ au Nano IC Card O4について

- au Nano IC Card O4の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au Nano IC Card O4を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card O4のIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)などで拭いてください。
- au Nano IC Card O4にシールなどを貼らないでください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なマラルをお守りの上ご使用ください。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

■ FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission(FCC)の認証を受けています。本製品のFCC IDはJOYKA85です。また、以下の方法でも確認できます。確認方法：ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[端末情報]→[認証情報]

■ ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更の上お使いください。

● 暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● スタート画面のセキュリティの設定

使用例	セキュリティの設定/解除をする場合
初期値	スライド

● PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card O4の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更の上お使いください。

● ロックNo.([NFC/おサイフケータイロック])

使用例	[NFC/おサイフケータイロック]を利用する場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更の上お使いください。

■ PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Nano IC Card O4の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

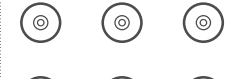
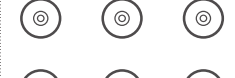
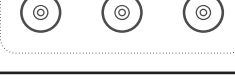
- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は入力が必要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4~8桁のお好きな番号、入力可否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上ご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card O4が取り付けられているプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPiItもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

◀この部分をコピーしてご使用ください▶

【パスワード記載欄】	
GoogleアカウントID @gmail.com	セキュリティ(スタート画面):ロックNo.
Googleアカウントパスワード	セキュリティ(スタート画面):パスワード
au IDアカウントID	セキュリティ(スタート画面):パターン
au IDアカウントパスワード	
FacebookアカウントID	
Facebookアカウントパスワード	

MIL-STD-810G、防水・防塵に関するご注意

本製品はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーが完全に装着された状態でIPX5^{*1}相当、IPX8^{*2}相当の防水性能およびIP5X^{*3}相当の防塵性能を有します。また、ハンドソープ^{*4}を使った指定の洗浄方法で洗浄することが可能です(当社試験方法による)。

米国防総省が定めるMIL規格準拠^{*5}の耐衝撃・耐振動性能および温度耐久性能を実現しております(当社試験方法による)。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本製品内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

※4 当社試験で使用したハンドソープ(2015年11月現在)

ライオン株式会社:キレイキレイ 泡ハンドソープ、キレイキレイ キッチン液体ハンドソープ
花王株式会社:ビオレ[®] 泡ハンドソープ

レキットベンキョー・ジャパン株式会社:ミュース 液体ハンドソープ

※5 MIL-STD-810Gについて

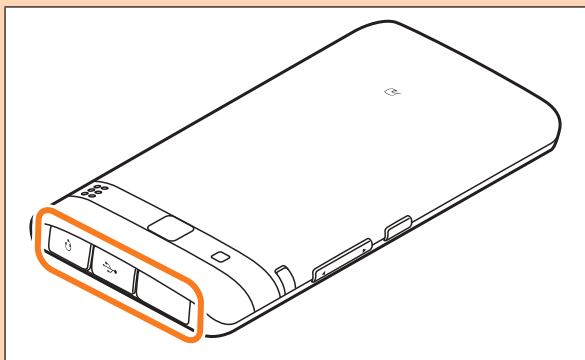
落下	高さ約1.22mから26方向で合板(ラワン材)に落下させる試験
浸漬	約1.5mの水中に30分間浸漬する試験
振動	3時間(3方向各1時間/20~2,000Hz)の振動試験
高温(動作/保管)	動作環境:50℃で連続3時間、保管環境:60℃で連続4時間の高温耐久試験
低温(動作/保管)	動作環境:-21℃で連続3時間、保管環境:-30℃で連続4時間の低温耐久試験

本製品の有する性能および利用シーンは試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての状況での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

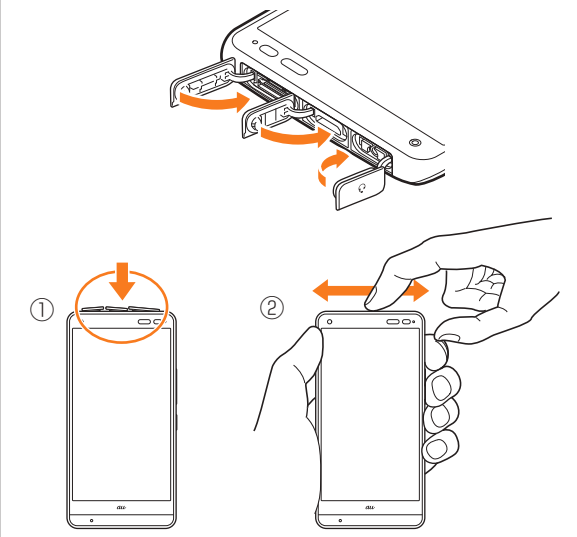
正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

ご使用にあたっての重要事項

- イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーをしっかり閉じてください。
 - ・完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
 - ・接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
 - ・手や本製品が濡れている状態でのイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。
 - ・イヤホンを差したまま、水に浸けないでください。



イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの閉じたカバーのヒンジを収納してから①カバー全体を指の腹で押し込んでください。②矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。



- 当社試験で使用したハンドソープ以外の石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、ボディソープ、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などで洗浄しないでください。付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。

- 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。
- 水以外の液体(アルコールなど)に浸けないでください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- お風呂場、台所など、湿気が多い場所に長時間放置しないでください。



石けん・洗剤・入浴剤



海水



プール



温泉



砂・泥

快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本製品の隙間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に各ボタン、イヤホンマイク端子部、外部接続端子部、カード挿入口部、スピーカー部の水を抜いてください。
- 送話口(マイク)、スピーカーなどに水がたまり、一時的に音が伝わりにくくなった場合は水抜きをしてください。
- スピーカーに水滴が残っていると一時的に異音が出る場合があります。水抜きをした後、よく乾燥させてください。

■ 利用シーン別注意事項

<雨の中>

- 雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。
- ・雨とは、「やや強い雨」の場合(1時間の雨量が20mm未満まで)を指します。
 - ・雨がかかっている最中、または手が濡れている状態でのイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。

<シャワー>

- シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

<お風呂場>

- お風呂場で使用できます。
- ・濡れた手で操作できますが、湯船には浸けないでください。
 - ・お風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、テレビ視聴や通話、データ通信ができない場合があります。
 - ・お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿仕様ではありません。浴室温度40℃以下、湿度99%以下で連続使用1時間以内でご使用ください。ただし、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
 - ・急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本製品が常温になってから持ち込んでください。また、お風呂場で暖まった本製品に冷たい水をかけないでください。浸水の原因となります。
 - ・カメラのレンズやディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
 - ・高温のお湯がかからないようにご注意ください。湯温の上限は43℃となります。耐熱設計ではありません。

<プールサイド>

- ・ プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- ・ プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水*で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。

*やや弱めの流水(6リットル/分以下)

<キッチン>

キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- ・ 洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- ・ 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- ・ コントラのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。
- ・ テレビを見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

■共通注意事項

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーについて

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。

水に濡れた後は

水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したまま使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください(本製品は、結露に関しては特別な対策を実施していません)。

ゴムパッキンについて

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバー周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付いたり、はがしたりしないでください。

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。

イヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。

防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

充電について

本製品が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。オプション品は防水性能を有していません。

防水性能について

耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所(蛇口・シャワーなど)でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い流水(6リットル/分以上の流水:例えば、蛇口やシャワーから肌に当たって痛みを感じるほどの強さの流水)を直接当てないでください。本製品はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。本製品は水に浮きません。

耐熱性について

熱湯・サウナ・熱風(乾燥機、ドライヤーなど)は使用しないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

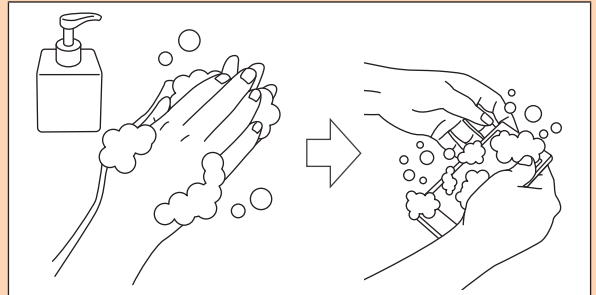
洗浄のしかた

- 市販のアクセサリ商品(端末カバー、ケース、ストラップなど)は取り外してください。
- 市販の保護シート(au+1 collectionの対象商品を除く)を貼った状態で洗浄しないでください。保護シートの剥がれ、保護シートとガラスの間への浸水などの恐れがあります。
- 当社試験で使用したハンドソープ以外の石けん、洗剤、入浴剤、シャンプー、リンス、ボディソープ、洗顔料、メイク落とし、歯磨き粉などで洗浄しないでください。付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。
- 種類の異なるハンドソープは混ぜないでください。
- ハンドソープ原液は付けしないでください。原液が付いた場合には、直ちに水で洗い流してください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときはイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子カバー、カード挿入口カバーがしっかりと閉じていることを確認し、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。

- 洗濯機や超音波洗浄機、食器洗浄機などで洗わないでください。
- 洗浄時の製品傷付き防止のため、装飾品(腕時計、指輪、付け爪など)は外してください。
- 急激な温度変化により本製品内部への浸水の恐れがありますので、本製品が冷え切った状態や温かい状態では洗わないでください。本製品は常温(25℃程度)の状態です。

1 本製品の電源を切ります。

2 手を洗った後、ハンドソープ原液を手のひらに乗せて十分に泡立ててから本製品を持ち、表面と背面が同じ頻度でするようによく洗ってください。



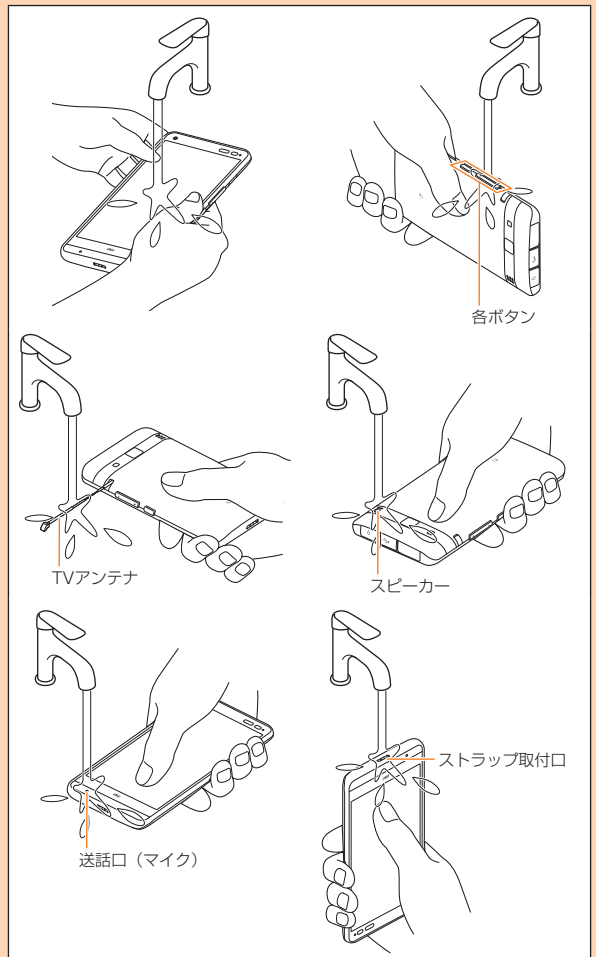
3 表/背面、各ボタン、TVアンテナを引き出してハンドソープの泡が完全になくなるまですすぎます。

* やや弱めの流水(6リットル/分以下)で、蛇口やシャワーより約5cm離れた位置で常温(5℃~35℃)の水道水ですすいでください。

次にスピーカー、送話口(マイク)、ストラップ取付口をさらに弱めの流水(1.6リットル/分程度)で洗い流します。

* スピーカーは約20秒、送話口(マイク)、ストラップ取付口は約15秒洗い流します。

ハンドソープの泡が残っていると故障の原因になりますので、泡が残っている場合は、泡がなくなるまでよくすすいでください。



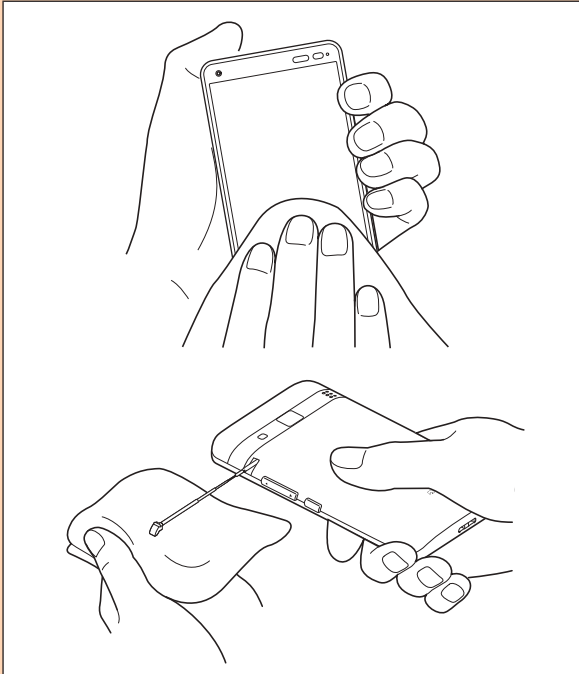
4 「水に濡れたときの水抜きについて」(▶P.15)を参照して水抜きをしてください。

5 十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

水に濡れたときの水抜きについて

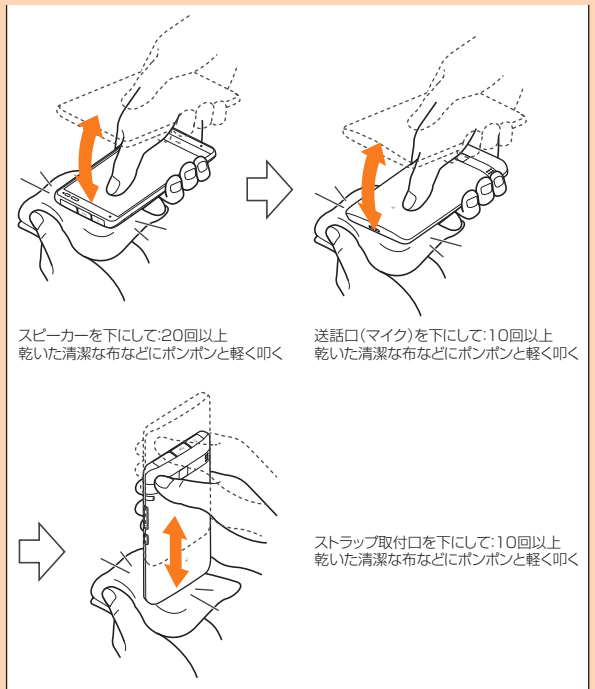
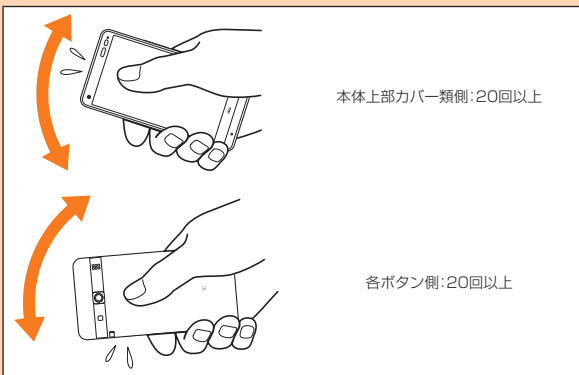
本製品を水に濡らした場合、非防水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。下記手順で水抜きを行ってください。

1 本製品全体の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取り、次にTVアンテナを引き出して水分を拭き取ってください。



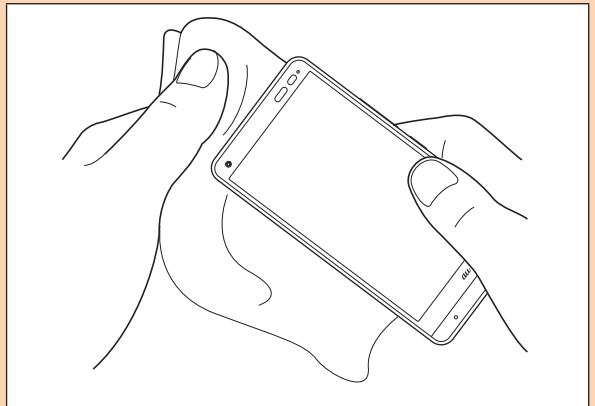
2 振りかたについて

- ① 本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。
※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



② 出てきた水分を拭き取ります。

- ※ ストラップ取付口、送話口(マイク)、スピーカー、各ボタン、イヤホンマイク端子部、外部接続端子部、カード挿入口部は特に水が抜けにくいいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。



3 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るものそばには置かないでください。また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

■充電のときは

オプション品は防水/防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子カバーを開いてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。
- 濡れた手で指定の充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

Bluetooth® / 無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- ・本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- ・無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- ・航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能/無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- ・本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
 - ・無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
 - ・無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
 - ・Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - ・Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

Bluetooth®機能: 2.4FH1/XX1



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS4/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。利用可能なチャンネルは、国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

パケット通信料についてのご注意

- ・本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ・本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
※ 無線LAN(Wi-Fi®)接続の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

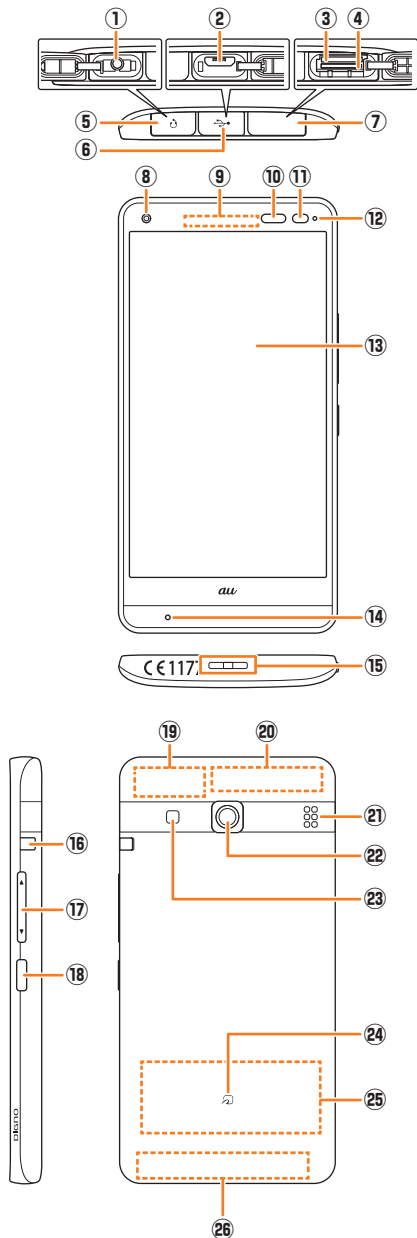
- ・アプリのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ・万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様がインストールを行ったアプリなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリによっては、microSDメモリーカードをセットしないとご利用できない場合があります。
- ・アプリの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消費が激しくなるものがあります。
- ・本製品に搭載されているアプリやインストールされているアプリはアプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

ご利用の準備	18
各部の名称と機能	18
au Nano IC Card 04について	19
au Nano IC Card 04を取り付ける／取り外す	19
充電する.....	20
電源を入れる／切る	21
スタート画面について.....	21
初期設定を行う	22

ご利用の準備

各部の名称と機能



- ① イヤホンマイク端子
イヤホン(市販品)などの接続時に使用します。
- ② 外部接続端子
共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)などの接続時に使用します。
- ③ microSDメモリカードスロット
- ④ au Nano IC Card 04挿入口
- ⑤ イヤホンマイク端子カバー
- ⑥ 外部接続端子カバー
- ⑦ カード挿入口カバー
- ⑧ インカメラ(レンズ部)
- ⑨ 受話部(レシーバー)
スマートソニックレシーバー(▶P.19)で通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
- ⑩ 赤外線ポート
赤外線通信で、データの送受信を行います。
- ⑪ 近接センサー/光センサー
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑫ 着信(充電)ランプ
充電中は赤色で点灯します。着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。
- ⑬ ディスプレイ(タッチパネル)
- ⑭ 送話口(マイク)
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中や動画の録画中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。
- ⑮ ストラップ取付口
- ⑯ TVアンテナ
テレビ(ワンセグ)を視聴するときに伸ばして使用します。通話時やChromeご利用時などに伸ばしても、通話やデータ通信に影響はありません。
- ⑰ ◀ ▶ 音量下/上ボタン
音量を調節します。◀▶(音量下ボタン)を1秒以上長く押しと「マナーモード」(▶P.100)を設定できます。
- ⑱ 電源ボタン
電源ON/OFFやスリープモードの移行/解除などに使用します。
- ⑲ 内蔵GPS/Bluetooth®/Wi-Fi®アンテナ部*
- ⑳ 内蔵サブアンテナ部*
- ㉑ スピーカー
着信音やアラーム音などが聞こえます。
- ㉒ アウトカメラ(レンズ部)
- ㉓ 撮影ライト/簡易ライト
- ㉔ ㊄マーク
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー/ライターにかざしてください。IC通信で、データの送受信を行います。
- ㉕ NFC(FeliCa対応)アンテナ部*
- ㉖ 内蔵メインアンテナ部*

* アンテナ部付近を手でおおったり、シールなどを貼ったりしないでください。通話/通信品質に影響を及ぼす場合があります。

memo

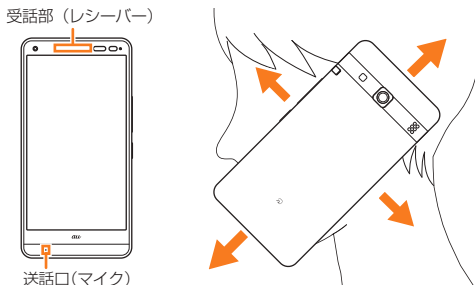
- ◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。背面を無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。
- ◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切り再起動する場合は、「強制的に電源を切り再起動する」(▶P.21)をご参照ください。

スマートソニックレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部(レシーバー)に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

■ 耳への当てかた

下図のように、本製品の受話部(レシーバー)付近を耳に当て、耳をおおふことで周囲の騒音を遮へし、音声により聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。



memo

- ◎ 通話時に本製品の送話口(マイク)を指などでふさがないようにご注意ください。
- ◎ イヤホン(市販品)を接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
- ◎ ディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
- ◎ 聞き取りやすさには個人差があります。
- ◎ 周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

au Nano IC Card 04について


au Nano IC Card 04にはお客様の電話番号などが記録されています。本製品はau Nano IC Card 04にのみ対応しております。au Nano IC Card 04以外のICカードはご利用できません。



memo

- ◎ au Nano IC Card 04を取り扱うときは、カードやトレイ、本製品の故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ au Nano IC Card 04のIC(金属)部分や、本製品のICカード用端子には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け/取り外しはしないでください。
- ◎ au Nano IC Card 04を正しく取り付けていない場合やau Nano IC Card 04に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau Nano IC Card 04はなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card 04を挿入しないでください。故障の原因となります。

■ au Nano IC Card 04が挿入されていない場合

au Nano IC Card 04が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーに「」が表示されます。

- ・ 電話をかける^{*}/受ける
 - ・ SMSの送受信
 - ・ Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
 - ・ PINコード設定
 - ・ 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認
- 上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

* 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、GSM/UMTS/LTEローミング中で電波の強さが「圏外」以外の場合は、発信可能です(緊急通報番号は国によって異なるため、発信してもつながらない場合もあります)。

■ PINコードによる制限設定

au Nano IC Card 04をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます(▶P.12「PINコードについて」)。

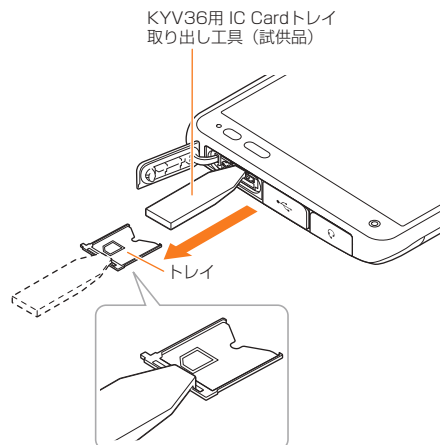
au Nano IC Card 04を取り付ける/取り外す

- ・ au Nano IC Card 04の取り付け/取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。また、必ず指定のACアダプタなどのmicroUSBプラグを本製品から抜いてください。

au Nano IC Card 04を取り付ける

- ・ au Nano IC Card 04を取り付けるときは、必ず付属のKYV36用IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をご使用ください。

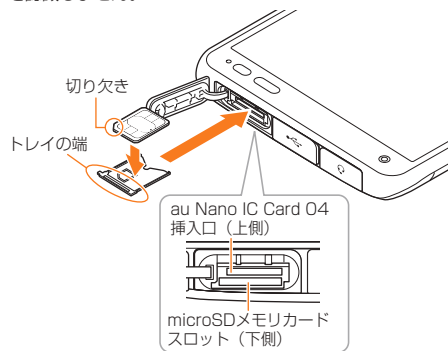
- 1 本製品の電源を切り、カード挿入口カバーを開ける
- 2 KYV36用 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけ、トレイを引き出す



- 3 au Nano IC Card 04の切り欠きの位置を合わせてトレイに載せ、トレイをau Nano IC Card 04挿入口(上側)にまっすぐに挿入する

トレイを本体に挿入後、KYV36用 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけて奥まで押し込んでください。

- ・ au Nano IC Card 04はトレイの端に乗り上げないように、無理な力を加えずにまっすぐ奥まで押し込んでください。トレイがうまく入らない場合は無理に押し込まず、一度抜いてから先端を少し浮かせて再度入れ直してください。トレイに乗り上げるとau Nano IC Card 04を認識しません。

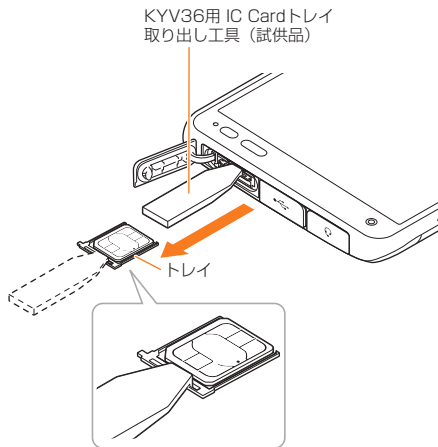


- 4 カード挿入口カバーを閉じる

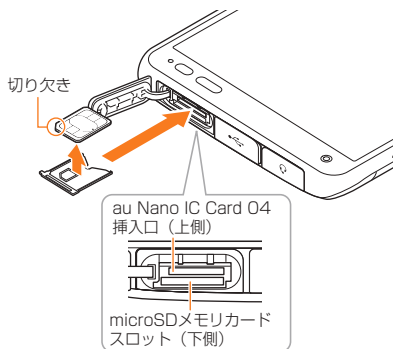
au Nano IC Card 04を取り外す

- au Nano IC Card 04を取り外すときは、必ず付属のKYV36用 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をご使用ください。

- 1 本製品の電源を切り、カード挿入口カバーを開ける
- 2 KYV36用 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけ、トレイを引き出す



- 3 au Nano IC Card 04を取り出し、トレイをau Nano IC Card 04挿入口(上側)にまっすぐに挿入する



- 4 カード挿入口カバーを閉じる

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが消灯したら充電完了です。

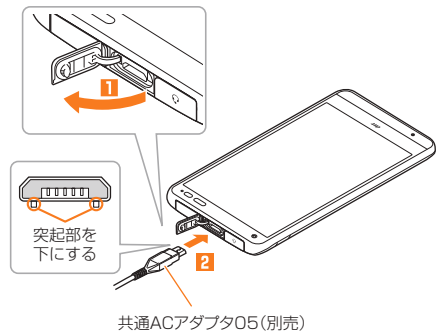
memo

- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があります。電池のもちが悪くなります。
- ◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- ◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- ◎ 水分やほこりなどが入らないように、外部接続端子カバーは、充電後しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- ◎ 充電中、充電ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、**[100%]**が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。
- ◎ 接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

指定のACアダプタ(別売)を使って充電する

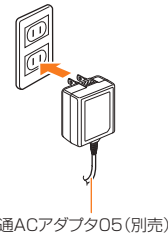
共通ACアダプタ05(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.118)をご参照ください。

- 1 本製品の外部接続端子カバーを開ける
- 2 共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む



- 3 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに**[■]**が表示されます。充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



- 4 充電が完了したら、外部接続端子から共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く
- 5 外部接続端子カバーを閉じる
- 6 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

memo

- ◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。

パソコンを使って充電する

microUSBケーブル01 (別売)を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01 (別売)をパソコンのUSBポートに接続

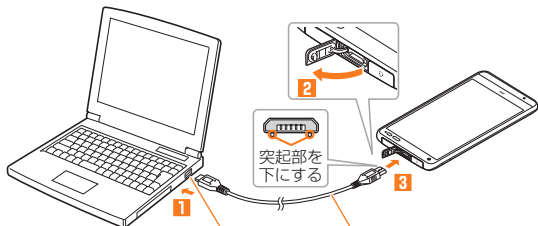
2 本製品の外部接続端子カバーを開ける

3 microUSBケーブル01 (別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。

充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

・パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。



パソコンのUSBポート microUSBケーブル01 (別売)

4 充電が完了したら、microUSBケーブル01 (別売)を外部接続端子とパソコンから取り外す

memo

- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。
- ◎ 指定のACアダプタでの充電と比べて時間が長くなる場合があります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- 1** 着信ランプが点灯するまで (電源ボタン)を長く押す
- スタート画面が表示されます(▶P.21)。
- ・初めて電源を入れたときは、「auかんたん設定」などの初期設定が起動します。「初期設定を行う」(▶P.22)を参照して、必要に応じて設定を行ってください。

memo

- ◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
- ◎ 初回起動時に「auかんたん設定」の操作をスキップしても、後から設定することができます(▶P.22)。

電源を切る

- 1** (電源ボタン)を1秒以上長く押す
- 2** [電源を切る]→[OK]

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

- 1** (電源ボタン)を11秒以上長く押す

memo

- ◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

スタート画面について

スタート画面は、電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

スタート画面からホーム画面を表示する

スタート画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

- 1** をスライド／フリック

ホーム画面が表示されます(▶P.24)。またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。

・画面下部に表示された / をスライド／フリックすると、電話(▶P.36)／カメラ(▶P.65)を起動できます。

・画面上部に が表示されている場合は、スタート画面の「セキュリティの種類」(▶P.101)が「パターン」／「ロックNo」／「パスワード」に設定されています。セキュリティを解除するとホーム画面が表示されます。

・Smart Lock(▶P.101)が設定されている場合は、画面上部の をタップすると、Smart Lockが一時的に解除され、設定しているセキュリティが有効になります。

① 通知表示

アドレス帳プラスで設定した連絡先(▶P.29)や不在着信などのお知らせを表示します。

・通知をダブルタップすると通知されたアプリを起動します。

② スタートアイコン



《スタート画面》

memo

- ◎ 「セキュリティの種類」(▶P.101)が「なし」の場合は、スタート画面は表示されません。
- ◎ 背景を変更したい場合は「スタート画面の背景を設定する」(▶P.101)をご参照ください。

スリープモードについて

画面のバックライト点灯中に□(電源ボタン)を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

- 1 **スリープモード中に□(電源ボタン)**
スタート画面が表示されます(▶P.21)。

memo

◎スリープモード中に□(電源ボタン)を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、画面の指示に従って、言語や各機能、サービスなどの設定を行ってください。
詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

- 1 「日本語」を選択して[OK]
- 2 Wi-Fi®ネットワークを選択
設定しない場合は「スキップ」をタップします。
- 3 「タップ&ゴー」の操作を行う
・NFC機能を利用してAndroid端末からGoogleアカウントのコピーなどができます。利用しない場合は「スキップ」をタップします。
- 4 Googleアカウントの設定を行い[次へ]
- 5 「携帯電話の保護」の操作を行う
・「画面ロックを今すぐ設定」をタップして、スタート画面(▶P.21)のセキュリティの種類を設定します。利用しない場合は「スキップ」をタップします。
- 6 Googleサービスの設定を確認し[次へ]
- 7 「auかんたん設定」を必要に応じて設定

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
GoogleアカウントがセットアップされていないときにGoogleアカウントが必要なアプリや機能を起動すると、セットアップ画面が表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面

■Googleアカウントをすでにお持ちの場合

- 2 メールアドレスを入力→[次へ]
- 3 パスワードを入力→[次へ]
- 4 画面の指示に従って操作

■Googleアカウントをお持ちではない場合

- 2 [または新しいアカウントを作成]→画面の指示に従って操作し、Googleアカウントを登録

■ログインできない場合

- 1 ホーム画面→[Chrome]→URL表示欄を選択→[http://www.google.com/accounts/recovery/]を入力→[実行]
- 2 ログインできない理由を選択→必要に応じてメールアドレスを入力→[続行]
- 3 画面の指示に従って操作

memo

◎Googleアカウントをセットアップしない場合でも本製品をお使いになれますが、ハンガアウト、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
◎ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になります。

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧]→[設定]→[au設定メニュー]→[au ID]
- 2 [au IDの設定・保存]
認証を開始します。
- 3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定
au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。
画面の指示に従って操作してください。

基本操作

基本操作	24
タッチパネルの使いかた	24
ナビゲーションバーの使いかた	24
縦／横画面表示を切り替える	24
ホーム画面を利用する	24
アプリ一覧を利用する	25
アプリ一覧のメニューを利用する	27
アプリ一覧のナビゲーションを利用する	27
クイック起動エリアを利用する	27
ホームアプリを切り替える	27
エントリーホームを利用する	27
auベーシックホームを利用する	28
本製品の状態を知る	29
最近使用したアプリを起動する	29
アシストリングを利用する	30
メニューを表示する	30
スクリーンショットを撮影する	30
文字入力	30
文字を入力する	30
文字入力の便利な機能を利用する	32
iWnn IMEの各種設定を行う	33
iWnn IMEキータイ入力の設定を行う	34

基本操作

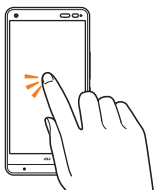
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押しついたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 爪の先での操作
 - 異物をディスプレイに乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - 水中での操作

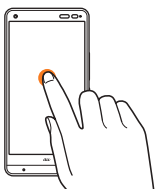
■ タップ/ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



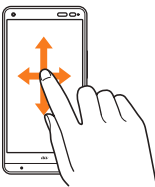
■ ロングタッチ

項目やボタンなどに指を触れた状態を保ちます。



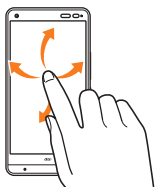
■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



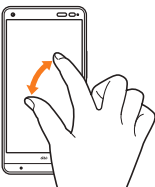
■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



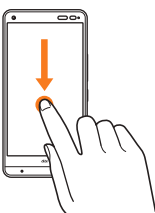
■ ズームイン/ズームアウト

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。



■ ドラッグ


画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ナビゲーションバーの使いかた

画面下部のナビゲーションバーには次のボタンが表示されます。



⏪ (BACKボタン) : 1つ前の画面に戻ります。文字入力画面で「」が表示された場合は、タップするとキーボードやメニューを非表示にします。

🏠 (HOMEボタン) : ホーム画面を表示します。ロングタッチまたは上方向にスライドすると、画面下部に半円状のアシストリング(▶P.30)が表示されます。

📄 (RECENTSボタン) : 最近使用したアプリの一覧を表示します。

縦/横画面表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に縦/横画面表示を切り替えることができます。

memo

- 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせるると画面表示が切り替わらない場合があります。
- 縦/横画面表示を切り替えるかどうかは、「端末が回転したとき」(▶P.100)で設定できます。
- アプリによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

ホーム画面を利用する

お買い上げ時のホーム画面には、「標準ホーム」のホームアプリが設定されています。ホームアプリは切り替えることもできます(▶P.27)。標準ホームのホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド/フリックすると画面を切り替えることができます。

- ① ステータスバー
- ② 天気ウィジェット
- ③ ショートカット/フォルダ
- ④ インジケータ
- ⑤ クイック起動エリア
- ⑥ アプリ一覧



《ホーム画面
(標準ホーム)》

memo

- 本書では「標準ホーム」のホーム画面からの操作を例に説明しています。

天気ウィジェットを利用する

天気情報を確認できます。

1 ホーム画面→天気ウィジェットをタップ

天気情報画面が表示されます。

- 初回起動時は、地域設定画面が表示されます。「現在地」をタップするか、「+」をタップして地域を設定してください。

2 天気情報画面で天気の詳細を確認

- 🔄: 天気情報を更新します。
- 📍: 地域や自動更新時間を設定できます。

ホーム画面の壁紙を変更する

- 1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[壁紙]
- 2 画面下部を左右にスライドして壁紙を選択→[壁紙に設定]
 - ・「画像を選択」をタップすると、本製品に保存されている画像を壁紙に設定できます。

memo

◎壁紙にライブ壁紙を設定すると、電池の消費が激しくなる場合があります。また、ライブ壁紙のデータによっては、正しく設定できない場合がありますので、ご注意ください。

ホーム画面にウィジェット／ショートカット／フォルダを追加する

アプリのウィジェットやショートカット、フォルダをホーム画面に追加できます。

■ウィジェットを追加する場合

- 1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[ウィジェット]
- 2 ウィジェットをロングタッチ→追加する位置へドラッグして、指を離す
 - ウィジェットの作成とアクセスの許可画面が表示された場合は、「作成」をタップします。

■ショートカットを追加する場合

- 1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[アプリ]
- 2 アプリをロングタッチ→追加する位置へドラッグして、指を離す

■フォルダを作成する場合

ショートカットをドラッグして他のショートカットに重ねるとフォルダが作成され、複数のアイコンを収納できます。

memo

◎表示しているホーム画面に空きスペースがない場合などは追加できません。
フォルダについて
◎フォルダを選択→フォルダ名をタップ→フォルダ名を入力→[OK]と操作すると、フォルダ名を変更できます。
◎フォルダをタップして、表示されるショートカットをドラッグしてフォルダの外に移動すると、フォルダから移動することができます。
◎ショートカットが1つになると、フォルダ表示は解除されます。

■ウィジェット／ショートカット／フォルダを移動または削除する

- 1 移動または削除するウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

■移動する場合

- 2 移動する位置へドラッグして、指を離す

■削除する場合

- 2 画面上部の「削除」にドラッグして、指を離す

memo

◎クイック起動エリアの「アプリ一覧」は移動または削除できません。

スライドスクリーンを利用する

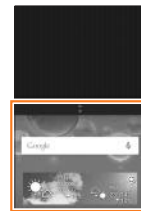
片手で操作したいときや画面の上部に指が届かないときに、スライドスクリーンに切り替えると、画面の表示が下がり、片手で操作しやすい画面に切り替わります。

- 1  をロングタッチまたは上方にスライド

画面下部に半円状のアシストリング(▶P.30)が表示されます。




- 2 

画面上部の表示が下がり、スライドスクリーンが表示されます。



(スライドスクリーン)

memo

◎スリープモードになると、通常の画面表示に戻ります。 をロングタッチ→ と操作しても、通常の画面表示に戻すことができます。
◎スライドスクリーン上部の を上下にスライドすると、画面の下げ幅を変更できます。

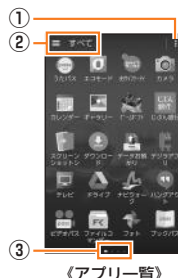
アプリ一覧を利用する

インストールされているアプリの一覧が表示されます。

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧]

アプリ一覧が表示されます。初回起動時には、アプリ一覧についての説明画面が表示されます。確認後、「OK」をタップしてください。

- ① メニューアイコン
アプリ一覧のメニューを表示します。
- ② カテゴリー名
タップするとナビゲーションが表示されます(▶P.27)。
 - ・画面左端を右にスライドまたはフリックしてもナビゲーションを表示できます。
- ③ インジケータ
アプリ一覧の現在位置表示を確認できます。



(アプリ一覧)

■アプリの一覧

アイコンの表示名	ページ
うたパス 最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など400以上のチャンネルが聴き放題。いつでも、どんな気分でもピッタリな楽曲と出会えるラジオ型音楽サービスです。	—
エコモード 電池の消費を最小値に抑えるように設定します。	P.80
おサイフケータイ	P.72
カメラ	P.65
カレンダー	P.78
ギャラリー	P.68
ゲームギフト ^{*1*2} 大人気ゲームのギフト配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報、先行プレイなど、さまざまなお得を提供するアプリです。	—
じぶん銀行 ^{*1*2} 入出金明細や残高の確認、最寄りの提携ATM検索などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。 スクリーンショットシェア 表示中の画面を、カンタンな操作で撮影、保存することができます。撮影したスクリーンショットはスタンプを押すなどの編集ができるほか、Facebook・TwitterなどのSNSやEメールで友達と共有できます。	P.81
ダウンロード ダウンロードしたデータの管理を行うことができます。	—

アイコンの表示名	ページ
データお預かり 写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されているさまざまなデータをauスマートパスのサーバに預けたり、microSDメモリーカードに保存したりするアプリです。 機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。	—
デジタルアプリ データ通信の残データ容量を手軽に確認できるアプリです。 データチャージ・データギフトを利用したり、ご家族へデータギフトをおねだりすることもできます。	—
テレビ	P.69
ドライブ	—
ナビウォーク*1*2 乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートナビゲーションするアプリです。	—
ハンダアウト	P.77
ビデオパス*1 幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。	—
ファイルコマンドー	P.90
フォト	—
ブックパス コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	—
ホーム切替	P.27
マップ	P.77
メモ帳	P.79
リモートサポート スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。	P.82
安心アクセス お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.83
音声レコーダー	P.79
音声検索	—
簡易ライト	P.80
京セラサイト	—
時計	P.78
取扱説明書*2 「取扱説明書アプリケーション」を利用できます。	P.ii
赤外線 設定	P.92 P.98
洗い方のご説明	—
天気	P.24
電卓	P.79
電話	P.36
電話帳	P.64
au ID設定	P.22
au Market auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	—
au WALLET au WALLET カードをより便利に使いこなすためのアプリです。 カードへのチャージのほか、カード残高・ポイント残高・特典の確認などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。	—
au WALLET Market 日々の生活に役立つ“ちょっといいもの”を、誰でも気軽に買える新感覚のショッピングサービスです。auショップ店頭で購入した商品の確認や注文変更もご利用いただけます。	—
au Wi-Fi接続ツール ご自宅にてHOME SPOT CUBE等の(Wi-Fi®)親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。	P.84
auお客さまサポート au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。	P.82
auショッピングモール 日用品・スマートフォングッズ・グルメ・ファッションなど、お買いものが楽しめるau公式のショッピングアプリです。	—

アイコンの表示名	ページ
auスマートパス 最新ニュースや乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートパス」を最大限活用するためのポータルアプリ。アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフを楽しめます。	P.86
auテレビ.Gガイド テレビ番組の閲覧や、番組検索ができます。さらにテレビ連携や遠隔録画予約機能をご利用いただけます。	P.71
au災害対策 災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。	P.84
Chrome	P.60
Disney pass Disneyキャラクターの壁紙やきせかえ、動画、カレンダー等を取りそろえた月額コンテンツ使い放題サービスです。 限定カバー&コンテンツセットのご利用形態もご用意しています。	—
Eメール	P.40
Facebook 友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりができる無料のコミュニケーションアプリです。	P.76
GLOBAL PASSPORT 海外でご利用の際、渡航先に応じて、適用される利用料金、ご利用設定方法、電話のかけかたなどをチェックできるアプリです。	—
Gmail	P.57
Google	—
Google設定	—
LINE*1*2 LINEはいつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。	—
LIISMO 音楽を再生したり、最新の音楽情報を調べたりできます。また、楽曲の試聴・購入も可能なアプリです。	—
Lookout for au 端末を紛失したり、盗難にあったときにKDDIオペレーターがリモートで端末の位置検索やロックをかけることができるアプリです。	P.82
NFCタグリーダー NFCタグの読み込み/データ書き込みを実行するアプリです。また、データ読み取り後、その情報に応じた動作をします。	P.74
NFCメニュー NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。	P.73
OfficeSuite Word、Excelなどのファイルを開覧できます。	—
PCメール Gmailに接続されます。	P.57
Playストア	P.75
Playミュージック	P.68
Playムービー&TV	P.69
RealTimes for au 端末内に保存している動画や写真をもとに、イベントごとに自動作成されるダイジェスト映像を楽しめます。 家族や友人とのプライベート映像をアドレス帳電話番号で安心して共有(送受信)できます。	—
SATCH QRコードやバーコードを読み取ることができます。その他、ARを楽しむことができます。ARとは対象物をカメラにかざして、動画やCGなどを表示できる機能です。アプリ内のキャンペーンページの案内に沿ってお楽しみください。	P.67
SMS	P.55
YouTube	P.76

*1「データの初期化」(▶P.103)を行うと削除されます。
*2 利用するにはダウンロード/インストールが必要です。



- ◎ 各アプリからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎ アイコンの表示名は、予告なく変更される場合があります。

アプリ一覧のメニューを利用する

1 アプリ一覧→[■]

表示形式	アプリ一覧の表示形式を選択します。
編集	アプリ一覧内でアイコンを移動できます。 アイコンをロングタッチ→移動する位置*までアイコンをドラッグして、指を離す→[OK] *移動する位置にあるアイコンに、アイコンを重ねると、フォルダが作成されます。
並び順をリセット	アプリのアイコンの並び順をリセットします。

*メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

アプリ一覧のナビゲーションを利用する

1 アプリ一覧→カテゴリ名をタップ

アプリ一覧のナビゲーションが表示されます。

- アプリ一覧で画面左端を右にスライドまたはフリックしても表示できます。

2	すべて	すべてのアプリをアプリ一覧に表示します。
	よく使う	よく使うアプリのみをアプリ一覧に表示します。
	ダウンロード	ダウンロードしたアプリをアプリ一覧に表示します。
	Playストア	Playストアを起動して、アプリをダウンロードできます。
	ホーム画面表示	ホーム画面表示のON/OFFを設定できます。
	アンインストール	▶P.27「インストールされたアプリを削除する」

インストールされたアプリを削除する

1 アプリ一覧のナビゲーションで[アンインストール]

アンインストールできるアプリに、チェックボックス(□)が表示されます。

2 アンインストールするアプリを選択→[OK]→[OK]

アプリを選択するとチェックボックスが有効(☑)になります。

- 複数のアプリを同時にアンインストールできます。
- 「すべて選択」をタップするとアンインストール可能なアプリをすべて選択できます。

クイック起動エリアを利用する

よく使うアプリをホーム画面のクイック起動エリアに配置できます。クイック起動エリアは、ホーム画面のどの画面でも固定で表示されます。お買い上げ時には、電話、Chrome、Eメール、カメラが登録されています。

1 アプリ一覧→アイコンをロングタッチ→追加する位置で指を離す

2 ホーム画面に移動したアイコンをロングタッチ→クイック起動エリアにアイコンをドラッグして、指を離す

memo

◎クイック起動エリアのアイコン(フォルダ)は移動または削除できます。詳しくは、「ウィジェット/ショートカット/フォルダを移動または削除する」(▶P.25)をご参照ください。

◎クイック起動エリアに空きスペースがない場合でも、すでにあるアイコンに追加したいアイコンを重ねてフォルダを作成することもできます。

ホームアプリを切り替える

本製品のホームアプリを切り替えることができます。

1 アプリ一覧→[ホーム切替]

ホーム切替画面が表示されます。

- アプリ一覧→[設定]→[ホーム切替]→切り替えたいホームアプリを選択→[OK]と操作しても、ホームアプリを切り替えることができます。

2	標準ホーム	▶P.24「ホーム画面を利用する」
	エントリーホーム	▶P.27「エントリーホームを利用する」
	auベーシックホーム	▶P.28「auベーシックホームを利用する」

3 [OK]

エントリーホームを利用する

従来の携帯電話に似た画面表示で、初めてスマートフォンをお使いになる方にも安心して使っていただけるホームアプリです。

1 ホーム切替画面→[エントリーホーム]→[OK]

説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 [OK]

エントリーホームの待受画面が表示されます。

- 日時表示
- お知らせ通知表示
- ショートカットキー
- アプリアイコン
- アプリメニュー



《エントリーホームの待受画面》

memo

◎エントリーホームから「標準ホーム」のホーム画面に戻すには、エントリーホームの待受画面→[アプリ]→[設定]→[標準ホーム切替]→[OK]と操作します。

■ アプリメニューの種類

エントリーホームの待受画面で「アプリ」をタップすると、エントリーホームのアプリメニューが表示されます。

アプリメニュー		ページ	
コミュニケーション	LINE	—	
	Facebook	P.76	
	Eメール	P.40	
	SMS	P.55	
	電話帳	P.64	
写真／動画		P.68	
エンタメ	YouTube	P.76	
	音楽	—	
	テレビ	P.69	
	天気	P.24	
マップ		P.77	
時計／カレンダー	時計	P.78	
	カレンダー	P.78	
ツール	赤外線	P.92	
	簡易ライト	P.80	
	電卓	P.79	
	エコモード	P.80	
	メモ帳	P.79	
	SATCH VIEWER	P.67	
	音声レコーダー	P.79	
auスマートパス		P.86	
サポート	洗い方のご説明	—	
	京セラサイト	—	
	取扱説明書	P.ii	
	auお客様サポート	P.82	
	au災害対策	P.84	
	リモートサポート	P.82	
設定	プロフィール	P.38	
	壁紙	P.25	
	音・バイブ・LED	P.100	
	ショートカットキー	P.28	
	フォントサイズ	P.100	
	文字入力方式	—	
	スタート画面	P.101	
	ホーム画面	時計表示	—
		通知表示	—
		ホーム画面の拡張	P.28
標準ホーム切替		P.27	
その他の設定		P.98	

memo

- ◎「すべてのアプリ」をタップすると、インストールされているアプリの一覧が表示されます。
- ◎「よく使うアプリ」をタップすると、使った回数が多いアプリの一覧を表示します。

■ ショートカットキーを登録する

ショートカットキーには、電話帳から選択した連絡先や、お好みのアプリを追加できます。

1 エントリーホームの待受画面→[+]

- ショートカットキー設定画面が表示されます。
- ・アプリメニュー→[設定]→[ショートカットキー]と操作しても、ショートカットキー設定画面を表示できます。
 - ・「ホーム画面に表示する」の選択を解除すると、ショートカットキーを非表示にすることができます。

2 登録するショートカットキーの「登録」をタップ

3 [連絡先を登録]／[アプリケーションを登録]→登録する連絡先／アプリを選択→[OK]

■ ショートカットキーを変更する

1 ショートカットキー設定画面→変更するショートカットキーの「変更」をタップ

2 [連絡先を登録]／[アプリケーションを登録]→変更する連絡先／アプリを選択→[OK]

- ・解除する場合は、[変更]→[登録なし]と操作します。

■ ショートカットキーを利用する

1 エントリーホームの待受画面→ショートカットキーをタップ

- 連絡先やアプリが表示／起動されます。

■ エントリーホームのホーム画面を拡張する

エントリーホームのホーム画面を増やして、ショートカットやウィジェットを追加できます。

1 アプリメニュー→[設定]→[ホーム画面]→[ホーム画面の拡張]

2 [ウィジェット追加]／[アプリショートカット追加]→[OK]→追加するウィジェット／アプリショートカットを選択

ホーム画面が追加され、選択したウィジェット／アプリショートカットが表示されます。

- ・追加したウィジェット／アプリショートカットは、ロングタッチして画面上部に表示された「削除」までドラッグすると削除できます。増やしたホーム画面のウィジェット／アプリショートカットをすべて削除すると、表示していたホーム画面も削除されます。

■ auベーシックホームを利用する

スマートフォンをよりシンプルに使えるよう、よく使うアプリだけを表示したホームアプリです。

1 ホーム切替画面→[auベーシックホーム]→[OK]

- auベーシックホーム画面が表示されます。
- 左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。
- ・初回起動時には、利用確認が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。



（auベーシックホーム画面）

memo

- ◎ auベーシックホームから「標準ホーム」のホーム画面に戻すには、auベーシックホーム画面→[設定]→[ホーム切替]→[標準ホーム]→[OK]と操作します。
- ◎ 表示されていないアプリは、「パス」「au サポート」「その他アプリ」フォルダに収納されています。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり(SMS)
	新着メールあり(Eメール)
	新着メールあり(Gmail)
	緊急速報メールあり
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	テレビ起動中
	音楽再生中
	通話中または着信中
	auのVoLTE対応電話機との高音質通話時に表示
	伝言メモあり
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
	データを送信/アップロード
	データを受信/ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリのアップデート通知
	VPN接続中
	メジャーアップデート(OS用)、またはソフトウェア更新あり
	USBテザリング中
	Wi-Fi®テザリング中
	Bluetooth®テザリング中
	Wi-Fi®テザリングまたはBluetooth®テザリングとUSBテザリングを同時に使用中
	通知パネルでのアドレス帳プラス表示あり
	スクリーンショット完了
	microSDメモリカードのマウント解除中
	スクリーンショット設定を有効に設定中

■ 主なステータスアイコンの例

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態 ■ 100%/■ 残量なし/■ 充電中
	電波の強さ・通信状態(LTE/WiMAX 2+) ■ レベル4/■ 圏外/■ 通信中 ■ LTE/WiMAX 2+使用可能*/■ ローミング中(ネットワークに応じた通信方式も合わせて表示します)
	機内モード設定中
	au Nano IC Card 04未挿入
	Wi-Fi®の電波の強さ ■ レベル4/■ レベル0
	アラーム設定あり
	マナーモード(バイブレーション)設定中
	マナーモード(ミュート)設定中
	マナーモード(ドライブ)設定中
	Bluetooth®機能利用中 ■ 待機中/■ 接続中
	伝言メモ設定中 ■ 伝言メモ設定中/■ 伝言メモ全件録音済み
	Reader/Writer, P2P機能利用中
	「NFC/おサイフケータイロック」設定中
	GPS利用中

*日本国内においては、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリの起動ができます。また、ON/OFF設定アイコンが表示され、よく使う機能のオン/オフがすぐに設定できます。

アドレス帳プラス表示では、「お気に入り」や「発信履歴」などの連絡先を表示します。お好みの設定でご利用ください。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

① 日付時刻のエリア

② ON/OFF設定アイコン

よく使う機能のオン/オフなどを設定します。

表示されていない場合は、画面上部(日付時刻のエリア)をタップ、または画面を下にフリックして表示できます。▼/▲をタップして表示エリアを拡大/縮小できます。

③ アドレス帳プラス表示

電話帳に登録されたお気に入りや発信履歴の連絡先を表示できます。

- ・「設定」をタップすると、アドレス帳プラス表示の設定を変更できます。
- ・「全て表示」をタップすると、よくつかう連絡先が表示されます。

④ お知らせエリア

本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリが起動します。

⑤ 設定メニューアイコン

ON/OFF設定アイコンのエリアを表示しているときに表示されます。アイコンをタップすると「設定メニュー」(▶P.98)が表示されます。

⑥ 編集アイコン

ON/OFF設定アイコンの並べ替えができます。



memo

- ◎通知パネルを上をスライドすると、通知パネルを非表示にすることができます。
- ◎新しいお知らせがあると、画面上部に通知が表示されます。
- ◎通知を消去するには、画面右下の「通知を消去」をタップします。ただし、消去できない通知もあります。

最近使用したアプリを起動する

をタップすると、最近使用したアプリ表示の一覧が重なって表示されます。

1 をタップ

最近使用したアプリ表示一覧画面が表示されます。

2 使用するアプリをタップ

memo

- ◎一覧からアプリを削除するには、操作で削除したいアプリを左右にフリックまたは「×」をタップします。「すべて消去」をタップすると、最近使用したアプリがすべて削除されます。
- ◎「画面の固定」(▶P.102)がオンの場合、「」をタップすると画面を固定できます。

アプリショートカットを設定する

をタップして表示されたアプリ表示一覧画面の下部に、アプリのショートカットを設定できます。

1 アプリ表示一覧画面→

アプリショートカット設定画面が表示されます。

2 [+]→アプリを選択

アプリショートカット設定画面に、ショートカット設定するアプリが表示されます。

3 [OK]



◎ アプリショートカット設定画面でアプリをロングタッチすると、アプリの並び替えや削除ができます。

アシストリングを利用する

任意のアプリを使用しながら、アシストリングに設定されているアプリを利用できます。

1 をロングタッチまたは上方向にスライド

画面下部に半円状のアシストリングが表示されます。

2 使用するアプリをタップ

- : 通知パネルを表示します (▶P.29)。
- : Google (Google Now) を起動します。
- : スライドスクリーンを利用します (▶P.25)。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「」や「」、「」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

スクリーンショットを撮影する

(電源ボタン) と (音量下ボタン) を同時に1秒以上長く押すと、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。保存完了後に通知パネルを開くと保存した画像を確認できます。



◎ スクリーンショットを行った画像は、内部ストレージに保存されます。保存された画像は「ギャラリー」(▶P.68) で確認できます。
◎ カメラのご利用中やテレビ視聴画面など、アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

iWnn IMEメニューを表示する

1 文字入力画面(テンキー/フルキー)→

iWnn IMEメニューが表示されます。

各種設定	▶P.33「iWnn IMEの各種設定を行う」
テンキー⇄フルキー	▶P.30「テンキー/フルキーを切り替えるには」
入力モード切替	入力する文字種を切り替えます。
引用入力(マッシュルーム)	▶P.32「引用入力(マッシュルーム)を利用する」
ケータイ入力へ変更	▶P.30「ケータイ入力に切り替えるには」
フローティングモードへ変更	▶P.30「キーボードスタイルを切り替える」
入力方法	ケータイ入力や音声入力で切り替えられます。
キャンセル	iWnn IMEメニューを閉じます。

キーボードを切り替える

■テンキー/フルキーを切り替えるには

1 iWnn IMEメニュー→[テンキー⇄フルキー]

テンキー/フルキーに切り替わります。詳細は「テンキー/フルキーで入力する」(▶P.31)をご参照ください。

■ケータイ入力に切り替えるには

1 iWnn IMEメニュー→[ケータイ入力へ変更]

ケータイ入力画面が表示されます。詳細は、「ケータイ入力を利用する」(▶P.32)をご参照ください。



◎ 文字入力画面(テンキー/フルキー/ケータイ入力)で画面右下に表示されているをタップしても、キーボードの変更ができます。

キーボードスタイルを切り替える

キーボードスタイルには、通常モードとフローティングモードがあります。フローティングモードに切り替えると、キーボードの表示位置や透過度、サイズを設定できます。

■フローティングモード

1 iWnn IMEメニュー→[フローティングモードへ変更]

① モード切り替えボタン

キーボードスタイルを通常モードに切り替えます。

② 位置移動ボタン

移動する位置へドラッグし、指を離すと、キーボードの表示位置を移動できます。

③ 透過ボタン

タップして表示されるスライダを左右にドラッグすると、キーボードの透過度を変更できます。

・透過度を下げる/上げるにはスライダを右/左にドラッグします。

④ サイズ変更ボタン

ドラッグすると、キーボードのサイズを変更できます。

・ドラッグする際に、変更前のサイズがガイド枠として表示されます。



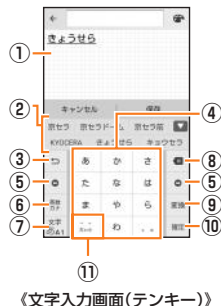
① ② ③ ④
《フローティングモード(テンキー)》

◎ フローティングモード起動中に[☆]→[通常モードへ変更]と操作しても、通常モードに戻すことができます。

テンキー／フルキーで入力する

文字入力画面(テンキー)

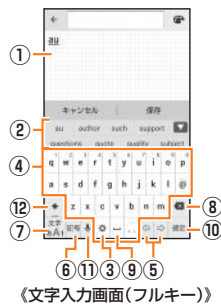
一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップするたびに文字が切り替わります。また、「フリック入力」を行うこともできます。詳しくは「フリック入力について」(▶P.31)をご参照ください。



《文字入力画面(テンキー)》

文字入力画面(フルキー)

一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、ボタンに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。



《文字入力画面(フルキー)》

① 文字入力エリア

② 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト

文字を入力して「**変換**」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。「予測変換」を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定すると、さらに入力が予想される候補も表示されます。

- ・「**変換**」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「**戻る**」をタップします。

③ 設定ボタン／バックボタン／戻すボタン

- ☆: iWnn IMEメニューを表示します(▶P.33)。
- ◀: 同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。
- ⏪: 文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。
- ・テンキーで入力時に表示されます。

④ ソフトウェアキーボード

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑤ カーソルボタン

カーソルを左／右に移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。

⑥ 絵文字・記号／顔文字ボタン／英数・カナボタン*

☺: 絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。ロングタッチすると、引用入力(マッシュルーム)(▶P.32)を利用できます。

🔑: 入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

※ 操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。

⑦ 文字種切替ボタン*

入力する文字種を切り替えます。タップするたびに、表示が次のように変更されます。

🇯🇵: ひらがな漢字入力 🇺🇸: 半角英字入力
🇯🇵: 半角数字入力

- ・テンキーで文字種切り替えボタンを右にスライドしても、ひらがな漢字／半角英数／半角数字／音声入力に切り替えます。
- ・iWnn IMEメニューの「入力モード切替」では、カタカナや全角文字など他の文字種に切り替えることもできます。

🇺🇸: 全角英字入力 🇯🇵: 全角数字入力
🇯🇵: 全角カタカナ入力 🇯🇵: 半角カタカナ入力

※ 操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。

⑧ 削除ボタン

選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。

⑨ 変換ボタン／スペースボタン

- 🇯🇵: 通常変換候補リストを表示します。
- ・ひらがな入力中に表示されます。
- 🇺🇸: スペースを入力します。
- ・文字未入力時や数字／英字入力中などに表示されます。

⑩ 確定ボタン／Enterボタン

- 🇯🇵: 入力中の文字を確定します。
- 👉: カーソルの位置で改行します。
- ・アプリや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑪ 大文字／小文字切替ボタン／音声入力ボタン

ひらがな／カタカナ入力時に「**大文字**」をタップすると、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。英字入力時に「**大文字**」をタップすると、入力した英字を大文字／小文字に切り替えます。

テンキーで文字未入力時やフルキーで「**音声入力**」をタップすると、音声入力ができます。

⑫ シフトボタン

タップするたびに、小文字入力／大文字入力ロック／大文字入力を切り替えます。

また、フルキーで全角数字入力／半角数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

予測変換について

- ◎ ひらがな入力中に「**変換**」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。「**変換**」をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。
- ◎ 「日本語ワイルドカード予測」(▶P.33)または「ワイルドカード予測」(▶P.33)を設定している場合は、字数を指定して変換させることができます。カーソルが文末または未確定の文字の右位置にあるとき、「**変換**」(フルキーでは「**変換**」)をタップするたびに「○」が表示されます。「○」は任意の1文字とし、変換候補には入力文字数以上の候補を表示します。

フリック入力について

ソフトウェアキーボードが「テンキー」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。

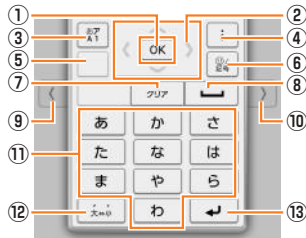
キーをタップすると、フリック入力できる候補が表示されます。そのまま入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。



ケータイ入力を利用する

テンキーやカーソルボタンなどのキー配列、機能の呼び出しかななどを携帯電話の文字入力と同様に操作できます。

文字入力画面(テンキー／フルキー)→[設定]→[ケータイ入力へ変更]と操作してケータイ入力画面を表示できます。元に戻すには、ケータイ入力画面でサブメニューを表示して「スマホ入力(標準)」をタップします。



〈ケータイ入力画面〉

- ① 確定ボタン*
- ② カーソルボタン
- ③ 文字種切替ボタン
- ④ サブメニューボタン
サブメニューを表示します(▶P.32)。
- ⑤ 英数・カナボタン*
- ⑥ 絵文字・記号・顔文字ボタン／通常変換ボタン*
- ⑦ クリアボタン
- ⑧ スペース
- ⑨ ケータイ入力表示の左寄せボタン
タップするとケータイ入力表示が左側に寄せて表示され、左利きの方が片手で操作しやすくなります。
- ⑩ ケータイ入力表示の右寄せボタン
タップするとケータイ入力表示が右側に寄せて表示され、右利きの方が片手で操作しやすくなります。
- ⑪ ソフトウェアキーボード
- ⑫ 記号ボタン／大小変換・濁音半濁音付加ボタン*
- ⑬ 改行ボタン／バックボタン*
・「/」で区切られた左側は入力文字確定状態での表示、右側(または*付加項目)は入力文字未確定状態での表示となります。

■ サブメニューを表示する

ケータイ入力画面で「[設定]」をタップすると、サブメニューが表示されます。

データ引用	アドレス帳、プロフィール、お気に入り、メモ帳からデータを引用します。	
履歴引用	通話履歴から電話番号を引用します。	
定型文	インターネット、挨拶、伝言、返事、ビジネスの各カテゴリから定型文を利用できます。	
コピー／カット	コピー／カットする文字列の先頭にカーソルを移動して「始点」をタップ、文字列の末尾にカーソルを移動して「終点」をタップし、「コピー」／「カット」をタップします。	
貼り付け	貼り付ける位置にカーソルを移動して「[貼り付け]」→「[貼り付け]」と操作し、貼り付け一覧から文字列をタップします。	
編集キャンセル	文字入力画面に戻ります。	
スマホ入力(標準)	テンキー／フルキーの文字入力画面に切り替えます。	
ユーザー設定	キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
	予測変換	予測変換のオン／オフを切り替えます。
	自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。
	学習リセット	変換候補リストなど学習データを削除します。

入力方法	キーボードを変更します。
キャンセル	サブメニューを閉じます。

文字入力の便利な機能を利用する

■ 絵文字／記号／顔文字を入力する

- 1 文字入力画面(テンキー／フルキー)→[記号]
絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。
文字入力画面に変換対象がない状態で表示されます。

- 2 絵文字／記号／[顔文字]を選択

■ 絵文字／記号／顔文字一覧画面の操作

▲／▼:前／次のカテゴリやページを表示

戻る:文字入力画面に戻る

✕:選択した文字やカーソルの左の文字の削除



◎ 操作するアプリや画面によっては、一覧画面の表示方法が異なる場合や、絵文字／記号／顔文字の表示や入力ができない場合があります。

■ 文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

- 1 文字入力画面→文字入力エリアをロングタッチ
→「[切り取り]」／「[コピー]」をドラッグして、範囲を選択
- 2 [CUT] (CUT)／[COPY] (COPY)
- 3 貼り付ける位置をタップしてカーソルを移動→カーソルをロングタッチ→[貼り付け]
貼り付け一覧画面が表示されます。
- 4 貼り付ける文字を選択

■ 引用入力(マッシュルーム)を利用する

引用入力(マッシュルーム)を利用すると、引用入力など、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

- 1 文字入力画面(テンキー／フルキー)→「[引用]」をロングタッチ
iWnn IMEメニュー→[引用入力(マッシュルーム)]と操作しても利用できます。
- 2 [ブックマーク引用]／[プロフィール引用]／[電話帳引用]

■ 引用入力(マッシュルーム)を設定する

引用入力(マッシュルーム)を利用するかどうかの設定を行います。お買い上げ時は、「使用する」に設定されています。


- 1 iWnn IMEメニュー→[各種設定]
- 2 [外部アプリ連携]→[引用入力(マッシュルーム)]→[使用する]

iWnn IMEの各種設定を行う

iWnn IMEでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 iWnn IMEメニュー→[各種設定]

iWnn IMEの各種設定画面が表示されます。

表示	キーボードタイプ	ソフトウェアキーボードのタイプを変更します。		
	キーサイズ	画面の向きごとにキーボードの高さを設定します。		
	他の入力方法に切り替え	ソフトウェアキーボードを変更するボタンを表示するかどうかを設定します。オンにすると、キーボードに「  」が表示され、ロングタッチするとケータイ入力などに切り替えることができます。		
	音声入力キーを表示	音声入力ボタンを表示するかどうかを設定します。		
	左右キーを表示	フルキーのキーボードでカーソルボタンを表示するかどうかを設定します。		
	フルスクリーンモード	フルスクリーンモードを有効にするかどうかを設定します。		
	候補表示行数	ソフトウェアキーボードで文字入力する際に、予測変換などの変換候補リストを表示する行数を変更します。		
	入力	日本語候補学習	日本語入力時、変換候補リストから確定した文字を学習するかどうかを設定します。	
		日本語予測変換	日本語入力時、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。	
日本語ワイルドカード予測		日本語入力時、ワイルドカード予測機能(▶P.31)を利用するかどうかを設定します。		
候補学習		日本語以外を入力時、変換候補リストから確定した文字を学習するかどうかを設定します。		
予測変換		日本語以外を入力時、よく使う言葉や過去に変換・確定した分節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。		
ワイルドカード予測		日本語以外を入力時、ワイルドカード予測機能(▶P.31)を利用するかどうかを設定します。		
入力ミス補正		フルキーで半角英字入力時、入力ミスの修正候補を表示するかどうかを設定します。		
自動スペース入力		半角英字入力時に、変換候補の単語を選択するとスペースを自動入力するかどうかを設定します。		
自動大文字変換		半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。		
外部アプリ連携		引用入力(マッシュルーム)	▶P.32「引用入力(マッシュルーム)を利用する」	
		辞書	日本語	▶P.33「ユーザー辞書に登録する」
			英語/その他	
		その他	学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 ・絵文字/記号/顔文字の入力履歴も削除されます。
設定リセット	iWnn IMEの設定を初期化します。			

キー操作	キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。	
	キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。	
	キーポップアップ	タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。	
	フリック入力	フリック入力機能(▶P.31)を利用するかどうかを設定します。	
	フリック感度	フリック入力時のフリックの感度を設定します。 ・「フリック感度自動補正」を選択すると、フリックの感度を自動的に調整します。	
	トグル入力	フリック入力が有効のとき、同じキーに割り当てられた文字を、そのキーを繰り返しタップすることによって切り替えるかどうかを設定します。	
	自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 ・カーソル移動後でも、` (濁点) / ` (半濁点) の付加や、大文字 / 小文字の変換を行うことができます。	
	辞書	日本語	▶P.33「ユーザー辞書に登録する」
	その他	学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 ・絵文字/記号/顔文字の入力履歴も削除されます。
	設定リセット	iWnn IMEの設定を初期化します。	

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの読みと表記を、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 iWnn IMEの各種設定画面→[辞書]→[日本語]／[英語]／[その他]

ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 [E]→[登録]

3 読み／表記を入力→[保存]



memo

◎登録した単語を編集する場合は、ユーザー辞書単語一覧画面→編集する単語を選択→[E]→[編集]と操作します。

◎ユーザー辞書単語一覧画面→削除する単語を選択→[E]→[削除]→[OK]と操作すると、選択した単語を削除できます。また、ユーザー辞書単語一覧画面→[E]→[ユーザー辞書全消去]→[OK]と操作すると、すべての単語を削除できます。

iWnn IMEケータイ入力の設定を行う

ケータイ入力利用時のiWnn IMEでの予測変換やキー操作などを設定できます。

1 アプリ一覧→[設定]→[言語と入力]→[iWnn IMEケータイ入力]

2	入力	予測変換	日本語入力時、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
	キー操作	キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
		キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
		自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 ・カーソル移動後でも、`（濁点）／`（半濁点）の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。
	その他	学習リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 ・絵文字／記号／顔文字の入力履歴も削除されます。

電話.....	36
電話をかける.....	36
電話を受ける.....	37
伝言メモを利用する.....	38
自分の電話番号を確認する(プロフィール).....	38

電話

電話をかける

1 ホーム画面→[電話]

電話番号入力画面が表示されます。

- ・通話履歴一覧画面が表示された場合は「電話」タブをタップしてください。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

「SMS」:SMSの新規作成画面を表示

「クリア」:入力した数字を1桁削除

「クリア」(ロングタッチ):すべての数字を削除

「電話帳に登録」:入力した電話番号を電話帳に登録

「電話帳」:電話帳を起動

「伝言メモ」*:伝言メモ画面を表示

*伝言メモのあり/なしで表示が変わります。

📄:伝言メモなし 📄:伝言メモあり 📄:伝言メモ全件録音済み

「ボイスパーティー」:ボイスパーティーで電話をかける(▶P.37)

「1」をロングタッチ→[OK]と操作すると、お留守番サービスセンターに接続され、伝言を聞くことができます。*

*お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

3 [発信]→通話→[通話終了]

通話中に[◀▶] (音量下/上ボタン)を押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。

memo

- ◎ 発信中/通話中に顔などによって画面をおおうと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
- ◎ 送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面→[メニュー]

電話帳に登録*	電話帳の連絡先に追加します。
番号非通知(184)付加	電話番号に「184」を追加します。
番号通知(186)付加	電話番号に「186」を追加します。
自動ポーズ(.)付加*	「.」を入力します。電話番号の後ろに「.」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから約2秒後に番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。
手動ポーズ(.)付加*	「.」を入力します。電話番号の後ろに「.」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから「送信」をタップしたときに番号をプッシュ信号として送信できます。
スピードダイヤル	連絡先の電話番号を登録することで、簡単に電話をかけることができます。
連絡先検索	番号入力時に電話帳内の入力内容に適合する検索対象を表示します。
通話設定	▶P.99「通話に関する設定をする」

*電話番号が入力されている場合にのみ表示されます。

通話中に利用できる操作

通話中画面で「スピーカー」/「ダイヤルキー」/「保留」/「メニュー」をタップすると、次の操作ができます。

スピーカー	ハンズフリー通話に切り替えます。	
ダイヤルキー	プッシュ信号を送信します。	
保留	通話を保留状態にします。	
メニュー	ミュート	自分の声を相手に聞こえないようにします。
	通話音声メモ	通話中の音声を録音します。
	通話を追加	別の相手に電話をかけます。

緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo

- ◎ 日本国内の緊急機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- ◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)については、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

履歴を利用して電話をかける

1 電話番号入力画面→「通話履歴」タブをタップ

通話履歴一覧画面が表示されます。

- 📄: 着信(青色)
- 📄: 着信(伝言メモあり)
- 📄: 不在着信(赤色)
- 📄: 不在着信(伝言メモあり)
- 📄: 発信
- 📄: 発信拒否
- 📄: 不在着信(ワン切り*)
- 📄: シンクコールに対応

*約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性があるのでご注意ください。

2 電話をかける履歴の[📄]

選択した相手に電話を発信します。

- ・通話履歴一覧画面で履歴をタップすると履歴詳細画面が表示され、音声発信以外にもSMSの作成や伝言メモ再生、電話帳に登録などの操作を行うことができます。

memo

- ◎ 通話履歴をロングタッチすると、履歴の削除ができます。
- ◎ 通話詳細画面から、番号を連絡先に追加したり、SMSの作成などができます。

ボイスパーティーで電話をかける

複数人(最大30人)で同時に通話できます。

1 電話番号入力画面→[ボイスパーティー]

ボイスパーティー履歴が表示されます。
初回起動時は、確認画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 [ボイスパーティー追加]

電話帳呼び出し	電話帳に登録されている電話番号を選択してメンバーに追加します。
通話履歴呼び出し	通話履歴から電話番号を選択してメンバーに追加します。
直接入力	電話番号を直接入力してメンバーに追加します。

4 [メンバー追加]

電話を発信するメンバーを追加します。
・メンバーを削除するには「削除」をタップします。

5 [発信]

ボイスパーティーメンバーに電話を発信します。

6 通話→[通話終了]

・それぞれのメンバーの「通話終了」をタップすると、選択したメンバーのみ通話を終了できます。



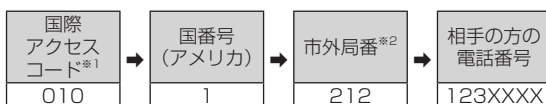
memo

- ボイスパーティーを利用するにはお申込みが必要です。
- 発信者には通話先に応じた通話料(人数分)が課金されます。
- 発信先として、緊急通報番号(110、119、118)や時報(117)などの特番は対象外です。
- ボイスパーティーでの発信時は、「発信者番号通知を許可」の設定にかかわらず発信者番号が通知されます。
- 発信後、どの着信者からも20秒間応答がない場合、ボイスパーティーは終了されます。
- 発信者・着信者はボイスパーティーと三者通話を同時にご利用できません。
- 発信者・着信者はボイスパーティー中、馴込着信をご利用できません。
- 発信者・着信者はボイスパーティー中にプッシュ信号を送信できません。
- 着信者がお留守番サービス、着信転送サービスを利用している場合、着信者はボイスパーティーに参加できません。
- auのVoLTE対応機種に着信した場合、伝言メモは応答しません。
- 着信者には発信者以外のメンバーの名前や電話番号は表示されません。

au電話から海外へかける (au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。
例:本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]



*1「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。
*2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります)。



memo

- au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
- 通話料は、auより毎月のご利用料金と一緒にのご請求となります。
- ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から☎0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

1 着信画面→[受話]

通話を開始します。
・スリープモード中やスタート画面表示中は、着信画面で「☎」から「📞」まで右にスライドします。「シンクコールの設定」(▶P.38)の「着信時のポップアップ表示」が「OFF」の場合は、着信中に「電話に出る」をタップします。

2 通話→[終話]

■電話がかかってきた場合の表示について

お買い上げ時は、着信すると次の内容が表示されます。

- ・相手の方から電話番号の通知があると、ポップアップ表示された操作パネルに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
- ・相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。
「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能*」
*相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

着信時に相手の方の電話番号や名前を表示しないようにすることもできます(▶P.99「着信相手非表示」)。



memo

- LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、「データ使用量」の「モバイルデータ」(▶P.98)を「OFF」にしてご利用ください。
- かかってきた電話に出なかった場合は
- ステータスバーに「📞」が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳に登録されている名前が表示されます。
- 着信時に着信音、バイブレータを無効にするには
- 着信時に「🔇」(音量下/上ボタン)を押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。
- 他の機能をご利用中に着信した場合は
- 動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されません。
- 音声レコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されます。
- マナーモード(ドライブ)に設定している場合は、自動的に伝言メモが起動します。
- 着信中にシンクコール表示が行われない場合は
- 本体メモリの空き容量が少ない状態では、着信時にシンクコールが表示されないことがあります。
その場合は、通知パネルから着信応答を行うか、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を増やしてください。また、メモリ負荷の高いアプリ等を長時間使用する場合は、事前にシンクコール設定にて「着信時のポップアップ表示」を「OFF」しておくことをおすすめします。

■着信中のメニューを利用する

1 着信画面→[メニュー]

1 SMS応答	着信拒否をして、SMSのメッセージで応答します。 ・定型文を選択するか、または自分で文章を作成して返信することもできます。定型文をあらかじめ編集しておくこともできます。
伝言メモ応答	伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。
転送	かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号へ転送します。 ・転送先の登録方法については「手動で転送する(選択転送)」(▶P.107)をご参照ください。
拒否	着信を拒否します。



memo

- 伝言メモ録音中に「☎」から「📞」まで右にスライドすると、電話に出ることができます。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で起動できます。

1 着信時にポップアップ表示された操作パネルで[電話画面]

- ・「電話画面」が表示されている場合は、手順2へ進みます。

2 [メニュー]→[伝言メモ応答]

着信を拒否する

1 着信中に[拒否]

- ・着信音が止まって電話が切れます。相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する

1 着信中にポップアップ表示された操作パネルで[電話画面]

- ・「電話画面」が表示されている場合は、手順2へ進みます。

2 [メニュー]→[SMS応答]

3 送信したいメッセージをタップ

- ・「カスタムメッセージ」をタップすると、メッセージを作成して送信できます。



◎既存のメッセージを編集する場合は、アプリ一覧→[設定]→[通話]→[SMS応答]→既存のメッセージを選択して編集→[OK]と操作します。

シンクコールについて

操作画面のまま、通話することができます。さらに、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用して、通話相手と表示中のスマホの画面、カメラで映している映像、お互いの位置情報、手書きの文字や絵をリアルタイムで共有する機能です。

■通話中に利用できる操作

通話中にシンクコールのポップアップが表示されていない場合は、[C]をタップすると、次の操作ができます。

- ・利用方法については、アプリ一覧→[設定]→[通話]→[シンクコール設定]→[使用方法]と操作して使用方法をご参照ください。

電話画面	電話画面を表示します。
スピーカーON/スピーカーOFF	ハンズフリー通話のON/OFFを切り替えます。
終話	通話を終了します。
画面シンク	通話中に表示している画面を相手に送信します。
カメラシンク	カメラで写している映像を相手に送信します。
位置シンク	お互いの位置情報を地図上に表示します。
手書きシンク	画面上で手書きの文字を共有します。
メディア	利用中の他の機能の音量を調整します。
通話	通話中の音量を調整します。
	▶P.38「シンクコールを設定する」
	ポップアップを閉じます。

シンクコールを設定する

1 アプリ一覧→[設定]→[通話]→[シンクコール設定]

シンクコールを使用する	シンクコールを使用するかどうかを設定します。
着信時のポップアップ表示	着信時に操作パネルをポップアップ表示するかどうかを設定します。
受話ボタンタッチ後のシンクコール表示	受話ボタンをタップして着信に応答した際に、操作中の画面表示を継続するかどうかを設定します。オフにすると電話画面を表示します。
スピーカー受話応答時のランチャー表示(3秒間)	スピーカー受話応答時にランチャーを表示するかどうかを設定します。
手書きシンク終了時の自動保存	手書きシンク終了時に手書きした内容を自動で保存するかどうかを設定します。
通話終了後のお知らせ	通話相手がシンク機能を利用可能な場合、通話終了後のお知らせを表示します。 ・通話相手がアドレス帳に登録されている場合のみ選択できます。
使用方法	シンクコールの使用方法を表示します。
利用規約	シンクコールの利用規約を表示します。
プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示します。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。
バージョン情報	シンクコールアプリのバージョンを確認します。

3 [閉じる]

伝言メモを利用する

伝言メモを設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声録音することができます。1件あたりの最大録音時間は約60秒です。

1 アプリ一覧→[設定]→[通話]→[伝言メモ]

伝言メモ応答設定	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答時間	応答するまでの時間を設定します。



◎録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーにが表示されます。ステータスバーを下にスライド→[伝言メモ]と操作すると、伝言メモリスト画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。

◎録音された伝言メモを削除するには、伝言メモリスト画面で伝言メモをロングタッチ→[削除]／[すべて削除]→[OK]と操作します。

自分の電話番号を確認する(プロフィール)

1 アプリ一覧→[設定]→[プロフィール]

プロフィール画面が表示されます。

■プロフィールを登録する

1 プロフィール画面→

- ・をタップすると、プロフィールをメールなどで共有したり、ホーム画面に配置したりできます。

2 必要な項目を入力→[保存]



◎アプリ一覧→[電話帳]→[すべての連絡先]タブをタップ→登録済みのプロフィールをタップ、または[プロフィールを設定]と操作しても、自分の電話番号を確認できます(▶P.64)。

メールについて.....	40
Eメールを利用する.....	40
Eメールの表示モードを切り替える.....	40
Eメールを送信する.....	42
Eメールを受信する.....	45
新着メールを問い合わせで受信する.....	46
Eメールを検索する.....	46
Eメールをフォルダモードで確認する.....	46
Eメールを会話モードで確認する.....	50
Eメールを設定する.....	51
Eメールをバックアップ／復元する.....	53
迷惑メールフィルターを設定する.....	54
SMSを利用する.....	55
SMSを送信する.....	55
SMSを受信する.....	56
SMSを検索する.....	56
SMSを削除する.....	56
SMSを設定する.....	57
Gmailを利用する.....	57
Gmailを起動する.....	57
Gmailを送信する.....	57
Gmailを受信する.....	57

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ Eメール

(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができるサービスです。絵文字やデコレーションメールに対応し、文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます(▶P.40)。

■ SMS

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもSMSの送信および受信をご利用いただけます(▶P.55)。

■ PCメール

Gmailに接続されます(▶P.57)。

■ Gmail

Googleが提供するメールサービスです。Gmailのアカウントだけでなく、PCメールのアカウントも設定できますので、統合してメールの確認・送信をしたり、アカウントを切り替えながら利用したりできます(▶P.57)。

Eメールを利用する

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- ◎ Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- ◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかることがあります。

Eメールの初期設定について

- ◎ 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- ◎ 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
- ◎ Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスの変更やその他の設定をする」(▶P.53)をご参照ください。
- ◎ アプリ一覧→[設定]→[アプリ]→[Eメール]アプリを選択し、「アップデータのアンインストール」や「データを消去」を行った場合、保存されたEメールのデータや設定情報がすべて削除されます。事前にバックアップを行ってください。バックアップについては、「Eメールをバックアップ/復元する」(▶P.53)をご参照ください。

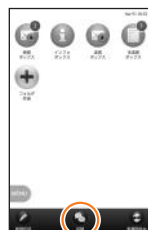
Eメールの表示モードを切り替える

指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードと相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面→[Eメール]

2 [切替]

表示モードが切り替わります。



《フォルダモード》



《会話モード》

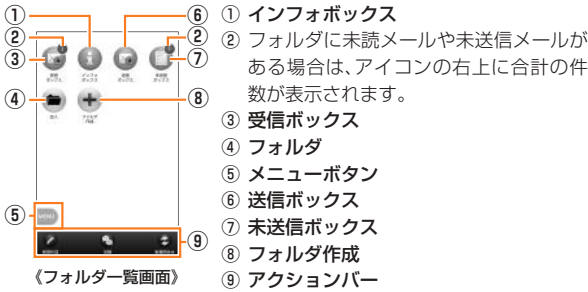
memo

- ◎ 本書ではフォルダモードでの操作を基準に説明しています。会話モードでは、メニューの項目/アイコン/画面上のボタンなどが異なる場合があります。

フォルダモードでの画面の見かた

■ フォルダー一覧画面の見かた

フォルダー一覧画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。



■ Eメール一覧画面の見かた



- ① ●: 未読のEメール
○: 本文を未受信のEメール
- ② 件名
- ③ 宛先 / 差出人の名前またはEメールアドレス
 - ☎: 電話帳に登録があるアドレスと送受信した場合
 - : 電話帳未登録のアドレスと送受信した場合

※ ●や■の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.52)で変更することができます。
■を選択することで背景色を変更することができます。
背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.52)で戻すことができます。

Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
電話帳に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
※ 電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
- ④ メニューボタン
- ⑤ 2行表示 / 本文プレビュー表示切替ボタン
- ⑥ アイコン
 - ▲: サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール
 - ◀: 返信したEメール
 - ➡: 転送したEメール
 - ↔: 返信 / 転送したEメール
 - 📎: 添付データあり
 - 🔒: 保護されたEメール
 - 🚩: フラグ付きEメール
 - ▲: 送信に失敗したEメール
 - 🕒: 送信予約Eメール
 - 🔄: 自動再送信Eメール
- ⑦ アクションバー

⑧ 受信 / 送信切替スライダ

フォルダ内の受信メール一覧と、送信メール一覧を切り替えて表示できます。



◎ 横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

■ Eメール詳細表示画面の見かた




- ① 宛名
- ② 受信メール
From: 差出人の名前またはEメールアドレス
To / CC: 宛先の名前またはEメールアドレス
- ③ 送信メール
To / CC / Bcc: 宛先の名前またはEメールアドレス
- ③ 📎: 添付データ(本体メモリ保存)
📎: 添付データ(内部ストレージ保存)
📎: 添付データ(内部ストレージ保存失敗)
📎: インライン添付データ(本体メモリ保存)
📎: インライン添付データ(内部ストレージ保存)
📎: 未受信の添付データ
- ④ 本文表示エリア
- ⑤ 前のEメール / 次のEメールを表示
※ 本文表示エリアを左右にフリックすることで、前のメール / 次のメールを表示することもできます。
- ⑥ 📎 / 📎: 詳細情報の表示 / 非表示
- ⑦ アイコン
 - ▲: 送信に失敗した
 - ◀: 返信したEメール
 - ➡: 転送したEメール
 - ↔: 返信 / 転送したEメール
 - 👤: 複数の宛先あり
 - 📧: Bccの宛先で受信したEメール
 - 🕒: 送信予約Eメール
 - 🔄: 自動再送信Eメール
 - 🔒: 保護されたEメール
 - 🚩: フラグ付きEメール
- ⑧ メニューボタン
- ⑨ アクションバー

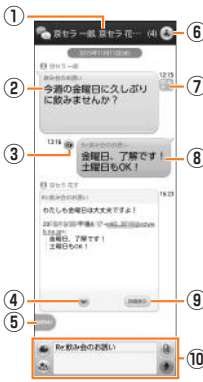
会話モードでの画面の見かた

■ スレッド一覧画面の見かた


Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。

- 
- ① すべて表示 / お気に入り表示切替タブ
すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。
 - ② スレッド
■: 電話帳に登録があるアドレスと送受信した場合
■: 電話帳未登録のアドレスと送受信した場合
※ ■ や ■ の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.52)で変更することができます。
■ を選択することで背景色を変更することができます。背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.52)に戻すことができます。
 - ③ (赤色): 新着Eメールあり
(青色): 未読Eメールあり
 - ④ メニューボタン
 - ⑤ インフォボックス
インフォボックスメールを表示できます。
※ 新着 / 未読メールがある場合は、「インフォボックス」タブの右上に合計の件数が表示されます。
 - ⑥ (黄色): お気に入り
(灰色): お気に入り解除
 - ⑦ アクションバー
- ⑧ (スレッド一覧画面)

■ スレッド内容表示画面の見かた

- 
- ① スレッド名称(相手先)
電話帳未登録の場合は、Eメールアドレスが表示されます。
 - ② 受信したEメール
 - ③ 送信予約Eメール
●: 自動再送信Eメール
 - ④ 続き表示ボタン
本文をすべて表示するときに使用します。閉じるときは「✖」をタップします。
 - ⑤ メニューボタン
 - ⑥ 宛先一覧表示ボタン
送受信しているアドレスを一覧で表示します。宛先を追加・削除すると別のスレッドとして表示されます。
 - ⑦ アイコン
「Eメール詳細表示画面の見かた」⑦(▶P.41)をご参照ください。
 - ⑧ 送信したEメール
 - ⑨ 詳細表示ボタン
Eメール詳細表示画面を表示します。
・ Eメールをロングタッチ→[詳細表示]と操作しても表示できます。
 - ⑩ メール作成バー
- ⑪ (スレッド内容表示画面)

■ メール作成バーの見かた

- 
- ① 件名入力欄
「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。
 - ② コミコミボタン
「コミコミ」アプリの添付画像を登録するときに使用します。
 - ③ D絵文字ボタン
デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。
 - ④ 添付ボタン
データを添付するときに使用します。
 - ⑤ 送信ボタン
 - ⑥ 本文入力欄

Eメールを送信する

1 ホーム画面→[Eメール]

2 [新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

3 [✦]

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

④ アドレス帳引用	電話帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 ・ グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用	受信メール履歴 / 送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 Eメールアドレスを選択→[選択]
メール送信履歴引用	・ [✦]→[削除]→Eメールアドレスを選択→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	本製品に登録されている自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け*	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

* クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

5 件名入力欄をタップ→件名を入力

6 本文入力欄をタップ→本文を入力

7 [完了]→[送信]→[送信]

■ 会話モードでEメールを送信する場合

1 スレッド一覧画面→[新規作成]

宛先入力画面が表示されます。

・ 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合はスレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、操作④へ進みます。

2 [✦]

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.42)の操作④をご参照ください。

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3 [作成]

スレッド内容表示画面が表示されます。

4 件名入力欄をタップ→件名を入力

5 本文入力欄をタップ→本文を入力

6 [✦]→[送信]



- デコレーションアニメには対応していません。
- 件名や本文には、半角カナおよび半角記号「- (長音)* (濁点)* (半濁点)、。」「」は入力できません。
- 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To/Cc/Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
- 絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合、auの旧絵文字に変換されることがあります。
- 送信時確認表示は非表示に設定することもできます(▶P.52)。
- フォルダモードでは送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
- あらかじめ「自動再送信」(▶P.52)をオンにしておくと、メールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、「送信予約」ボタンをタップすると、日時指定送信、あるいは本製品から電波の届かない場所でメールを送りたい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■ 宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→未入力アドレス入力欄の「✦」をタップ

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.42)の操作④をご参照ください。
「宛先を追加」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→入力済みのアドレスの「✦」をタップ→[削除]/[OK]



◎フォルダモードでは入力済みのアドレスの「✦」をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先は種類を変更することはできません。

送信予約をする

■ フォルダモードで送信予約する場合

1 送信メール作成画面で本文入力欄をタップ→本文を入力→[完了]

2 [送信予約]→[OK]

3 送信する日付を入力→[設定]

4 送信する時間を入力→[設定]

未送信ボックスに「📧」が付いた送信予定のEメールが保存されます。

■ 会話モードで送信予約する場合

1 スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [📧]→[送信予約]→[送信予約]→[OK]

3 送信する日付を入力→[設定]

4 送信する時間を入力→[設定]

スレッド内容表示画面に「📧」が付いた送信予定のEメールが表示されます。



◎Eメールの自動送信は20件まで設定できます。
◎送信予約が設定されているメールを編集したり、指定した日時を変更しようとしたらすると、いったん送信予約が解除されます。
◎電波状況などにより、予約した日時に送信できない場合があります。
◎指定した日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
◎日時指定したメールが国際ローミング中に送信された場合、料金が高額となることがありますのでご注意ください。
◎電波が届かない状態で送信予約をすると、日時指定送信か圏内復帰時に自動送信するかを選択することができます。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面→[添付する]

会話モードではスレッド内容表示画面で「📎」をタップします。

2 ストレージ	ファイル種別を選択して内部ストレージまたはmicroSDメモリーカードのデータを添付します。
ギャラリー(静止画)	アルバムの静止画データを添付します。
ギャラリー(動画)	アルバムの動画データを添付します。
カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
カメラ(動画)	動画を撮影して添付します。
その他	他のアプリを利用してデータを添付します。

■ 静止画データを添付する場合

3 リサイズするサイズをタップ

静止画データをリサイズして添付することができます。



◎1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
◎フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
◎添付データを削除するには、削除する添付データの「✦」をタップします。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[D絵文字]

会話モードではスレッド内容表示画面で「🎨」をタップします。

2 [D絵文字を探す]

3 メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ 内部ストレージの絵文字を利用する場合

2 [ストレージ]

■ D絵文字パレットのカテゴリを追加する場合

2 [カテゴリ追加]

3 カテゴリ名称を入力→[作成]

4 作成したカテゴリに表示するデコレーション絵文字を選択→[追加]

■ カテゴリ順序の入替えや編集を行う場合

2 [カテゴリ設定]→[編集]

3 [三]を移動したい位置までドラッグ→[完了]

・追加したカテゴリは「削除」をタップして削除できます。カテゴリを削除してもデコレーション素材の元データは削除されません。

コミコミを利用する

コミコミは漫画のフキダシにあるセリフを自由に書き換えてメールで送信できるアプリです。コミコミを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面→[コミコミ]

会話モードではスレッド内容表示画面で[]をタップします。コミコミアプリで画像を選択し、Eメールアイコンをタップすると添付画像として作成画面に登録されます。

本文入力中にできること

1 送信メール作成画面／会話モードのスレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→[]

2 削除	Eメールを削除します。 ・会話モードのときのみ選択できます。
検索	▶P.46「Eメールを検索する」 ・会話モードのときのみ選択できます。
送信予約	▶P.43「送信予約をする」 ・会話モードのときのみ選択できます。
アドレス帳引用	電話帳から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	本製品に登録されている電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください(▶P.52)。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。 ・フォルダモードのときのみ選択できます。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾したり、テンプレートを使用して装飾メールを作成することができます。

■ 本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます(デコレーションメール)。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [装飾]

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→[]/[]で終了位置を選択

[全選択]をタップして、すべての文字を選択することもできます。

4 文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色*	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	microSDカードまたは内部ストレージに保存された画像やアルバムの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

* 「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 [完了]→[送信]→[送信]

memo

- ◎ 本文には、最大20件(合計100KB以下)の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
 - * 一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
 - * 挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
- ◎ [Eメールにデータを添付する](▶P.43)の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
- ◎ 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
- ◎ 手順4で[]→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。
- ◎ 異なる機種種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- ◎ デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
- ◎ 会話モードでは、本文を装飾できません。

■ 速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめauMarketから対応するアプリをダウンロードしてください。

・フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [速デコ]

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 [確定]

memo

- ◎ 装飾結果プレビュー画面→[]→[設定]と操作すると、速デコの設定を変更できます。

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知もEメール設定の「基本通知設定」(▶P.52)または「個別通知設定」(▶P.52)でオフにすることができます。

・端末がスリープ状態でEメールを受信すると画面が点灯します。

・スタート画面上に通知ポップアップを表示することができます(お買い上げ時はオフに設定されています)。

・ステータスバーに「」が表示され、Eメール受信音が鳴ります。

ステータスバーに名前、Eメールアドレス、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。



(通知ポップアップ)

2 ホーム画面→[Eメール]

Eメールのフォルダ一覧画面が表示されます。

・新着Eメールがあるフォルダには「」(赤色)と件数が表示され、未読Eメールがあるフォルダには「」(青色)と件数が表示されます。



3 [受信ボックス] / フォルダをタップ

受信メール一覧画面が表示されます。

4 Eメールをタップ

Eメール詳細表示画面が表示されます。

memo

- ◎ Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに「」が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶P.51)をオフに設定している場合は、バックグラウンド受信しません。
- ◎ 「メール自動受信」(▶P.51)をオフに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り「」が表示されます。「新着メールを問い合わせる」(▶P.46)の操作を行い、Eメールを受信してください。
- ◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもバケット通信料がかかることがあります。
- ◎ 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- ◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 Eメール詳細表示画面を表示

2 添付データをタップ→[表示]

未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。

受信完了後、もう一度添付データをタップ→[表示]と操作してください。

memo

◎ 通常のEメール(テキストメール)では、添付データがインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類の、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。

※ データによっては、インライン再生されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像または内部ストレージやmicroSDメモリーカードに保存できます。

1 Eメール詳細表示画面→添付データをタップ

2 [ストレージへ保存]

3 [保存]

選択した画像が内部ストレージ、またはmicroSDメモリーカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリーカードに保存されます。



memo

- ◎ 添付画像を保存する保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
- ◎ 未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください(▶P.45)。

差出人 / 宛先 / 件名 / 電話番号 / Eメールアドレス / URLを利用する

1 Eメール詳細表示画面 / 会話モードのスレッド内容表示画面を表示

■ 差出人 / 宛先 / 本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人 / 宛先 / 本文中のEメールアドレスをタップ

3 Eメール作成	選択したEメールアドレスを宛先にしてEメールを作成します。アプリ選択画面が表示された場合は、メールを作成するアプリを選択し、「常時」/「今回のみ」をタップします。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを電話帳に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加*	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 【新規振分けフォルダ作成】 / 【「×××」(×××はフォルダ名)に追加】→【保存】 ・ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 ・「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.49「フォルダを作成 / 編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.54「迷惑メールフィルターを設定する」
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

* フォルダモードのときのみ選択できます。

■ 件名をコピーする場合

2 Eメール詳細表示画面で件名をタップ→[コピー]

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3	音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
	特番付加184	選択した電話番号に「184(発信者番号非通知)」を付加して電話をかけます。
	特番付加186	選択した電話番号に「186(発信者番号通知)」を付加して電話をかけます。
	au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 ・au国際電話サービスを利用した国際電話のかけかたについては、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
	SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.55「SMSを送信する」
	アドレス帳登録	選択した電話番号を電話帳に登録します。
	電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3	開く	選択したURLのページを表示します。
	URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

◎本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせせて受信する

「メール自動受信」(▶P.51)をオフに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせせて受信することができます。

1 ホーム画面→[Eメール]

2 [新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

memo

◎会話モードではスレッド内容表示画面で、メール作成バーより上の部分を上方向へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせせて受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面→[Eメール]

2 [🔍]→[検索]／[全検索]

3 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

4 [🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

フォルダ一覧画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

memo

◎[🔍]をタップすると、キーワード検索以外にも検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振り分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面→[Eメール]

フォルダ一覧画面が表示されます。

・受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。

・未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます(送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります)。

■受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]／フォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。

「返信」:返信のEメールを作成

「転送」:転送のEメールを作成

「保護」/「保護解除」:Eメールを保護/保護解除

「フラグ」/「フラグ解除」:Eメールにフラグを付ける/外す

●:前のEメールを表示

●:次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス] / フォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール詳細表示画面が表示されます。
「再送信」: 同じEメールをもう一度送信
「コピー編集」: コピーして編集
「保護」/「保護解除」: Eメールを保護/保護解除
「フラグ」/「フラグ解除」: Eメールにフラグを付ける/外す
●: 前のEメールを表示
●: 次のEメールを表示

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。
• 送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。
• 日時指定した送信予約メールをロングタッチ→[送信予約情報]と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、いったん送信予約は解除されます。
• 送信予約メールをロングタッチ→[送信予約解除]と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メールをタップした場合、未送信メール詳細表示画面が表示されます。送信予約メールをタップした場合、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。
「送信」: Eメールを送信
「編集」: Eメールを編集
「コピー編集」: 保護されたEメールをコピーして編集
「保護」/「保護解除」: Eメールを保護/保護解除
「フラグ」/「フラグ解除」: Eメールにフラグを付ける/外す
●: 前のEメールを表示
●: 次のEメールを表示

memo

- ◎ 宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
- ◎ 受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- ◎ 受信ボックスのすべてのメールが未読の状態を受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- ◎ 送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたEメール、送信予約メールは削除されません。

Eメール一覧画面でできること

1 受信メール一覧画面 / 送信メール一覧画面 / 未送信メール一覧画面 / 検索結果一覧画面 → []

2 削除	Eメールを削除します。 削除するEメールを選択 →[削除]→[削除] • 「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。
移動	Eメールを移動します。 移動するEメールを選択 →[移動]→移動先のフォルダを選択 • あらかじめフォルダを作成してください (▶P.49)。 • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
検索	▶P.46「Eメールを検索する」
保護/解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 保護/解除するEメールを選択 →[保護] / [解除] • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,750件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または750件まで保護できます。
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 フラグを付ける/外すEメールを選択 →[つける] / [解除] • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。
迷惑メール報告	選択したメールを迷惑メールとして報告します。
ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合は内部ストレージに保存します。 保存するEメールを選択 →[保存] • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます (▶P.53)。
フォルダ編集	表示中の受信ボックス/フォルダを編集します。 ▶P.49「フォルダを作成/編集する」
選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 本文を受信するEメールを選択 →[受信] • 「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。

* 画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→操作するEメールをロングタッチ

2 返信	Eメールに返信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 ・宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信	同報されている全員に返信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
送信	未送信のEメールを送信します。 ・宛先がないEメールでは表示されません。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 ・送信メール作成画面が表示されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 ・保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 ・フラグ付きEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認・編集します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 移動先のフォルダを選択 ・あらかじめフォルダを作成してください(▶P.49)。
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.54「迷惑メールフィルターを設定する」
迷惑メール報告	選択したメールを迷惑メールとして報告します。

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール詳細表示画面でできること

1 受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面／未送信メール詳細表示画面／検索結果メール詳細表示画面→[D]

2 削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 移動先のフォルダを選択 ・あらかじめフォルダを作成してください(▶P.49)。
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または「[◀]」／「[▶]」でカーソルを移動→「[選択開始]」→「[▶]」／「[▶]」で選択範囲を指定→「[コピー]」 ・Eメール詳細表示画面→本文をロングタッチ→「[本文選択]」と操作しても本文選択画面を表示できます。 ・本文選択画面をダブルタップ→「[▶]」／「[▶]」をドラッグして選択範囲を指定→「[コピー]」と操作することもできます。 ・「[全選択]」をタップすると、本文全体を選択できます。 ・絵文字やインライン画像もコピーできます。 ・一部の装飾(文字位置／効果、背景色)はコピーされません。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
文字サイズ	本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 ・Eメール詳細表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。
ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合は内部ストレージに保存します。 ・保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます(▶P.53)。
文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「[ISO-2022-JP]」「[Shift-JIS]」「[UTF-8]」「[EUC-JP]」「[ASCII]」 ・変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。
本文受信	本文未受信メールを表示した際、本文の受信を開始します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。

※画面により選択できる項目は異なります。

■ フォルダー一覧画面でできること

1 フォルダー一覧画面→[🔍]

2 検索	▶P.46「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.49「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 削除するフォルダを選択→[削除]→[削除] ・ロックされたフォルダは選択できません。 ・フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 ・ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

1 フォルダー一覧画面→[フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■ フォルダアイコンを変更する場合

3 ●をタップ

4 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]

5 各項目を設定→[保存]

■ フォルダ画像を設定する場合

3 ●をタップ→[ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]

5 各項目を設定→[保存]



memo

◎ 最大20個のフォルダを作成できます。

■ フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 フォルダー一覧画面→[🔍]→[フォルダ編集]→フォルダを選択

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■ 振分け条件を設定する場合

2 [振分け条件追加]→[+]

3 メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 Eメールアドレスを入力→[OK]→[保存] ・「+」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 ドメインを入力→[OK]→[保存] ・「+」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 件名を入力→[OK]→[保存] ・件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

*クリップボードに文字が記憶されている場合にのみ表示されます。

■ アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」を選択→[保存]



- ◎ 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けす」をタップします。
- ◎ 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- ◎ 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- ◎ 「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある「✖」をタップして、条件を編集したり削除することができます。
- ◎ 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- ◎ 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス/ドメイン>2番目のメールアドレス/ドメイン>...>最後のメールアドレス/ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、着信ランプを設定できます。

1 フォルダー一覧画面→[🔍]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3 着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	内部ストレージまたはmicroSDメモ리카ードの音楽を着信音に設定します。
その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。	
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 [OFF] / パターンを選択 → [OK]	
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信ランプを設定します。 [OFF] / [ブルー] / [レッド] → [OK]	
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	スタート画面上に到着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.45「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープモードを解除し、画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.45「Eメールを受信する」	

4 [OK] → [保存]

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。
あらかじめ「Eメール設定」の「プライバシー設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください(▶P.51)。

1 フォルダー一覧画面 → [] → [フォルダ編集] → 受信ボックス／フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。

2 [フォルダロック] → フォルダロック解除パスワードを入力 → [OK]

「フォルダロック」が選択されます。
フォルダ編集画面で「フォルダロック」の選択を解除すると、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

■ フォルダを並べ替える

1 フォルダー一覧画面 → 移動するフォルダをロングタッチ

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 移動する位置にドラッグ



◎ 作成したフォルダ以外は移動できません。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにスレッドにまとめて表示できます。新着Eメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面 → [Eメール] → [切替]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

- ・新着Eメールがあるスレッドには「■」(赤色)、未読Eメールがあるスレッドには「■」(青色)が表示されます。

2 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示画面が表示されEメールが確認できます。

スレッド一覧画面でできること

1 スレッド一覧画面 → []

2 削除	<p>選択したスレッドをすべて削除します。 削除するスレッドを選択 → [削除] → [削除]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スレッド内のEメールはすべて削除されます。 ・「全選択」ですべてのスレッドを選択することもできます。 ・スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。 ・削除するスレッドをロングタッチ → [削除] → [削除] と操作しても削除できます。
件名を表示／件名を非表示	件名の表示／非表示を設定します。
全検索	▶P.46「Eメールを検索する」

スレッド内容表示画面でできること

1 スレッド内容表示画面 → []

2 検索	▶P.46「Eメールを検索する」
削除	Eメールを削除します。

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示画面 → 操作するEメールをロングタッチ

2 詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
転送	<p>転送するEメールを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	<p>Eメールを保護します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	<p>Eメールにフラグを付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラグ付きEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	添付画像およびインライン画像を保存します。
迷惑メール報告	選択したメールを迷惑メールとして報告します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールを設定する

1 ホーム画面→[Eメール]

2 [Eメール]→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。



受信・表示設定	▶P.51「受信・表示に関する設定をする」	
送信・作成設定	▶P.52「送信・作成に関する設定をする」	
通知設定	基本通知設定	▶P.52「通知に関する設定をする」
	個別通知設定	▶P.52「個別の通知に関する設定をする」
添付ファイル保存設定*	保存場所の設定	Eメールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 本体メモリに保存: 本体メモリに保存します。 ストレージに保存: 内部ストレージに保存します。
	添付ファイル一括移動	自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 ストレージへ一括移動: 本体メモリから内部ストレージに移動します。 本体メモリへ一括移動: 内部ストレージから本体メモリに移動します。
プライバシー設定	パスワード設定/パスワード変更	フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定/変更します。 フォルダロック解除パスワード(4~16文字の英数字)を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK] ・パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 ・フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	パスワードをリセットします。 フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット] ・パスワード未設定の場合は選択できません。 ・パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。

プライバシー設定	シークレット	シークレット機能の有効/無効を設定します。 パスワードを入力→[OK] ・表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 ・パスワード未設定の場合は設定できません。 ・シークレット機能を有効/無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
アドレス変更・その他の設定	▶P.53「Eメールアドレスの変更やその他の設定をする」	
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ・復元	▶P.53「Eメールをバックアップ/復元する」	
Eメール改善情報送信設定	Eメールアプリや連携するサービスの品質向上のために、Eメール改善情報を送信するかどうかを設定します。 [Eメール改善情報送信設定]→[同意する]/[同意しない]→[完了] ・「同意しない」を選択した場合は「送信しない」をタップします。	
プライバシーポリシー	お客様情報の外部送信について表示します。	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数/使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作すると、Eメールアドレスをコピーできます。	

* 受信/送信/未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを受信・再生する」(▶P.45)をご確認ください。

受信・表示に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[受信・表示設定]

メール自動受信	サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。オフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。	
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信 ^{*1}	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 アドレス帳: 電話帳に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 個別アドレスリスト: 「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 個別アドレスリスト編集: 個別アドレスに登録します。 ・「  」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け ^{*2} 」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ・登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの「  」→[削除]と操作します。
	差出人・件名受信 ^{*1}	差出人・件名のみを受信します。
添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。オンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。	

添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」	
アドレス帳登録名表示	電話帳に登録された名前を表示するかどうかを設定します。	
プロフィールアイコンを表示	プロフィールアイコンを表示するかどうかを設定します。	
プロフィールアイコン色のリセット	プロフィールアイコンの背景色をリセットします。	
文字サイズ	Eメール詳細表示画面／送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」	
外部画像表示アドレス	外部のWebサイトに表示された画像を常に表示するアドレスの確認、削除を設定します。	
テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。	
背景画像設定	背景画像(縦画面)	背景画像を設定します。 【設定する】→アプリを選択→画像を選択→切り抜き範囲を指定→【切り抜き】
	背景画像(横画面)	

※1 差出人・件名のみを受信したEメールは、受信メール一覧画面でEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、**[]**→【その他】→【本文受信】→【本文取得】と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。

※2 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定画面→【送信・作成設定】

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 【設定する】→返信先のEメールアドレス(半角64文字まで)を入力→【OK】
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 【設定する】→差出人名称を入力→【OK】
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 【設定する】→冒頭文(全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→【完了】→【設定】 ・冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面の本文入力欄→ [] →【挿入】→【冒頭文】と操作して挿入してください。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 【設定する】→署名(全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→【完了】→【設定】 ・署名には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面の本文入力欄→ [] →【挿入】→【署名】と操作して挿入してください。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。オンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 ・会話モードでご利用の場合、オンに設定していても受信メールの内容は引用されません。

送信時確認表示	誤送信を防ぐために、送信時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動再送信	送信に失敗したEメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。
宛先候補表示	宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→【通知設定】→【基本通知設定】

2 着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音 通知音	端末本体にプリセットされている着信音／通知音を設定します。
	ストレージから探す	内部ストレージまたはmicroSDメモ리카ードの音楽を着信音に設定します。
その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。	
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 【OFF】／【パターンを選択】→【OK】	
LED	Eメール受信時の着信ランプを設定します。 【OFF】／【ブルー】／【レッド】→【OK】	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」／【時間設定】 ・【時間設定】を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
ステータスバー通知	Eメール受信時、ステータスバーの通知について設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」【OFF】	
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。	
通知ポップアップ	スタート画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.45「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープモードを解除し、画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.45「Eメールを受信する」	
電源キー押下による着信音鳴動停止	着信音鳴動中に、 [] (電源ボタン)押下による画面点灯または消灯を契機に鳴動を停止するかどうかを設定します。	

個別の通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→【通知設定】→【個別通知設定】

2 【新規設定】

3 【アドレス帳引用】／【メール受信履歴引用】／【メール送信履歴引用】→設定するアドレスを選択

「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」をタップした場合は、設定するアドレスを選択→【選択】を操作します。

4 着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音 通知音	端末本体にプリセットされている着信音／通知音を設定します。
	ストレージから探す	内部ストレージまたはmicroSDメモ리카ードの音楽を着信音に設定します。
その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。	
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 【OFF】／【パターンを選択】→【OK】	
LED	Eメール受信時の着信ランプを設定します。 【OFF】／【ブルー】／【レッド】→【OK】	

着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
通知ポップアップ	スタート画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.45「Eメールを受信する」
Eメール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープモードを解除し、画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.45「Eメールを受信する」

Eメールアドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

2 Eメールアドレスの変更へ	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信] 2. [承諾する] 3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK] ・Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「-」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 ・変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 ・入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 ・Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルターの設定/確認へ	オススメの設定はこちら ▶P.54「迷惑メールフィルターを設定する」
自動転送先の設定へ	受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信] 2. 入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信] ・自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 ・自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 ・「エラー！Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字が入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 ・Eメールアドレスを間違えて設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 ・自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に戻ることがありますのでご注意ください。



◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ/復元する

Eメールを2つの方法でバックアップすることができます。また、バックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。



◎ 本製品でバックアップしたデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカード(/storage/sdcard1/private/au/email/BU/)に、取り付けられていない場合は内部ストレージ(/storage/emulated/0/private/au/email/BU/)に保存されます。

メールデータをバックアップする

メールデータ(メール本文・添付ファイル)をバックアップすることができます。

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [メールデータバックアップ]→[OK]
microSDメモリカードが取り付けられている場合は、バックアップデータをmicroSDメモリカードに保存できます。

3 バックアップデータを作成するための文字コードを選択→[OK]
文字コードについては「ヘルプ」をタップして確認してください。

4 バックアップするメール種別を選択→[OK]
フォルダモードではバックアップするフォルダを選択します。ロックされた受信ボックス/フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ(メール本文・添付ファイル)を復元することができます。

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [メールデータ復元]

3 復元するメール種別を選択→[OK]

4 復元するバックアップデータを選択→[OK]
「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。「Up」をタップすると1つ上の階層のフォルダを選択できます。「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 [追加保存]/[上書き保存]→[OK]
「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。



◎ 添付されたデータもバックアップできます。
※ バックアップしたファイルサイズが本製品に保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付ファイル付きメールを削除した上で再度バックアップを行ってください。
◎ メールデータのバックアップでは、シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態ではバックアップ、復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にした上でバックアップ、復元の操作を行うか、まるごとバックアップをご利用ください。
◎ シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされませんのでご注意ください。
◎ バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」/「送信ボックス」/「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メールも削除されます)、バックアップしたメールデータを復元します。
◎ 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

Eメールをまるごとバックアップする

Eメールアプリに保存されているメールデータ(メール本文・添付ファイル)、Eメール設定、振分け条件を、まるごとバックアップすることができます。

シークレット対象のメールデータもバックアップできます。

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [まるごとバックアップ]

バックアップしたデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに保存されます。

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ(メール本文・添付ファイル)、Eメール設定、振分け条件をすべて消去し、復元します。

1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]

2 [まるごと復元]

3 復元するバックアップデータを選択→[OK]

■ 復元前にメールデータがない場合

4 [OK]

■ 復元前にメールデータをバックアップする場合

4 [バックアップ]→[OK]

シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされません。

5 バックアップデータを作成するための文字コードを選択→[OK]

文字コードについては「ヘルプ」をタップして確認してください。

6 バックアップするファイルを選択→[OK]

ロックされた受信ボックス/フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

7 [OK]→[OK]→[OK]

■ 復元前にメールデータをバックアップしない場合

4 [まるごと復元]→[OK]→[OK]



◎ まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信/拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメールの画面→[]→[アドレス変更/フィルター設定]→[接続する]

[]→[Eメール設定]→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]と操作しても設定画面を表示できます。

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定/確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3	オススメ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメです。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
	個別設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 ・受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯/PHS以外からのメールを拒否する」に設定し、「携帯/PHS等の事業者毎に受信/拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「必ず受信」を選択することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 アドレス帳受信設定へ: 「auアドレス帳」、「Friends Note」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リストに登録する	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯/PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯/PHS事業者ごとにメールを一括で受信/拒否します。
	その他の詳細設定をする	迷惑メールおまかせ規制: メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制: 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」を選択して登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 HTMLメール規制: メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制: 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウイルスメール規制: 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。 拒否通知メール返信設定: 迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するための設定項目です。 ※以前ご利用の携帯電話で「返信しない」に設定している場合にのみ表示され、「返信する」の選択のみ可能です。
	全ての設定を一括解除する	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できません。

※「ヘルプ」をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明が表示されます。

※最新の設定機能は、auのホームページでご確認ください。
<http://www.au.kddi.com/> →[迷惑メールでお困りの方へ]

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- ◎ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
ウィルスメール規制>受信リスト設定(「必ず受信」チェックあり)>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>携帯/PHS以外のメール拒否設定>迷惑メールおまかせ規制
- ◎ 「受信リスト設定(「必ず受信」チェックあり)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェックあり)」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- ◎ 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールアドレスには返信されません。
- ◎ 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- ◎ 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できないことがあります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
- ◎ 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェックあり)」に登録してください。

■ パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「迷惑メールフィルターの設定に進む」を選択し、au IDとパスワードを入力してください。

※ au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

SMSを利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 アプリー一覧→[SMS]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [SMS]

SMS作成画面が表示されます。

- ・ 同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作④へ進みます。

3 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[📞]をタップして、電話帳から相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

- ・ 海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

010 + 国番号 + 相手先電話番号

※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

※ 電話帳から相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

本文は、全角70/半角160文字まで入力できます。

5 [送信]

送信したメッセージをロングタッチ→[送達確認結果]と操作すると、送信結果を確認できます。

- ◎ メッセージ作成中に[📧]をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、SMSを送信せずに保存できます。
- ◎ SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※ 蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

- ◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。


SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なることがあります。


- ◎ 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
- ◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合は、auの日絵文字に変換されることがあります。
- ◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などでまれに送信したメッセージに「📧」が表示される場合があります。
- ◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ステータスバーに「」が表示され、メール受信音が鳴ります。


2 アプリ一覧→[SMS]

未読のSMSがあるスレッドには「」が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。



- ◎ SMSの受信は、無料です。
- ◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できません。
- ◎ スレッド内容表示画面で「」をタップすると、相手先に電話をかけることができます。
- ◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
- ◎ 受信したSMSがタイアログ表示される場合があります。「閉じる」をタップするとメッセージを破棄します。
- ◎ 本体メモリ(内部ストレージ)が不足した場合、SMSを正しく受信できません。
- ◎ データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 アプリ一覧→[SMS]

2 返信／転送するスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

■ 返信する場合

3 [メッセージを入力]→本文を入力

4 [送信]


■ 転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

オプションメニューが表示されます。

4 [転送]

5 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

「」をタップして、電話帳から相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

6 本文を入力

7 [送信]

電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

・ 選択メニューが表示された場合は、使用するアプリを選択して「今のみ」／「常にON」をタップしてください。

■ 本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 アプリを選択してEメールを作成

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ


ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 [保護]／[保護解除]


保護したメッセージには「」が表示されます。

SMSの電話番号を電話帳に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 →[アドレス帳への登録]

連絡先一覧画面が表示されます。「新しい連絡先を作成」または追加する連絡先をタップしてください(▶P.64「連絡先を登録する」)。

・ スレッド一覧画面→登録する相手先の「」→[はい]と操作しても連絡先一覧画面が表示されます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面→→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

2

検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

1 アプリ一覧→[SMS]

■ 1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをロングタッチ

4 [削除]→[削除]

■ スレッドごとに削除する場合

2 削除するスレッドをタップ

3 →[メッセージの全件削除]→[削除]

■ 複数のスレッドを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 続けて削除するスレッドをタップ

4 →[削除]

■ すべてのスレッドを削除する場合

2 →[全てのスレッドを削除]→[削除]

SMSを設定する

1 アプリ一覧→[SMS]

2 [■]→[設定]

SMS設定メニューが表示されます。

3 通知設定	SMS受信時のポップアップ通知を設定します。OFFに設定すると、着信音、バイブレーション、LEDもOFFになります。 [差出人・本文] / [差出人] / [通知のみ] / [OFF] → [OK]
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF] / [プリセットから選択] / [ダウンロード曲から選択] → 着信音を選択 → [OK]
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF] / パターンを選択 → [OK]
LED	SMS受信時に着信ランプを点滅するかどうかを設定します。
文字サイズ	SMSの本文の文字サイズを設定します。 [特大] / [大] / [中] / [小] / [極小] → [OK]
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 署名(全角20/半角45文字まで)を入力 → [設定]
受信フィルター	▶P.57「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに「 <input checked="" type="checkbox"/> 」を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 [ホワイト] / [ブラック] / [ピンク] / [グリーン] / [ブルー] / [オレンジ] → [OK]

memo

- ◎ 着信音とバイブレーションの両方をOFFにした場合は、ポップアップ通知されません。
- ◎ SMS設定メニュー→[■]→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、SMSの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

1 SMS設定メニュー→[受信フィルター]

2 指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 入力欄をタップ→登録する電話番号を入力→[追加] ・ [■]をタップすると、電話帳から電話番号を登録できます。 ・ スレッド内容表示画面→[■]→[受信フィルター登録]→[追加]と操作しても登録できます。 ・ 登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除する電話番号を選択→[削除]→[はい]と操作します。 ・ 電話番号は、最大150件まで登録できます。
アドレス帳登録外	電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。オンに設定すると、電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailとPCメールの確認・送受信などができます。

- ・ Gmailの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.22)をご参照ください。
- ・ 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。
- ・ PCメールをご利用になるには、Gmailの画面からPCメールのアカウントを設定します。

Gmailを起動する

1 アプリ一覧→[Gmail]

アカウント設定したGmailの受信トレイ画面が表示されます。

- ・ 画面の左端を右方向へスライドするか、「■」をタップすると、アカウントの切り替え、アカウントごとのフォルダ選択や設定ができます。アカウントをタップしてアカウントを追加することもできます。

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリとサーバーのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイ画面→下方向にスライド

Gmailを送信する

1 アプリ一覧→[Gmail]

2 [✉]

3 [To]→宛先を入力

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成]→本文を入力

6 [送信]

Gmailを受信する

1 Gmailを受信

Gmailを受信すると、ステータスバーに「」が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 メールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。

1件受信の場合は、受信メール内容表示画面が表示されます。

4 受信したメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

Gmailを返信／転送する

1 アプリ一覧→[Gmail]

■送信者に返信する場合

2 返信するメールを選択→[返信]

3 本文を入力

4 [➤]

■全員に返信／転送する場合

2 全員に返信／転送するメールを選択→[全員に返信]／[転送]

3 本文を入力

「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。

4 [➤]

Gmailのメニューを利用する

メール一覧画面で左端のイニシャルアイコンや画像をタップしてメールを選択状態にすると、削除、未読に変更などメールを操作できます。メール内容表示画面の右上にある「☰」をタップするとメニューが表示され、選択したメールの移動や印刷などを操作できます。

インターネット

インターネットに接続する	60
パケット通信を利用する	60
Chromeを利用する	60
Webページを表示する	60
ブックマーク／履歴を利用する	61

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

- パケット通信(LTE NET、LTE NET for DATA)(▶P.60「パケット通信を利用する」)
- Wi-Fi®(▶P.94「無線LAN(Wi-Fi®)機能」)



◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、アプリ一覧→[設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作します。



◎LTEフラットなどのパケット通信料定額/割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額/割引サービスについては、最新のau総合カタログ/auのホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリやGoogleサービスなどのアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を続けた場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限されることがあります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://cs.kddi.com/>(auお客さまサポート)

- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

Chromeを利用する

Google Chromeを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面→[Chrome]

初めて利用するときは、利用規約とプライバシー通知の同意画面で内容を確認し、[同意して続行]→[次へ]→[ログイン]/[スキップ]と操作します。



- ◎[⌂]をタップすると、ホームページが表示されます。お買い上げ時はAndroid向けの「auスマートパス」がホームページに設定されています。
- ◎非常に大きなWebページを表示した場合は、アプリが自動的に終了することがあります。

■Webページでの基本操作

次のタッチパネル操作でWebページを閲覧できます(Webページによっては操作できない場合があります)。

- タップ:リンクやボタンを選択・実行できます。
- スライド/フリック:ページをスクロールできます。
- ズームイン/ズームアウト:ページを拡大/縮小できます。
- 前のページに戻るには[⏪]をタップします。

■Webページ内のテキストをコピーする場合

1 Webページ→テキストをロングタッチ

2 [⌂]/[🔍]をドラッグして、テキストの範囲を選択

3 [📄](コピー)

4 貼り付け先の入力欄をロングタッチ→[貼り付け]

- コピーしたテキストを貼り付けます。
- 貼り付け一覧が表示された場合は、貼り付けるテキストを選択してください。

■Webページを移動する

Webページの上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、Webサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 Webページ→URL表示欄をタップ

- URL表示欄が表示されていない場合は、画面を下方向にスライドすると表示されます。

2 URL表示欄にキーワード/URLを入力→[実行]

- 入力した文字を含む検索候補がURL表示欄の下に一覧表示された場合は、タップしてWebページを表示することもできます。

■Webページのメニューを利用する

Chromeのメニューから、新しいタブを開いたり、ブックマーク画面や履歴についての操作を行うことができます。

1 Webページ→[☰]

メニューが表示されます。

■リンクのメニューを利用する

リンクをロングタッチするとメニューが表示され、リンクの保存、URLのコピーなどの操作が行えます。

ブックマーク／履歴を利用する

ブックマークを利用する

1 Webページ→[⋮]→[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

2 利用するブックマークを選択



memo

◎ブックマーク画面でブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などの操作が行えます。

ブックマークに登録する

表示中のサイトをブックマークに登録します。

1 Webページ→[⋮]→[☆]

ブックマーク登録画面が表示されます。

2 名前、URL、保存先フォルダを入力→[保存]

履歴を利用する

1 Webページ→[⋮]→[履歴]

履歴画面が表示されます。

2 利用する履歴を選択



memo

◎履歴画面で「×」をタッチすると、履歴から消去できます。

ツール・アプリケーション

電話帳	64	Googleサービス	77
連絡先を登録する.....	64	ハンクアウトを利用する.....	77
連絡先から電話をかける.....	64	Googleマップを利用する.....	77
連絡先を編集/削除する.....	64	周辺のスポットを確認する.....	77
グループを設定する.....	64	道案内を取得する.....	77
連絡先をインポート/エクスポートする.....	65	カレンダーを利用する	78
カメラ	65	カレンダーのメニューを利用する.....	78
カメラを利用する.....	65	予定を新規登録する.....	78
QR・バーコードリーダーを利用する.....	67	時計を利用する	78
ギャラリーでファイルを表示する	68	アラームを利用する.....	78
データを再生する.....	68	タイマーを利用する.....	79
静止画を編集する.....	68	ストップウォッチを利用する.....	79
音楽を聴く	68	世界時計を利用する.....	79
音楽データを再生する.....	68	電卓を利用する	79
ビデオを再生する	69	メモ帳を利用する	79
テレビ	69	音声レコーダーを利用する	79
テレビの初期設定をする.....	70	簡易ライトを利用する	80
テレビを見る.....	70	エコモードを利用する	80
テレビを終了する.....	71	スクリーンショットシェアを利用する	81
番組表を利用する.....	71	auお客さまサポートアプリを利用する	82
テレビ番組を視聴予約する.....	71	auスマートサポートを利用する.....	82
放送エリアを登録・変更する.....	71	Lookout for auを利用する.....	82
おサイフケータイ®	72	リモートサポートを利用する.....	82
NFCを利用する.....	73	安心アクセス for Android™を利用する.....	83
FeliCaに対応したサービスを利用する.....	75	スマートフォン自動診断を利用する.....	84
Androidアプリ	75	au Wi-Fi接続ツールを利用する	84
Google Playを利用する.....	75	au災害対策アプリを利用する	84
アプリを管理する.....	76	auスマートパスを利用する	86
YouTube	76		
YouTubeを利用する.....	76		
Facebookを利用する	76		

電話帳

電話帳には連絡先の各種情報が表示されます。

memo

- ◎電話帳に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎「アカウントの設定をする」(▶P.102)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の電話帳を同期できます(Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください)。

連絡先を登録する

1 アプリー覧→[電話帳]→[すべての連絡先]タブをタップ

連絡先一覧画面が表示されます。連絡先が未登録の場合は、操作2で新規連絡先を登録してください。

- ① 全ての連絡先タブ
すべての連絡先が表示された一覧画面が表示されます。
- ② プロフィールの設定
自分の電話番号を確認し、自分の名前などを登録できます(▶P.38)。
- ③ 連絡先に登録された写真・名前
タップすると、連絡先の詳細表示画面が表示され、次の操作ができます。
 - ・をタップするとに変わり、連絡先をお気に入りに登録できます。
 - ・をタップすると、連絡先を編集できます(▶P.64)。
 - ・をタップすると、共有ツールの選択や連絡先の削除、連絡先の統合/分割、ホーム画面への連絡先ウィジェットの追加ができます。
- ④ シンクコールに対応
- ⑤ 検索
登録されている連絡先を検索します。
- ⑥ 追加
連絡先を登録します。
- ⑦ グループタブ
タップするとグループの一覧を表示します。
 - ・グループ作成や編集については、「グループを設定する」(▶P.64)をご参照ください。
- ⑧ お気に入りタブ
タップすると「お気に入り」に登録した連絡先が表示されます。
- ⑨ インデックスタブ
タブをタップすると、タップしたタブの行の文字から始まる連絡先が表示されます。インデックスタブの表示位置は、お買い上げ時は「右側」に設定されています。メニューから「左側」に変更することもできます(▶P.XX)。
- ⑩ メニュー
連絡先の削除やインポート/エクスポート、表示する連絡先の設定、インデックスタブの表示位置の設定などができます。

2 [追加]

- ・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択するか、「アカウントを追加」をタップしてアカウントを登録してください。
- ・「新しい連絡先を登録しましょう」画面が表示された場合は、「新しい連絡先を作成」→[本体]/[アカウントを追加]と操作し、連絡先/アカウントを登録してください。

3 必要な項目を入力

- ・各項目をタップすると項目を入力できます。入力中または入力後に「別のフィールドを追加」/「」をタップすると、項目を追加/削除できます。
- ・項目によっては、左側に表示されているラベル欄をタップすると、ラベルを変更できます。「カスタム」を選択すると、新しいラベル名を入力できます。
- ・「着信設定」をタップすると、着信音などの個別設定ができます。

4 [保存]

memo

- ◎登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- ◎相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」は有効になりません。
- ◎グループの一覧で「新しいグループを作成」をタップすると新規グループの追加を行えます(▶P.64)。

連絡先から電話をかける

1 連絡先一覧画面→電話をかける連絡先をタップ

連絡先の詳細表示画面が表示されます。

2

連絡先を編集/削除する

連絡先を編集する

1 編集する連絡先の詳細表示画面→

連絡先編集画面が表示されます。

2 項目を選択して編集

3 [保存]

連絡先を削除する

1 連絡先一覧画面で[メニュー]→[削除]→削除する連絡先を選択→[OK]→[OK]

memo

- ◎本体の空き容量が少ないと、連絡先の編集/削除ができない場合があります。ご注意ください。

グループを設定する

連絡先をグループに登録できます。

- ・「アカウントの設定をする」(▶P.102)を利用して、アカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

1 連絡先一覧画面→[グループ]タブをタップ→[追加]

- ・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択してください。

2 [グループの名前]→グループの名前を入力

3 [連絡先を登録/解除]→登録する連絡先を選択→[保存]

4 [グループの着信設定]の項目を必要に応じて設定→[保存]

memo

- ◎グループの編集は、連絡先一覧画面→[グループ]タブをタップ→編集するグループをタップ→と操作して行うことができます。「グループの着信設定」なども設定できます。
- ◎相手の方から電話番号の通知がない場合は、「グループの着信設定」は有効になりません。
- ◎個別の連絡先に「着信設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
- ◎グループを選択して→[削除]→[OK]と操作すると、グループを削除できます。グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先を内部ストレージやmicroSDメモリカードからインポート／エクスポートできます。

- 連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている連絡先をインポートします。

1 連絡先一覧画面→[メニュー]→[インポート／エクスポート]

2 [内部ストレージからインポート]／[SDカードからインポート]

- アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択してください。

3 [vCardファイルを1つインポート]→[OK]→インポートする連絡先ファイル(vCardファイル)を選択→[OK] [複数のvCardファイルをインポート]／[すべてのvCardファイルをインポート]を選択してインポートすることもできます。

エクスポートする

内部ストレージ／microSDメモリカードへエクスポートします。

1 連絡先一覧画面→[メニュー]→[インポート／エクスポート]

2 [内部ストレージにエクスポート]／[SDカードにエクスポート]

連絡先の選択画面が表示されます。

3 エクスポートする連絡先を選択→[OK]→[OK]

連絡先の選択画面→[すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべての連絡先をエクスポートできます。

カメラ

本製品に搭載されているカメラ機能を使って、静止画の撮影や動画の録画、バーコードの読み取りなどを行えます。

カメラを利用する

本製品は有効画素数約1300万画素のCMOSアウトカメラと約200万画素のCMOSインカメラを搭載し、静止画や動画の撮影ができます。

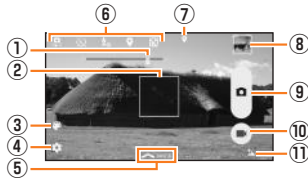
電池残量が少ない場合や極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前にはめがね拭き用などの柔らかな布でレンズ部分を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがつかないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- 撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直射しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でも、静止画撮影時にシャッター音が鳴ります。動画録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などを行うと肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。

撮影画面の見かた

1 ホーム画面→[カメラ]



《モニター画面》

- ① **ズーム**
画面上でズームイン/ズームアウトしたり◀▶(音量下/上ボタン)を押したりするとズームバーが表示され、ズームを調整できます。
- ② **オートフォーカス枠***
オートフォーカスしたときに表示されます。
※操作やカメラの状態によって表示が異なる場合があります。
- ③ **エフェクト/シーン/マニュアル/タイムラプスムービーの撮影モードアイコン**
撮影モードを「エフェクト」や「シーン」、「マニュアル」、「タイムラプスムービー」に設定しているときにモードアイコンが表示され、タップして設定を変更できます。
・設定しているエフェクト、モードによっては調整バーが表示され、設定を調整できます。
- ④ **設定アイコン(⚙)**
カメラを設定します(▶P.66「撮影前の設定をする」)。
- ⑤ **撮影モードのナビゲーション**
撮影モードを選択できます(▶P.67)。
- ⑥ **クイック設定**
「クイック設定を編集」で設定した機能がモニター画面に表示されます。撮影環境に合わせてアイコンをタップしてON/OFFを変更したり、設定メニューを表示して調整したりすることができます。
・初期設定時は以下のように設定されています。
アウトカメラ時:「カメラ切替」「セルフタイマー」「フラッシュ」
インカメラ時:「カメラ切替」「セルフタイマー」
- ⑦ **位置測位中/位置情報付加**
📍(位置測位中) 📍(測位成功) 📍(測位失敗)
- ⑧ **直前に撮影/録画したデータ**
直前に撮影/録画したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータを確認できます(▶P.68「ギャラリーでファイルを表示する」)。
- ⑨ **撮影(シャッター)**
- ⑩ **録画/停止**
- ⑪ **撮影シーン**
撮影モードの「シーン」で設定したシーンのアイコンが表示されます。
・おまかせモードやシーンを「自動シーン検出」に設定している場合は、カメラが判定したシーンのアイコンが表示されます。

撮影前の設定をする

1 モニター画面→[📷]

カメラ設定画面が表示されます。

2 [フォト]/[ムービー]/[全般]タブをタップ

■「フォト」/「ムービー」タブの場合

③ 撮影サイズ* ¹	静止画の撮影サイズを設定します。 アウトカメラ:「10M(16:9)」「8M(16:9)」「FullHD(16:9)」「13M(4:3)」「11M(4:3)」「3M(4:3)」「1.6M(1:1)」 インカメラ:「HD(16:9)」「2M(4:3)」「1M(1:1)」
録画サイズ* ²	動画の録画サイズを設定します。 アウトカメラ:「HD1080p(16:9)」「HD720p(16:9)」「HD960p(4:3)」「VGA(4:3)」 ・撮影モードが「エフェクト」の場合は、「VGA」が固定となります。 インカメラ:「HD720p(16:9)」「VGA(4:3)」
フラッシュ* ¹ 、 ライト* ²	撮影ライトを設定します。 「オート」「ON」「照明」 ¹ 「OFF」

セルフタイマー* ¹	セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、静止画を撮影します。 「10秒」「5秒」「2秒」「OFF」 ・カウントダウン中はカウントダウン音が鳴動し、撮影ライトが点滅します。 ・カウントダウン中に[📷]をタップすると、カウントダウンを中止して撮影を開始します。
HDR	露出レベルの異なる複数の画像を1つの写真/動画に合成します。 ・「フォト」タブでは次の通りに設定できません。 「ON(HDRあり+通常を保存)」「ON(HDRありのみ保存)」「OFF」 ・「ムービー」タブでは次の通りに設定できません。 「ON」「OFF」
手振れ補正* ³	手振れ補正の設定を切り替えます。 「オート」「ON」「OFF」 ・撮影モードが「マニュアル」以外の場合は、「オート」に設定されます。
タッチ撮影* ¹	モニター画面でタップした箇所にピントを合わせて撮影します。
スマイルシャッター撮影* ¹	撮影対象の笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影します。

*1「フォト」タブのみ

*2「ムービー」タブのみ

*3撮影モードを「マニュアル」に設定した場合のみ

■「全般」タブの場合

③ カメラ切替	アウトカメラとインカメラを切り替えます。
フォーカス* ¹	フォーカス方式を設定します。 「顔優先」「センター」
測光* ¹	測光を「全画面平均」「中央重点」「スポット」から設定します。
撮影補助ライン	撮影補助ラインを表示するかどうかを設定します。
水準器	水準器を表示するかどうかを設定します。
位置情報付加	設定後に撮影したすべての静止画/動画に位置情報を付加します。
オートレビュー	撮影後に撮影した画像を画面に表示する時間を「制限なし」「2秒」「OFF」から設定できます。
音量キー	◀▶(音量下/上ボタン)をズームで使用するか、撮影/録画シャッターと使用するかを設定します。
保存先	microSDメモリーカード挿入時のみ表示されます。保存先を設定します。 「内部ストレージ」「SDカード」
クイック設定を編集	設定項目をモニター画面にドラッグすると、アイコンをタップしてモニター画面から素早く設定変更できます。
初期設定に戻す	カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

*1撮影モードを「マニュアル」に設定した場合のみ

memo

◎フラッシュ/ライトを「ON」に設定すると、静止画の撮影時や動画の録画時に撮影ライトが点灯します。フラッシュ/ライトを「オート」に設定した場合は、静止画の撮影時や動画の録画時に、周囲が暗い場合のみ撮影ライトが点灯します。

■ 静止画／動画を撮影する


1 ホーム画面→[カメラ]


モニター画面が表示されます。

■ 静止画を撮影する場合

2 画面をタップ

タップしたところにピントが合います。



[]をタップして撮影してください。撮影したデータは自動的に保存されます。

- タッチ撮影が「ON」の場合は、画面をタップして撮影できます。
- 設定した撮影モードにより、が表示されていないときは、静止画の撮影はできません。
- ロングタッチでフォーカスロックされます。

■ 動画を録画する場合

2 []

録画が開始されます。

- 設定した撮影モードにより、が表示されていないときは、動画の録画はできません。
- 録画中にをタップすると、静止画を撮影できます。

3 []



録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。

memo

- ◎ モニター画面で約2分間何も操作しないと、カメラが終了します。
- ◎ 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ◎ スマイルシャッター撮影を「ON」にし、セルフタイマー撮影を行った場合、カウントダウン終了後に笑顔を検出して、自動的に撮影します。
- ◎ 録画中は送話口(マイク)でのみ、録音できます。

■ 撮影モードを切り替える

1 モニター画面→[MODE]

2 おまかせ	最適な設定で静止画／動画を撮影します。
連写	静止画を連写撮影できます。 • 撮影サイズは「8M(16:9)」以下になります。
エフェクト	エフェクト効果を設定します。 撮影サイズは「FullHD(16:9)」 「3M(4:3)」 「1.6M(1:1)」となります。また、録画サイズは「VGA(4:3)」となります。
シーン	撮りたい被写体やシーンに合わせた撮影ができます。
マニュアル	充実した設定メニューでこだわりの撮影ができます。 • []→「全般」タブをタップ、または「  」をタップして設定値を変更できます。 • 「EV補正」／「ホワイトバランス」／「コントラスト」／「ISO感度」なども設定できます。
タイムラプスムービー	タイムラプスの動画を録画できます。



memo

- ◎ タイムラプスムービー録画時は音声は録音されません。また、光源によってはフリッカ(ちらつき)が発生することがあります。
- ◎ 「シーン」モードの「夜景+人物」での撮影時は、撮影開始から撮影ライトが消えるまでカメラを動かさないでください。

■ QR・バーコードリーダーを利用する

「SATC」を利用して、QRコードやバーコードを読み取ることができます。読み取った内容は、WEBサイト表示などに利用できます。QRコードとJANコードの読み取りに対応しています。

1 アプリ一覧→[SATC]→[QR／バーコードを読み取る]

- 初回起動時は、アンケートなどが表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。



memo


- ◎ SATCではQR・バーコードリーダー以外にも、AR(Augmented Reality)を楽しむことができます。ARとはカメラでポスターや商品にかざして対象物を読み込むことで、動画やCGなどの情報を表示できる機能です。SATCアプリ内で表示されるキャンペーン情報などを、画面の案内に沿ってお楽しみください。

ギャラリーでファイルを表示する

ギャラリーは、内部ストレージ／microSDメモリカード内の画像／動画を一覧表示し再生できます。また、アルバムとして管理することもできます。

データを再生する

1 アプリ一覧→[ギャラリー]

・本製品に保存されている画像データがない場合は「」が表示され、タップするとカメラが起動します(▶P.65)。

① 表示カテゴリ名

② カテゴリ切り替えアイコン

「すべて」: データ一覧画面を表示し、すべてのデータを一覧で確認できます。

「アルバム」: アルバム一覧画面を表示します。アルバムをタップすると、アルバムに登録したデータを確認できます。

「地図」: 位置情報が付加された画像／動画を地図上に表示し、撮影位置を確認できます。

「お気に入り」: お気に入り画面を表示し、登録したデータを確認できます。

「auスマートパス」: auスマートパスを起動します。

③ 保存年月

データを保存した年月が表示されます。

④ 保存データ

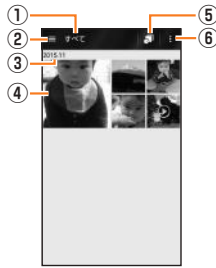
⑤ 月別表示の切り替え

月別のフォルダに分けてデータを表示します。

アルバム一覧画面の場合は「」が表示され、タップするとアルバムを追加できます。

⑥ メニュー

メニューを表示します(▶P.68)。



《データ一覧画面》

静止画を編集する

静止画を編集できます。編集可能なファイル形式は、.jpg形式、.png形式などです。データによっては利用できない場合があります。

1 データ一覧画面→データを選択

2

データ編集画面が表示されます。

3 画面下部のアイコンで編集

4 [保存]→[キャンセル]／[上書き保存]／[新規保存]

音楽を聴く

音楽やプレイリストなどを視聴できます。再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.121)をご参照ください。

音楽データを再生する

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されたコンテンツをカテゴリ別に表示して再生できます。

・音楽再生中に「SDカードのマウント解除」(▶P.101)は行わないでください。

音楽を再生する

1 アプリ一覧→[Playミュージック]

2 →[Listen Now]／[マイライブラリ]／[プレイリスト]


アイテムのリスト画面が表示されます。

・初めて「Listen Now」画面を表示した場合は、「Listen Nowへようこそ」が表示されます。閉じるには「OK」をタップしてください。

3 アイテムをタップ

4 曲をタップ



◎音量は、 (音量下／上ボタン)で調節します。

曲や曲に関連する情報を検索する

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている曲を検索したり、曲に関連する情報を検索することができます。

1 アプリ一覧→[Playミュージック]

2 →検索する曲の情報を入力



◎ギャラリーで表示されるデータの中には、再生できないものもあります。

ギャラリーのメニューを利用する

■「」をタップして表示されるメニューについて

表示中の各画面で次の操作ができます。

- ・データ一覧画面では、データの選択*やスライドショーの操作ができます。
- ・アルバムのデータ一覧画面では、データの選択*やデータの追加、アルバム設定などの操作ができます。
- ・アルバム一覧画面では、アルバムの作成や選択*の操作ができます。
- ・お気に入り画面では、データの選択*やスライドショー、アルバム設定の操作ができます。
- ・データ再生画面では、スライドショーや壁紙／連絡先への登録操作などができます。

*「選択」をタップしてデータ／アルバムを選択すると、画面下部のアイコンをタップしてデータ／アルバムの共有や削除、データのお気に入りへの登録やアルバムへの追加などができます(操作する画面により、表示される項目は異なります)。

プレイリストを作成する

- 1 アプリ一覧→[Playミュージック]
- 2 アルバム／曲の「:」をタップ→[プレイリストに追加]→[新しいプレイリスト]
- 3 プレイリスト名を入力→[プレイリストを作成]

memo

- ◎ プレイリストに曲を追加するには、アプリ一覧→[Playミュージック]→曲の「:」をタップ→[プレイリストに追加]→プレイリストを選択、と操作します。
- ◎ プレイリストを削除するには、アプリ一覧→[Playミュージック]→[]→[プレイリスト]→プレイリストの「:」をタップ→[削除]→[OK]と操作します。なお、曲は削除されません。

ビデオを再生する

Google Playで映画をレンタルしたり、保存した動画を再生したりできます。

- ・ビデオの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.22)をご参照ください。

- 1 アプリ一覧→[Playムービー&TV]
- 2 再生する動画をタップ

動画再生画面が表示され、動画が再生されます。

テレビ

テレビ(ワンセグ)は、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

一般社団法人デジタル放送推進協会

<http://www.dpa.or.jp/>

テレビ利用時のご注意

- ・テレビの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- ・テレビは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- ・テレビ画面表示中は、本製品が温くなり、長時間肌に触れたまま操作していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ・自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はテレビを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- ・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化する場合や受信できない場合があります。

- ・放送局から遠い地域または極端に近い地域
 - ・移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
 - ・山間部やビル陰
 - ・高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
 - ・その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所
- 電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。
- ・室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

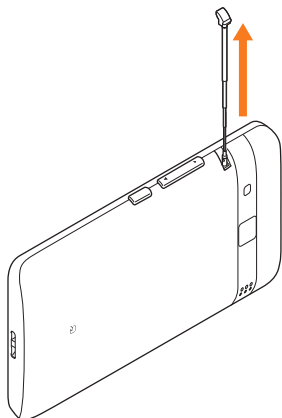
電池残量少、高温時の動作

電池残量が少ない場合や本製品が高温になっている場合は、テレビを使用することができません。また、電池残量が少ないと、テレビを起動できません。

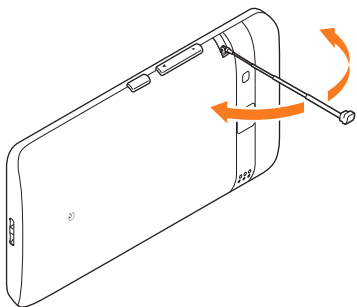
■ TVアンテナについて

テレビを視聴する際は、放送波を十分に受信できるようにTVアンテナを伸ばしてください。

- ・ 収納されているTVアンテナの先端をつまんで引き出します。
- ・ TVアンテナは、最後までしっかり伸ばしてください。



- ・ TVアンテナは回転します。受信感度良い方向へ向けてお使いください。
- ・ TVアンテナの向きを変える場合は、TVアンテナの根元を持ち、無理な力を加えないでください。
- ・ TVアンテナを収納するときは、TVアンテナを収納方向にまっすぐにしてから収納してください。



memo

- TVアンテナの向きを変えたり、本製品を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態がよくなる場合があります。
- テレビ視聴以外はTVアンテナを収納してください。TVアンテナを引き出したまま操作などすると、思わぬけがの原因となります。
- TVアンテナは確実に収納してください。

テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビを見ることができます。

1 アプリ一覧→[テレビ]

2 [OK]→エリア(地方・都道府県・地域)を選択

スキャンされたチャンネル一覧が表示されます。

3 [OK]→[OK]

テレビを見る

1 アプリ一覧→[テレビ]

テレビ視聴画面が表示されます。

- ① 映像
- ② 字幕
- ③ データ放送
- ④ データ放送用リモコン
 - ◀▶: 前ページに戻る
 - ◀▶/◀▶: カーソル移動
 - : 項目の選択
- ⑤ メニュー*
- ⑥ 視聴用リモコン*

* 映像もしくは字幕のエリアをタップすると、表示/非表示されます。



《テレビ視聴画面》



《テレビ視聴画面(全画面)》

memo

- 音量は、◀▶(音量下/上ボタン)で調節します。
- テレビを起動したときやチャンネルを切り替えたときに、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が目切れたり、止まったりする場合があります。

■ テレビ視聴中の操作

テレビ視聴画面で映像もしくは字幕をタップすると視聴用リモコンが表示され、次の操作ができます。

▲/▼: 前/次のチャンネルに切り替え

* 映像もしくは字幕のエリアを左右にフリック/スライドしても、前/次のチャンネルに切り替えられません。

■: チャンネル一覧を表示してチャンネル切り替え

■ テレビの設定をする

1 テレビ視聴画面→[■]

・ [■]が表示されていない場合は、映像もしくは字幕をタップしてください。

2	番組	番組表	▶P.71「番組表を利用する」
		番組詳細情報	視聴中の番組の詳細情報を表示します。
		番組情報	視聴中のチャンネルの番組情報を確認します。
	視聴予約	▶P.71「テレビ番組を視聴予約する」	
	テレビリンク	▶P.71「テレビリンクを表示する」	
	エリア切替	▶P.71「放送エリアを登録・変更する」	
	字幕/音声設定	字幕表示	字幕表示のオン/オフを切り替えます。
設定		データ放送設定	データ放送の位置情報利用設定や端末情報利用設定、放送局メモリー削除を行います。
		オフタイマー	テレビを自動的に終了する時間を設定します。
		ご利用にあたって	ご利用にあたっての情報を表示します。

* 操作の状況により、表示される項目は異なります。

memo

◎ データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、パケット通信料がかかります。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報(テレビリンク)が表示される場合があります。テレビリンクを本製品に登録すると、後で関連サイトに接続できます。

■ テレビリンクを登録する

1 テレビ視聴画面→登録するリンクをタップ

memo

◎ テレビリンクの登録方法は番組によって異なります。

■ テレビリンクを表示する

1 テレビ視聴画面→[■]→[テレビリンク]

テレビリンクリスト画面が表示されます。

2 テレビリンクをタップ→画面の指示に従って操作

・ テレビリンクをロングタッチすると、詳細表示／1件削除などの操作が行えます。

memo

◎ テレビリンクリスト画面で「■」をタップすると、全件削除の操作が行えます。

◎ テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。

テレビを終了する

1 テレビ視聴画面→[⏏]

memo

◎ テレビ視聴画面で[⏏]をタップするとホーム画面が表示されますが、ステータスバーには[■]が表示され、テレビはバックグラウンドで起動しています。テレビを終了するには、ステータスバーを下にスライド→テレビの通知を下にスライド→[終了]と操作してください。

番組表を利用する

番組表を利用できます。番組表からテレビ視聴画面の表示や視聴の予約などが利用できます。

・ 視聴や予約ができるのは地上デジタルテレビ放送の番組のみです。

1 テレビ視聴画面→[■]→[番組]→[番組表]

番組表画面が表示されます。

・ アプリ一覧→[auテレビ.Gガイド]と操作しても、番組表画面を表示できます。

・ 番組表を初めて起動したときは、チュートリアル画面、登録画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 番組を選択

番組情報画面が表示されます。

memo

◎ 番組表画面／番組情報画面で「その他」をタップすると、番組表のメニュー画面が表示されます。

テレビ番組を視聴予約する

テレビ番組の視聴の予約ができます。

1 テレビ視聴画面→[■]→[視聴予約]

視聴予約画面が表示されます。

2 [■]→[新規予約]→[視聴予約]

・ 「番組表から」を選択すると、番組表(▶P.71)から視聴の予約ができます。

3	タイトル	番組名を登録します。
	放送局名	チャンネルを設定します。
	開始日時	開始日時を設定します。
	終了日時	終了日時を設定します。
	繰り返し	予約の繰り返しを設定します。

4 [保存]→[はい]

設定した予約が表示されます。

・ 予約をタップすると、予約内容を確認できます。

・ 予約をロングタッチ→[削除]／[編集]と操作すると、予約を削除／編集できます。

■ 予約した時刻になると

予約時刻になると、ステータスバーに[■]が表示され、「予約お知らせ設定」(▶P.71)の設定に従って視聴の開始をお知らせします。

・ 「予約お知らせ設定」の「アラーム音通知時間」の設定に従い、視聴の開始を事前にお知らせします。

memo

◎ 終了日時やオフタイマーの設定により、テレビは自動的に終了します。

◎ 視聴予約画面で「■」をタップすると、予約失敗一覧の表示、予約お知らせ設定の変更ができます。

予約お知らせを設定する

視聴予約の開始前、開始時、終了時のお知らせ動作を設定できます。

1 視聴予約画面→[■]→[予約お知らせ設定]

2	アラーム音	予約お知らせ時にアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。
	パイプ	予約お知らせ時にパイプレータを動作させるかどうかを設定します。
	お知らせLED	予約お知らせ時に着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。
	アラーム音通知時間	視聴予約の開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。

放送エリアを登録・変更する

お使いの地域(放送エリア)によって受信チャンネルは異なります。放送エリアは10件まで登録できます。

放送エリアを登録する

1 テレビ視聴画面→[■]→[エリア切替]

エリア切替画面が表示されます。

2 登録するエリアを選択→[OK]→エリア(地方・都道府県・地域)を選択→[OK]

放送エリアを変更する

1 テレビ視聴画面→[■]→[エリア切替]

エリア切替画面が表示されます。

2 視聴するエリアを選択

視聴する放送エリアが変更されます。

おサイフケータイ[®]

おサイフケータイ[®]とは

おサイフケータイ[®]とはNFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー/ライター(R/W)機能、機器間通信(P2P)機能などが本製品でご利用いただけます。

おサイフケータイ[®]を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのおサイフケータイ[®]対応アプリをダウンロードする必要があります。

おサイフケータイ[®]対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードへ、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。

なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ[®]対応サービスご利用上の注意」(▶P.125)をあわせてご参照ください。

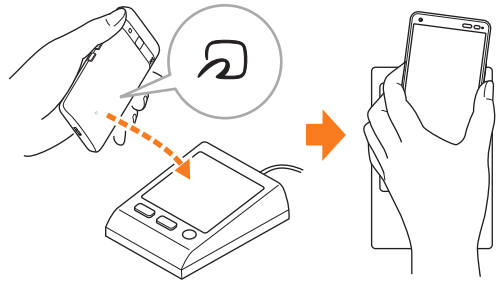
おサイフケータイ[®]ご利用にあたって

- ・本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ[®]対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- ・紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ[®]のロックをおすすめします。
- ・紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意の上管理をお願いいたします。
- ・ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ[®]をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ[®]をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- ・おサイフケータイ[®]対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- ・FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ[®]の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- ・おサイフケータイ[®]対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- ・各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・対応機種によって、おサイフケータイ[®]対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- ・電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ[®]対応アプリからのFeliCaチップまたはau ICカードへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされない場合があります。
- ・電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ[®]がご利用いただけない場合があります。
- ・おサイフケータイ[®]対応アプリ起動中は、おサイフケータイ[®]によるリーダー/ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- ・次の場合は、おサイフケータイ[®]を利用できません。ただし、リーダー/ライターにかざしてのデータのやりとりは可能です。
 - 機内モード中
 - 一度も電波を受けていない場合
 - 海外ローミング時に充電またはmicroUSBケーブル01(別売)やイヤホンなどのケーブル類を接続している場合

- ・au ICカードが正常に挿入されていない場合やau ICカードが取り外された場合、おサイフケータイ[®]対応サービスおよびNFC機能がご利用いただけないことがあります。

リーダー/ライターとやりとりする

☞マークをリーダー/ライターにかざすだけで、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのやりとりができます。



- ・☞マークをリーダー/ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- ・☞マークはリーダー/ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- ・☞マークをリーダー/ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- ・☞マークとリーダー/ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、☞マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- ・☞マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

- ◎おサイフケータイ[®]対応アプリを起動せずに、リーダー/ライターとのデータの読み書きができます。
- ◎本体の電源を切っただけでもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本体の電源を入れることでご利用になれます。
- ◎「NFC/おサイフケータイ ロック」(▶P.73)を設定している場合はご利用いただけません。

おサイフケータイ®を設定する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他]→[NFC/おサイフケータイ設定]

2 NFC/おサイフケータイロック	▶P.73「おサイフケータイ®の機能をロックする」
Reader/Writer, P2P	▶P.73「NFC機能を有効にする」
Androidビーム	Androidビーム(Reader/Writer, P2P機能)を利用したデータ通信ができます。 • Androidビームについては、「Androidビームでデータを送受信する」(▶P.74)をご参照ください。
NFC/おサイフケータイロック No.変更	「NFC/おサイフケータイロック」のロックNo.を変更します。 • ロックNo.を入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→再度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると変更できません。
NFC/おサイフケータイロック No.初期化	「NFC/おサイフケータイロック」のロックNo.を忘れた場合は、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。 • [OK]→PINロック解除コードを入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→再度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると再設定できます。



◎「おサイフケータイ」アプリの「ロック設定」や、「NFCタグリーダー」アプリの「NFC Setting」、「NFCメニュー」アプリの「NFCロック」からもNFC/おサイフケータイ設定画面を表示することができます。


おサイフケータイ®の機能をロックする

「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定すると、おサイフケータイ®対応サービスの利用を制限できます。

• おサイフケータイ®のロックは、端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 NFC/おサイフケータイ設定画面→[NFC/おサイフケータイ ロック]→[次へ]

2 ロックNo.を入力→[次へ]

おサイフケータイ®の機能がロックされ、ステータスバーにが表示されます。

NFC/おサイフケータイ ロックを解除する

1 NFC/おサイフケータイ設定画面→[NFC/おサイフケータイ ロック]→[次へ]

2 ロックNo.を入力→[次へ]

「NFC/おサイフケータイ ロック」が解除されます。



◎「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定中に電池が切れると、「NFC/おサイフケータイ ロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。充電が切れた場合は、充電後に「NFC/おサイフケータイ ロック」を解除してください。

◎「NFC/おサイフケータイ ロック」のロックNo.とFeliCaチップ内のデータは、本製品を初期化しても削除されません。

◎ロックNo.はau ICカードに保存され、本製品から取り外してもau ICカード内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.12)をご参照ください。

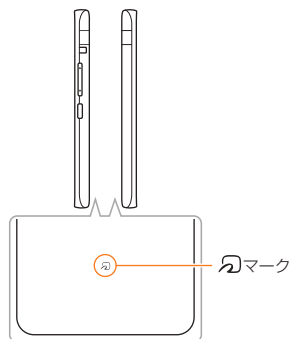
◎ロックNo.を変更するには、NFC/おサイフケータイ設定画面→[NFC/おサイフケータイ ロックNo.変更]→現在のロックNo.を入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→もう一度新しいロックNo.を入力→[次へ]と操作します。




◎ロックNo.を忘れた場合は、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。ロックNo.を再設定するには、NFC/おサイフケータイ設定画面→[NFC/おサイフケータイ ロックNo.初期化]→PINロック解除コードを入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→もう一度新しいロックNo.を入力→[次へ]と操作します。

◎本製品を紛失してしまった場合は、「Lookout for au」により、遠隔操作でロックをかけることができます。詳しくは、「auお客さまサポートアプリを利用する」(▶P.82)をご参照ください。

NFCを利用する

NFC機能(Androidビーム)を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。



- データを送信/受信するにはあらかじめNFCのReader/Writer, P2P機能をオンにしてください(▶P.73「Reader/Writer, P2P機能をオンにする」)。
- 2台の携帯電話を平行にしてマークを向かい合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送受信の操作や送受信できるデータについては、対応するアプリにより異なります。画面の指示に従って操作してください。
- マークを向かい合わせても、送受信に失敗する場合があります。失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらして送受信の操作を再度行ってください。
- マークをゆっくりと向かい合わせると送信/受信を失敗することがあります。


Reader/Writer, P2P機能をオンにする

本製品でNFCやAndroidビーム(▶P.74)、NFCタグリーダー(▶P.74)を利用する場合は、あらかじめ次の操作でNFCのReader/Writer, P2P機能をオンに設定してください。

1 アプリ一覧→[設定]→[その他]

2 [NFC/おサイフケータイ 設定]

3 「Reader/Writer, P2P」を[ON]にする

NFCのReader/Writer, P2P機能がオンになり、ステータスバーにが表示されます。



◎「Reader/Writer, P2P」をオンにするとAndroidビームもオンになります。Androidビームをオンにすると、NFC搭載機器との間で、ウェブページやYouTubeのURL、連絡先などを共有することができます。

◎非接触ICカード機能は、NFCのReader/Writer, P2P機能のオン/オフにかかわらず利用できます。

◎「NFC/おサイフケータイ ロック」を設定中は、NFCのReader/Writer, P2P機能をオンにできません。

Androidビームでデータを送信／受信する


NFCを搭載したAndroid機器との間でAndroidビームを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本製品で撮影した静止画や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

- データを送信／受信するにはあらかじめNFCのReader/Writer、P2P機能をオンにしてください(▶P.73「Reader/Writer、P2P機能をオンにする」)。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■ データを受信する

1 送信側のNFC搭載機器でデータ送信の操作を行う

2 送信側の機器と、マークを向かい合わせる

データを受信すると、受信データに対応するアプリが起動します。
• 静止画や動画、音楽などのデータを受信した場合は、ステータスバーにが表示されることがあります。ステータスバーを下にスライド→**[完了確認]**と操作すると、受信データに対応したアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。

■ データを送信する

例: 電話帳(顔写真なし)を送信する場合

1 アプリ一覧→[電話帳]→「すべての連絡先」タブをタップ→連絡先を選択

2 受信側の機器と、マークを向かい合わせる

memo

- ◎ アプリによってはAndroidビームをご利用になれません。
- ◎ 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にすらすら一度かざしてください。

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグの読み込みやデータ書き込みができます。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。

1 アプリ一覧→[NFCタグリーダー]

NFC機能が無効に設定されている場合は、注意画面が表示されます。画面の指示に従って操作して、NFC機能を有効にしてください。
初回起動時は、許可画面や利用規約画面などが表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2	Share	NFC搭載機器との間で電話帳などの各種データを送信します。
	Writing	本製品で設定した情報を設定し、NFCタグにかざして書き込みます。
	History	NFC機能の利用履歴を表示します。
	Setting	NFC SettingやApp Settingを行います。 • NFC Settingについて詳しくは「おサイフケータイ®の機能を設定する」(▶P.73)をご参照ください。 • App Settingを設定すると、自動起動、メインカラー選択、画面の向き、効果音、NFCタグ認識音、NFCタグ書き込み音、バイブレーションの設定や、利用規約の確認ができます。

NFCタグリーダーでデータを送信／受信する

NFCを搭載した携帯電話などの機器との間で、NFCタグリーダーを利用してデータを送信／受信できます。

- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■ データを受信する

1 送信側のNFC搭載機器でデータ送信の操作を行う

2 送信側の機器と、マークを向かい合わせる

データを受信すると、受信データが表示されます。

■ データを送信する

例: 電話帳を1件送信する場合

1 アプリ一覧→[NFCタグリーダー]

2 [Share]→[Address]

3 送信する連絡先を選択→[OK]

4 受信側の機器と、マークを向かい合わせる

表示されている画面が小さくなり、「タップしてビーム」と表示されます。

5 小さくなった画面をタップ

連絡先データが送信されます。

NFCメニューを利用する

NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定など、各種設定を行うことができます。

1 アプリ一覧→[NFCメニュー]

NFCメニュー画面が表示されます。
NFCサービスに対応したアプリが表示されます。
初回起動時は、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 アプリを選択

• アプリによっては、ダウンロードや初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。

■ NFCメニュー画面のメニューを利用する

1 NFCメニュー画面→

2	サービス一覧更新	NFCに対応したアプリの一覧を更新します。
	NFCポータルサイト	NFCポータルサイトを表示します。
	NFCロック	「NFC／おサイフケータイロック」などの設定を行います。 • 詳しくは「おサイフケータイ®の機能をロックする」(▶P.73)をご参照ください。
	ヘルプ	NFCメニューのヘルプを表示します。
	設定	表示タイプ変更 NFCメニュー画面の表示タイプを設定します。 カテゴリータイプ変更 カテゴリーの表示方法を横方向／縦方向に切り替えます。 配色変更 NFCメニュー画面の色を設定します。 アニメーション NFCメニュー画面をアニメーション表示するかどうかを設定します。 利用規約 NFCメニューの利用規約を表示します。
	決済カード設定	決済するカードを設定します。
	サービス移行支援	NFCサービスの移行情報を、他の端末に送受信できます。

FeliCaに対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリから対応サービスを利用できます。

1 アプリ一覧→[おサイフケータイ]

サービス一覧が表示されます。

初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選択

サービス一覧画面に表示されたショートカット、またはサービス紹介サイトから、ご利用になるサービスを選択してください。

- ・サービスによっては初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。

「おサイフケータイ」アプリのメニューを利用する

1 アプリ一覧→[おサイフケータイ]→[☰]

2	表示形式切替	表示モードを切り替えます。
	サービス表示情報更新	サービス表示情報を最新の状態に更新します。
	メモリ使用状況	FeliCaチップのメモリ使用状況を確認します。
サポートメニュー	おサイフケータイアプリ ご利用規約	「おサイフケータイ アプリ」の利用規約を表示します。
	電子マネー残高表示機能 ご利用条件	電子マネー残高表示機能の利用条件を表示します。
	バージョン情報	利用中のバージョンを確認します。
	操作ガイド	「おサイフケータイ」アプリに関する操作ガイドを表示します。
	設定リセット	サービス一覧情報をリセットします。 ・おサイフケータイ®のアプリやデータは削除されません。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

Androidアプリ

Google Playを利用すると、便利なアプリやゲームに直接アクセスでき、本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリや本製品と互換性がないアプリを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

Google Playを利用する

Google Playは、Googleのサービスです。

- ・Google Playのご利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.22)をご参照ください。
- ・ダウンロードするアプリやゲームには無料のものと同様のものがあり、Google Playのアプリ一覧ではその区別が明示されていません。有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Google Playヘルプ」(▶P.75)をご確認ください。

Google Playをご利用になる前に

- ・アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ・万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様がインストールを行ったアプリなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。
- ・アプリによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- ・アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- ・本製品に搭載されているアプリやインストールされているアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリを検索し、インストールする

1 ホーム画面→[Playストア]

Google Play画面が表示されます。

利用規約画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

■ 有料のアプリを購入するときは

アプリが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- ・アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■ 返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリは本製品からアンインストールされます。

- ・返金請求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金請求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■ Google Playヘルプ

Google Playについてお困りのときや質問がある場合は、Google Play画面→[≡]→[ヘルプとフィードバック]と操作してGoogle Playヘルプをご確認ください。

アプリを管理する

インストールされたアプリを表示したり、microSDメモリカードに移動したり、設定を調整したりできます。

提供元不明のアプリのダウンロード

提供元不明のアプリをダウンロードする前に、本製品の設定でダウンロードを許可する必要があります。

ダウンロードするアプリは発行元が不明な場合もあります。お使いの本製品と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。

1 アプリ一覧→[設定]→[セキュリティ]→[提供元不明のアプリ]を選択

2 注意文を確認し[OK]

インストールされたアプリを削除する

インストールされたアプリを削除する前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツはすべてバックアップしてください。

・アプリによっては削除できないものもあります。

1 アプリ一覧→[設定]→[アプリ]

アプリ管理画面が表示されます。

2 「ダウンロード済み」タブをタップ→削除するアプリをタップ

3 [アンインストール]

4 [OK]

memo

- ◎ Google Playからダウンロード、インストールしたアプリはすべてアンインストールすることができます。
- ◎ アプリ内に保存されているデータを消去する場合は、アプリ管理画面→データを消去するアプリをタップ→[データを消去]→[OK]と操作します。
- ◎ アプリのキャッシュを消去する場合は、アプリ管理画面→キャッシュを消去するアプリをタップ→[キャッシュを消去]と操作します。
- ◎ アプリを強制停止/無効にする場合は、アプリ管理画面→強制停止/無効にするアプリをタップ→[強制停止]/[無効にする]→[OK]と操作します。アプリ一覧に表示されているアプリを無効にすると、アプリ一覧に表示されなくなりますので、ご注意ください。

ダウンロードしたアプリを表示する

1 アプリ管理画面→「ダウンロード済み」タブをタップ

ダウンロードしたアプリの一覧が表示されます。

・「すべて」タブをタップするとすべてのアプリの一覧が表示されます。

2 確認するアプリをタップ

YouTube

Googleが提供するオンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワード入力による動画検索、カテゴリ別表示、撮影した動画のアップロードができます。

YouTubeを利用する

1 アプリ一覧→[YouTube]

新機能の紹介画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 再生する動画を選択

memo

- ◎ 動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめGoogleアカウントを取得してください。
- ◎ YouTubeの詳細については、YouTube画面→[■]→[ヘルプとフィードバック]と操作してご確認ください。

Facebookを利用する

Facebookを利用して、友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりなどができます。

・Facebookの利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。

<http://www.facebook.com/>

1 アプリ一覧→[Facebook]

2 電話番号またはメールアドレスを入力→パスワードを入力→[ログイン]

アカウントをお持ちではない場合は「Facebookに登録」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

Googleサービス

ハンガアウトやマップ、カレンダーなどGoogleが提供するアプリやサービスを利用することができます。

ハンガアウトを利用する

ハンガアウトは、Googleのインスタントメッセージサービスです。ハンガアウトを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- ハンガアウトの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.22)をご参照ください。

ハンガアウトにログインする

1 アプリ一覧→[ハンガアウト]

Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。



◎ハンガアウトの詳細については、ハンガアウトの画面→[■]→[ヘルプとフィードバック]と操作して確認してください。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

1 アプリ一覧→[マップ]

Googleマップ画面が表示されます。メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。



- ◎Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめデータ通信/GPS機能を有効にする必要があります。
- ◎指定のACアダプタ(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)による充電中は、電流による磁気が影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類から外してご使用ください。
- ◎方位計は、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障害になったり、誤差が大きく発生したりする場合がありますので、それらが無い場所に移動してから計測してください。
 - 建物(特に鉄筋コンクリート造り)、大きな金属の物体(電車、自動車)、高圧線、架線など、金属(鉄製の机、ロッカーなど)、家庭電化製品(テレビ、パソコン、スピーカーなど)、永久磁気(磁気ネックレスなど)
- ◎地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。
- ◎以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがあります。
 - 方位計の起動直後や、本製品を強い磁気に近づけた場合
 - 急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
 - 本製品が磁気を帯びた場合
- ◎Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

ストリートビューを表示する

地図から実際の景色を表示できます。

1 Googleマップ画面→表示する地点をロングタッチ

2 地点情報をタップ→[ストリートビュー]

ストリートビュー画面が表示されます。

興味のある場所を検索する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄に検索する場所を入力

2 [🔍]

- マップ画面の検索した場所に「📍」が表示されます。
- 「📍」をタップすると、検索した場所の詳細情報を確認できます。
- キーワード入力欄の「×」をタップすると、検索を終了できます。

周辺のスポットを確認する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄をタップ

2 [周辺のスポット] / カテゴリをタップ

- 「周辺のスポット」をタップすると検索結果一覧が表示され、目的の情報を選択すると詳細情報を確認できます。詳細情報内の「📍」をタップすると、マップ画面で場所を確認できます。
- カテゴリをタップすると、マップ画面に選択したカテゴリの場所を示すアイコンが表示されます。目的の場所のアイコンをタップし、「📍」をタップすると、詳細情報を確認できます。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 Googleマップ画面→[📍]

2 [🚗(車)] / [🚏(公共交通機関)] / [🚶(徒歩)]

3 「目的地を入力」に目的地を入力→[🔍]

画面上部には出発地・目的地の情報、マップ上には経路の候補が表示されます。

- 「現在地」をタップすると、出発地を入力できます。
- 「📍」をタップすると、現在地と目的地を入れ替えることができます。
- 移動方法や経路などを変更する場合は、画面上部に出発地・目的地の情報をタップし、経路の候補一覧を表示してください。必要に応じて「出発時刻」や「オプション」をタップして、日付と時刻の編集や経路オプションを変更することもできます。

4 目的の経路を選択

- 目的地への道案内が表示されます。
- 移動方法に車または徒歩を選択した場合は、画面下部の「📍」をタップすると道案内が開始されます。画面下部の経路情報をタップすると、経路を文字情報で確認できます。
- 移動方法に公共交通機関を選択した場合は、画面下部の経路情報をタップすると経路を確認できます。

カレンダーを利用する

カレンダーを1日、1週間、1ヶ月で表示することができます。

・カレンダーの利用にはGoogleアカウントが必要です。Googleアカウント設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.22)をご参照ください。

1 アプリ一覧→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。



- カレンダー画面左上部の暦をタップ→[月] / [週] / [日] / [予定リスト]と操作すると、カレンダーの表示を1ヶ月表示 / 1週間表示 / 1日表示 / 予定リストに切り替えることができます。
- カレンダー上をロングタッチすると、予定を作成できます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[☰]

2 更新	同期しているカレンダーを更新します。
表示するカレンダー	同期しているカレンダーから表示するカレンダーを選択します。
設定	▶P.78「カレンダーを設定する」

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→[+]

新規作成画面が表示されます。

2 カレンダー名 / アカウント名	複数のカレンダーを設定している場合、予定を登録するカレンダーを選択します。
	予定の色を選択します。
タイトル	予定のタイトルを入力します。
場所	予定の場所を入力します。
開始	開始日時と終了日時を設定します。
終了	・終了日時は開始日時より前には設定できません。
終日	予定を終日に設定します。
日本標準時	タイムゾーンを設定します。
ゲスト	登録する予定に招待する人のメールアドレスを入力します。 ・「,」で区切って、複数入力できます。 ・予定の登録が完了すると、入力した宛先に予定データを添付したメールが送信されます。
説明	予定の内容などを入力します。
繰り返し	予定の繰り返しを指定します。
通知	予定開始日時からのどのくらい前に通知するかを設定します。メールで通知を行うことも可能です。 ・「通知を追加」 / 「X」をタップすると、通知を追加 / 削除できます。不要な通知は削除してください。
外部向け表示	外部に予定の有無を公開します。
公開設定	予定を外部に公開するかを設定します。

3 [保存]

カレンダーを設定する

カレンダーの表示、通知方法、通知音、バイブレーションなどを設定します。

1 カレンダー画面→[☰]→[設定]→[全般設定]

2 変更する項目を選択

時計を利用する

アラーム、タイマー、ストップウォッチ、世界時計機能が利用できます。

アラームを利用する

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。

1 アプリ一覧→[時計]→[アラーム]タブをタップ

アラーム一覧画面が表示されます。

2 [+]→時刻を選択→[OK]

・設定済みのアラームを編集する場合は、編集するアラームの空白部分または「」をタップし、変更する項目を選択します。

3 繰り返し	アラームの繰り返しを曜日で指定します。 ・平日(土日、日本の祝日以外)のみアラームを鳴動させる場合は「平日」を選択します。
	アラーム音を設定します。
バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
ラベルを追加	名称を設定します。

4 「ON」 / 「OFF」にする



- アラームを設定した時刻になると、アラーム音やバイブレータが設定時間の間鳴動し、ラベルの内容が表示されます。
- アラーム音量が1以上に設定されていて、通話中にアラームが起動した場合、受話部(レシーバー)からアラームを知らせる割込音が鳴ります。
- アラームを停止する場合は、「停止」または「スヌーズ」をタップします。
- 電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。

アラームを削除する

1 アラーム一覧画面→削除するアラームの

2 [削除]

「時計」アプリの設定をする

1 アラーム一覧画面 / 世界時計画面→

2 アラーム優先	マナーモード中にアラーム音を鳴動するかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
アラーム鳴動時間	アラーム音やバイブレータが停止するまでの時間を設定します。
音量ボタン動作	アラーム鳴動時に (音量下 / 上ボタン) を押した場合の動作を設定します。
デフォルトアラーム音	「プリセット」 / 「サウンド」をタップするとアラーム音を一覧から選択できます。「サイレント」を選択すると、アラーム音は鳴りません。
スタイル	世界時計のスタイルを「アナログ」 / 「デジタル」から選択して設定します。
自宅の時計を自動表示	時差のある場所にいるとき、世界時計に自宅の時刻を表示するかどうかを設定します。
自宅タイムゾーン	自宅のタイムゾーンを設定します。

タイマーを利用する

指定した時間をタイマー音でお知らせできます。

1 アプリ一覧→[時計]→[タイマー]タブをタップ

タイマー画面が表示されます。

- お買い上げ時は、タイマーが3分に設定されています。
- 「+1分」や「-1分」をタップすると、設定済みの時間を1分ずつ増やしたり減らしたりできます。
- タイマーの時刻が設定されていない場合は、タイマー設定画面が表示されます。
- 「ラベルを追加」をタップすると、設定済みのタイマーのラベル名を登録できます。
- 「■」をタップすると、設定済みのタイマーが削除されます。
- 「+」をタップすると、タイマーを追加できます。
- 複数のタイマーは、画面を上下にスクロールして表示できます。追加したタイマーが一番上に表示されます。

2 時間をタップ

タイマー設定画面が表示されます。

3 時間を入力→[開始]

タイマー画面が表示され、カウントダウンが始まります。カウントダウンが終了すると、タイマー音が鳴ります。「停止」をタップするとタイマー音は止まります。時間をタップすると、タイマー設定画面を表示します。また、タイマーを途中で停止する場合も「停止」をタップします。「再開」をタップするとカウントダウンを再開します。「リセット」をタップするとカウントダウンをリセットします。

ストップウォッチを利用する

1 アプリ一覧→[時計]→[ストップウォッチ]タブをタップ

ストップウォッチ画面が表示されます。

2 [開始]

時間計測が始まります。



- ◎ 計測を一時停止する場合は「停止」をタップし、再開する場合は「再開」をタップします。「リセット」をタップすると、計測をリセットします。
- ◎ 「共有」をタップすると、他のアプリと計測データを共有できます。
- ◎ ラップタイムを計測する場合は、「LAP」をタップします。

世界時計を利用する

複数の都市を登録して、日付・時刻を確認できます。

1 アプリ一覧→[時計]→[世界時計]タブをタップ

世界時計画面が表示されます。

2 [🌐]→登録する都市がある国を選択→登録する都市を選択→[📍]



- ◎ 登録した都市の右側にある「🌐」をタップするとサマータイムのオン/オフが切り替わります。
- ◎ 登録した都市の削除は、「🌐」をタップして選択した都市の一覧を表示します。都市名の左側のチェックボックスをタップすると、削除されます。

電卓を利用する

1 アプリ一覧→[電卓]

電卓画面が表示されます。

- 「DEL」:最後に入力した数字/記号を消去します。ロングタッチすると入力した内容をすべて消去できます。
- 「CLR」:計算結果を消去します。

メモ帳を利用する

1 アプリ一覧→[メモ帳]

メモ一覧画面が表示されます。

- メモが1件も保存されていないときはメモ入力画面が表示されます。
- メモ一覧画面で「🗑️」をタップすると、登録したメモの削除や表示設定(リスト/サムネイルのビュー設定、日時や配色による並べ替え)が操作できます。また、「🔍」をタップして検索ワードの入力で登録したメモを検索できます。

2 [+]→タイトルとメモを入力→[保存]

メモが保存されます。

メモを確認/編集する

1 メモ一覧画面→メモをタップ

メモ詳細画面が表示されます。

タイトルまたはメモをタップするとメモ入力画面に切り替わり、タイトルやメモを編集できます。

- メモ詳細画面では次の操作ができます。

🔍:アプリを選択して表示しているメモを共有します。

🎨:メモの配色を変更できます。色分けしたメモは表示設定で色ごとにソートできます。

🗑️:表示中のメモを削除します。



- ◎ メモ詳細画面の電話番号/メールアドレス/URLをタップまたはロングタッチすると、電話帳に登録、発信、SMSの作成、メールの作成、Chromeでサイトの表示などが行えます。

メモを選択して削除する

1 メモ一覧画面→[🗑️]→[削除]

2 削除するメモを選択→[OK]→[OK]

- [すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべてのメモを削除することができます。

音声レコーダーを利用する

1 アプリ一覧→[音声レコーダー]

音声レコーダー画面が表示されます。

2 [🔴]

録音が始まります。

3 [🔴]

録音を停止し、録音した音声は保存されます。

- 「🔴」をタップすると録音を一時停止することができます。録音を再開する場合は「🔴」をタップしてください。

• 録音を停止すると再生画面が表示され、「🔴」をタップすると録音した音声を再生して確認できます。

- 音声レコーダー画面で「📁」→[ファイル形式]/[保存先]と操作すると、録音した音声データの録音ファイル形式や保存先を設定できます。



- ◎ Bluetooth®機能で接続しているマイクから録音することはできません。本製品の送話口(マイク)で録音してください。

音声を再生する

1 音声レコーダー画面→[]

音声データ一覧画面が表示されます。

- 音声データの[]をタップすると、音声データの共有や削除、ファイル名の編集、詳細情報の表示を行うことができます。

2 「本体」/「SDカード」タブをタップ→音声データをタップ

再生画面が表示され、音声の再生が開始されます。

- 再生画面で[]→[削除] / [巻き戻し設定]と操作すると、音声データの削除や、巻き戻し時間の設定ができます。
- 再生画面で再生中 / 一時停止中に[]をタップすると、再生の巻き戻しができます(アイコンの表示は、「巻き戻し設定」の設定により異なります)。

音声データを選択して削除する

1 音声データ一覧画面→[]

2 削除する音声データを選択→[OK]→[OK]

- [すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべての音声データを削除することができます。

簡易ライトを利用する

1 アプリ一覧→[簡易ライト]

簡易ライト画面が表示されます。

2 [] / []

簡易ライトが点灯 / 消灯します。

memo

- ◎ 簡易ライト画面で[]をタップすると、簡易ライトの点灯時間を設定できます。
- ◎ 簡易ライト画面で[]をタップして点滅周期を変更できます。
- ◎ 簡易ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様に簡易ライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- ◎ ご使用時は電池の減りにご注意ください。

エコモードを利用する

スリープ時間や画面の明るさを最小値に設定したり、Wi-Fi[®]やBluetooth[®]接続などをオフにしたりすることで電池の消費を抑えます。

1 アプリ一覧→[エコモード]

エコモード画面が表示されます。

2 [OFF]

エコモードがオンになります。

memo

- ◎ エコモード画面には、現在の状態や設定を基に算出した、利用可能な連続待受時間や通話時間などが表示されます。

エコモードを設定する

一括で無効、または最小値にする項目を設定します。

1 エコモード画面→[]

エコモード設定メニューが表示されます。

スリープ	バックライトが自動消灯するまでの時間を選択します。
画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示 / 横表示を切り替えるかどうかを設定します。
Wi-Fi	Wi-Fi [®] をオンにするかどうか、移動中はオフにするかを設定します。
オート通信制御	オート通信制御の設定をします(▶P.98「無線とネットワークの設定をする」)。 [*]
Bluetooth	Bluetooth [®] をオンにするかどうかを設定します。
位置情報アクセス	位置情報アクセスを無効にします。
Reader / Writer, P2P	NFCのReader/Writer, P2Pを無効にします。
CPUクロック制限	CPUクロックの上昇を制限します。端末動作が遅くなる場合があります。
データ通信	データ通信の設定をします。

^{*} 無線LAN(Wi-Fi[®])が使用可能な場合は、無線LAN(Wi-Fi[®])通信を行います。

2 []

自動設定を利用する

設定した時間や電池残量になったときに自動でエコモードを設定することができます。

1 エコモード画面で[]→[自動設定]

自動設定画面が表示されます。

2 [タイマー] / [電池残量]

- ・ 時間や電池残量を設定するには「タイマー」/「電池残量」の[]をタップします。

スクリーンショットシェアを利用する

表示中の画面をカンタンな操作で撮影、保存することができます。撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり、編集してFacebookなどのSNSやEメールで友達と共有できます。

スクリーンショットを撮る

撮影したい画面を表示した状態で、画面左上端の領域から中央に向けて指をスライドさせるとスクリーンショットシェアのアプリが起動し、スクリーンショットを撮ることができます。

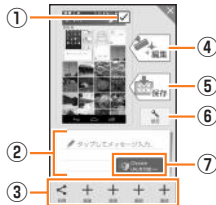
- お買い上げ時は画面をスライドさせてスクリーンショットを撮影できません。アプリ一覧→[スクリーンショットシェア]と操作するか、ステータスバーを下にスライド→[スクリーンショットシェア]と操作して、スクリーンショットシェアを起動させると撮影できるようになります。
- スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置は、スクリーンショットシェア画面→[設定]→[スライド位置設定]で設定できます。

画像を編集する

編集ボタンをタップすると、スクリーンショットで撮った画像を編集できます。トリミング・画像の回転・画像にスタンプを押すことができます。

画像やテキストを他のアプリへ送る

送信先アプリ選択ボタンに画像を共有するアプリ(SNSやEメール)を登録することができます。登録したアプリのアイコンをタップすることで、スクリーンショット画像とテキストエリアに入力したコメントやURLをSNSに投稿したり、登録先のメールアドレスにEメールで送信できます。



《スクリーンショットシェア画面》

- ① **画像添付切替ボタン**
撮影したスクリーンショット画像を添付するかどうかを切り替えます。
- ② **テキストエリア**
ここに入力した文字を画像と一緒に他のアプリに送ることができます。
- ③ **送信先アプリ選択ボタン**
画像やテキストをSNSアプリやメールアプリに送ることができます。登録したアプリを削除する場合は、アイコンをロングタッチし、「エリア内までアイコンを選び離すと削除されます」と表示されたエリアにドラッグします。
- ④ **編集ボタン**
画像を編集できます。
- ⑤ **保存ボタン**
画像を保存できます。
- ⑥ **設定ボタン**
機能の有効/無効、スライドの位置設定など次の設定項目についての変更ができます。
- ⑦ **情報付加ボタン**
マップの位置や、WebページのURLなどの情報をテキストエリアに追加できます。

■ 設定項目

項目	概要
通知設定	スクリーンショットシェアのアイコンをステータスバーに表示するかどうかを設定します。
スクリーンショット設定	スクリーンショットシェアを利用するかどうかを設定します。
スライド位置設定	スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置の設定をします。
クリップボード設定	共有時にテキストエリアに入力したテキストをコピーするかどうかを設定します。Facebookなど、テキストを受け取れないアプリの場合は、「保存する」にして、アプリが起動した後でテキストを貼り付けてください。
バイブ設定	スクリーンショットを撮影するときにバイブレータを振動させるかどうかを設定します。
ヘルプ	スクリーンショットシェアのヘルプを表示します。



memo

- ◎ 「テレビ」アプリなど、画像の保存が禁止されているアプリではスクリーンショットは撮影できません。
- ◎ 撮影したスクリーンショットのステータスバーや画面下部のナビゲーションバーを削除したい場合は、[編集]→[トリミング]と操作して削除します。撮影後、他の編集操作をするまでの間、ステータスバーや画面下部のナビゲーションバーを除いた領域が初期値になっています。

auお客さまサポートアプリを利用する

データ通信量や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

- ・ 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に[MENU]→[本アプリについて]→[ヘルプ]と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧→[auお客さまサポート]

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

- ・ 初めて起動したときは設定画面が表示され、ID設定・自動更新設定およびお知らせの受信設定が行えます。
- ・ 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 今月のデータ通信量	利用したデータ通信量が確認できます。 ・ トップ画面では今月のデータ通信量を表示しています。
ご請求金額	ご請求金額が確認できます。 ・ トップ画面では今月のご請求金額を表示しています。
ご利用料金	月々の利用状況などを簡単に確認できます。
au WALLET・ポイント	au WALLETの残高やポイントを確認できます。
ご契約内容の確認	au電話の契約内容を確認できます。
各種変更・お手続き	サービス申し込みや契約内容の変更ができます。
困った時・わからない時	操作ガイドや迷惑メールフィルターの設定方法・紛失や故障時のお手続き方法などが確認できます。

memo

◎「MENU」をタップすると、各画面へのメニュー一覧が表示されます。

auスマートサポートを利用する

auスマートサポートでできること

24時間365日体制*のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「Lookout for au」「リモートサポート」の2種類のアプリを利用して、遠隔操作によるセキュリティ機能とサポートサービスを利用することができます。

その他、「スマホお試しレンタル」など初心者の方でも安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

※ 23時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

memo

◎「Lookout for au」「リモートサポート」のご利用にあたっては、「Lookout for auを利用する」(▶P.82)、「リモートサポートを利用する」(▶P.82)および「位置検索をご利用いただくにあたって」(▶P.82)をあわせてご参照ください。

Lookout for auを利用する

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。お客さまセンターから遠隔操作で本製品の位置検索、ロックを行う場合は、auスマートサポートまたはauスマートパスへの加入が必要です。

memo

- ◎ Lookoutサービス設定が完了していない場合は、アプリ起動時にLookout for auの案内画面が表示されます。内容をご確認の上、画面に従って操作してください。
- ◎ ご利用の際には「端末管理アプリ」で「Lookout」を有効にしてください。無効の場合は、ロックが正常に動作しないことがあります。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって、当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上の注意

- ・ サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- ・ ご契約いただいているau Nano IC Card 04の情報と、利用開始設定時のau Nano IC Card 04の情報が一貫している端末の検索ができます。

Lookout for auを利用する

紛失端末の位置検索機能を設定していない場合、次の操作で設定します。

1 アプリ一覧→[Lookout for au]

2 メールアドレスとパスワードを入力→[保護を開始]

リモートサポートを利用する

ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパスへの加入が必要です。

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

リモートサポートを利用する

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパス会員は局番なしの157番 (au電話から/通話料無料)、☎0077-7-111 (一般電話から/通話料無料)までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。
※ リモートサポートをご希望のスマートフォン以外からお電話ください。

2 アプリ一覧→[リモートサポート]

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

安心アクセス for Android™を利用する

お子様にスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。

お子様の年代に合わせて、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリの制限/許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。

また、保護者が指定した相手先へのみ通話を制限したり、夜間などスマートフォンのご利用を制限することもできます。

・ご利用にはau IDが必要です。au IDについては「au IDを設定する」(▶P.22)をご参照ください。

1 アプリ一覧→[安心アクセス]

初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 [au IDでログイン]→[ログイン]

画面の指示に従って操作してください。

※ ご利用になるお子様のau IDでログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	<ul style="list-style-type: none">• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。• 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。• EMA*が認定するサイト/アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	<ul style="list-style-type: none">• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。• 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。• EMA*が認定するサイト/アプリは利用可能です。
高校生向け	<ul style="list-style-type: none">• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。• 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。• EMA*が認定するサイト/アプリは利用可能です。

※ 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]→[OK]

利用規約を必ずご確認ください。

「デバイス管理機能」を有効にする画面が表示されます。

6 [有効にする]

ウェブページが表示されます

管理者情報を登録する

1 アプリ一覧→[安心アクセス]

2 []→[管理者登録]

・画面上の「ここをタップして、安心アクセス for Android™の管理者IDを登録してください。」の表示をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]



memo

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

※ 以下の手順でお子様のスマートフォンから利用することも可能です。

1 アプリ一覧→[安心アクセス]

2 []→[設定]→[管理者ページ]

3 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]

4 管理者情報	管理者ID(メールアドレス)やパスワードの変更ができます。
端末情報	管理している端末の名前を設定できます。
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可/制限などカスタマイズが可能です。



memo

◎ 詳しくはauホームページをご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/>

スマートフォン自動診断を利用する

■スマートフォン自動診断でできること

- ・スマートフォンの設定や状態を自動的に診断し、問題が見つかった場合は、自動的に修復したり、修復方法を確認することができます。
- ・スマートフォンの設定や状態以外にも、契約状況に問題がある場合は、状況を確認することができます。
- ・コンディションレコーダーの機能により、スマートフォンを好調だった時点に戻すことができます。
- ・スマートフォンの状態によっては、インストール済みのアプリをバージョンアップすることにより修復できる場合もあります。
- ・診断コードを使用した修理相談ができます。

1 アプリ一覧→[auお客さまサポート]

2 [MENU]→[おすすめアプリ・サービス]→[故障にそなえる]

3 [スマートフォン自動診断アプリ]→[アプリを利用する]

- ・トップメニュー画面が表示されます。
- ・利用規約が表示された場合は、内容を確認の上、「同意する」をタップしてください。
- ・ご利用の準備画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

3 自動診断	「問題を検出する」をタップすると診断を開始します。診断が終了したら「次へ」をタップして診断結果および修復結果と、修復方法を確認してください。
アプリの更新	インストール済みのアプリのバージョンアップによる修復を行います。アプリの種類（「Google Play」または「auマーケット」）をタップしてください。
コンディションレコーダー	自動診断で解決しなかった場合、グラフによりスマートフォンの調子を確認し、指定の日時の状態に戻すことができます。
電池もち診断	電池が長持ちするためのアドバイスを確認できます。
修理相談	画面に表示された診断コードを使用して、安心ケータイサポートセンターに修理相談をすることができます。

memo

◎ トップメニュー画面下部の「サービス概要」をタップすると、スマートフォン自動診断アプリの操作についての詳細を確認できます。

自動診断

◎ 診断終了後に「次のご案内（よくある質問）」が表示されます。そちらもご確認ください。

コンディションレコーダー

◎ 指定した日時の状態に戻すと、その間に行った一切の変更（アプリのインストール、アンインストール含む）が元に戻ります。

◎ 本アプリの利用を開始してから、スマートフォンの状態を記録し始めます。本アプリを利用する前の状態には情報がないため、戻せません。

◎ 過去の状態に戻して何らかの不都合が生じた場合は、再度今の状態に戻すことも可能です（ただし、一部データを除く）。詳細は「ヘルプ」タブをタップしてください。

au Wi-Fi接続ツールを利用する

ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi[®]親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。

- ・利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧→[au Wi-Fi接続ツール]

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。初回起動時には、許可画面などが表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作し、設定してください。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができるアプリです。

1 アプリ一覧→[au災害対策]

au災害対策メニュー画面が表示されます。初めて起動したときは、利用に関する同意画面や初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。

詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー画面→[災害用伝言板]

画面の指示に従って、登録/確認を行ってください。

memo

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。Eメールアドレスの設定について、詳しくは「Eメールを設定する」(▶P.51)をご参照ください。

◎ 無線LAN(Wi-Fi[®])接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。

◎ 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了承の上ご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一齐にお知らせするサービスです。

お買い上げ時は、緊急速報メール(緊急地震速報および災害・避難情報)の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー画面→[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。

確認したいメールを選択すると、メールの詳細を確認できます。

2	削除 設定	受信したメールを削除します。 緊急地震速報	受信設定: 緊急地震速報/災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。 音量: 受信音の音量を設定します。 マナー時の鳴動: マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。 パイプ: 受信時にパイプレータが動作するかどうかを設定します。 受信音/パイプ確認: 緊急地震速報/災害・避難情報および津波警報の受信音やパイプレータの動作を確認します。
		災害・避難情報	

memo

- ◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音とパイプレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
※ 緊急地震速報の場合は、警報音と音声(「地震です」)、パイプレータの振動で通知します。
- ◎ 緊急速報メールを通话中に受信した場合は、警報音が鳴りません。
- ◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
- ◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒~数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
- ◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- ◎ 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
- ◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
- ◎ 日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
- ◎ 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
- ◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- ◎ 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
<http://www.jma.go.jp/>
- ◎ 電源を切っているときは、緊急速報メールを受信できません。
- ◎ サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- ◎ 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
- ◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは、配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
- ◎ お客様の現在地とは異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

■ 音声を送る(送信)

1 au災害対策メニュー画面→[災害用音声お届けサービス]

2 [声をお届け]

3 「①お届け先を選択」の入力欄をタップして宛先の入力方法を選択→電話番号を入力、またはアドレス帳から選択

4 [声を録音]→[開始]

5 音声を録音

6 [完了]→[送信]/[再生]/[保存]

- ・ 録音した音声を確認する場合は、「再生」をタップします。
- ・ 録音した音声を送信せずに保存する場合は、「保存」をタップします。

■ 音声を受け取る(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することで、聞くことができます。

- ・ 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを起動していないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- ・ SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

- ◎ Wi-Fi®でのご利用には、4G(LTE/WiMAX 2+)ネットワークにて初期設定が必要になります。
- ◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
- ◎ au携帯電話間、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとりが可能です。
- ◎ メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
- ◎ 本体メモリに空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
- ◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。

災害関連情報を利用する

自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害関連情報ポータルなどを確認できます。

1 au災害対策メニュー画面→[災害関連情報]

2 画面の指示に従って操作

auスマートパスを利用する

最新ニュースや天気、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートパス」を最大限活用するためのポータルアプリです。アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフを楽しめます。

- ・ 利用方法、最新のお知らせについては、「auスマートパス」アプリをご参照ください。

memo

- ◎ ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- ◎ 一部アプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面→[auスマートパス]

- auスマートパスTOPページが表示されます。
- ・ auスマートパスアプリのご利用にはau IDログインが必要です。
 - ・ au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDについて詳しくは本製品同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
 - ・ 初回起動時は、アプリ利用方法についてのチュートリアルが表示されます。
 - ・ 画面の指示に従って、天気、運行情報・朝刊設定を行うと、アプリホーム画面で各種情報を受け取ることができます。
 - ・ 設定内容はサイドメニュー*の「設定」から変更ができます。auスマートパスの最新情報はアプリホームにてお知らせしています。auスマートパスの各コンテンツはサイドメニューからご利用頂けます。
- * サイドメニューを表示するには画面左下の「☰」をタップしてください。

2 [☰]

auスマートパスの各コンテンツやニュース、天気、占いなどの主要サービスの一覧が表示されます。

3 auスマートパスメニュー	アプリや会員特典、本製品を安心してご利用いただくためのアプリやサービスなどをご案内します。
au WALLETメニュー	au WALLETのお申込みやau WALLETのさまざまな情報をご案内します。
auアプリ	auアプリ「ビデオパス」「うたパス」「ブックパス」「ディズニーパス」などをご案内します。
auサービス	ニュースや天気、占い、乗換・地図、ライフスタイルのauサービス・auアプリをご案内します。
おすすめサービス	おすすめのサービスをご案内します。
その他	au Online Shopやお知らせ、ヘルプ・その他をご案内します。

memo

- ◎ サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
- ◎ アプリなどにより、お客様が操作していない場合でも、自動的にパケット通信が行われる場合があります。
- ◎ コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
- ◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

ファイル管理

内部ストレージ.....	88
microSDメモリカードを利用する.....	88
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す.....	88
microUSBケーブルでパソコンと接続する.....	89
メモリの使用量を確認する.....	89
ファイルコマンドーを利用する.....	90

内部ストレージ

本製品にはmicroSDメモリカードとは別の内部ストレージにデータを保存できます。

主なデータの保存先は、本製品の内部ストレージです。ただし、アプリによっては、データの保存先としてmicroSDメモリカード/内部ストレージのどちらかを選択することができる場合もあります。

「ファイルコマンダー」(▶P.90)を利用して、内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存されたデータを確認したり、移動することができます。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。

memo

- ◎他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」(▶P.89)をご参照ください。
- ◎著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。
- ◎microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなる場合があります。

■取扱上のご注意

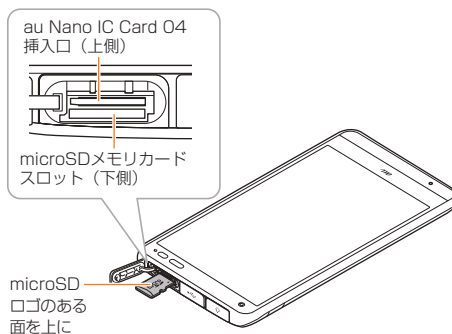
- ・microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・microSDメモリカードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- ・microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ・本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける/取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

- 1 本製品のカード挿入口カバーを開ける
- 2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



- 3 カード挿入口カバーを閉じる

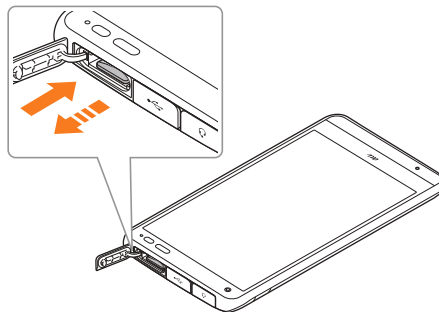
memo

◎microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

- 1 アプリ一覧→[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]→[OK]
- 2 本製品のカード挿入口カバーを開ける
- 3 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



- 4 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く
まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。
- 5 カード挿入口カバーを閉じる

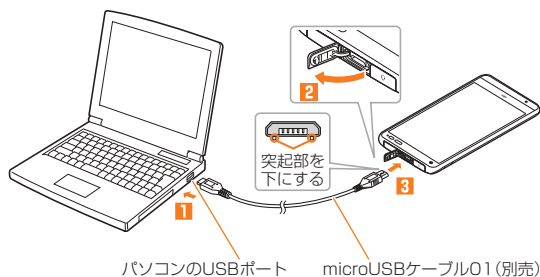
memo

- ◎ microSDメモ리카ードの端子部には触れないでください。
- ◎ microSDメモ리카ードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモ리카ードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ◎ microSDメモ리카ードを取り外す場合は、データが壊れる(消去される)ことを防ぐため、必ずマウント解除動作を行ってください。

microUSBケーブルでパソコンと接続する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続すると、本製品の内部ストレージ、microSDメモ리카ード内のデータを読み書きできます。また、音楽/動画データの転送も可能です。

- 1 **パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01(別売)をパソコンのUSBポートに接続**
- 2 **本製品の外部接続端子カバーを開ける**
- 3 **本製品が完全に起動している状態で、microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む**



Windows Media Playerでデータを転送する

パソコンの音楽データ、動画データを本体メモリやmicroSDメモ리카ードに保存します。

あらかじめパソコンと本製品を接続してください。

- 1 **パソコンのWindows Media Playerを起動し、同期リストを表示**
 - ・ Windows Media Player 11/12をご使用ください。
 - ・ Windows Media Playerで転送先を設定してください。本体メモリに転送する場合は、「内部ストレージ」に設定してください。
- 2 **Windows Media Playerの同期リストに保存するデータを登録し、同期を実行**

登録したデータが転送されます。

 - ・ 転送が終了すると、Windows Media Player 11/12に本製品を切断できる旨が表示されます。
- 3 **microUSBケーブル01(別売)を本製品から取り外す**

microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

memo

- ◎ 著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
- ◎ データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。
- ◎ 著作権保護されていないデータでも、本製品以外で保存したデータは再生できない場合があります。
- ◎ 本製品以外でファイルを保存したmicroSDメモ리카ードを使用すると、パソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモ리카ードを本製品でフォーマットすることをおすすめします。なお、microSDメモ리카ードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

転送ファイルについて

- ◎ 拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。
- ◎ 著作権保護されたデータのライセンス情報は、microSDメモ리카ードに保存されます。ライセンス情報データの削除、オールリセットなどを行うと、転送したデータが再生できなくなる場合があります。

■ 本体メモリやmicroSDメモ리카ード内のデータをパソコンで操作する

・ あらかじめパソコンと本製品を接続してください。

- 1 **パソコンから「機種名」を開く**

本体メモリを操作する場合は、「内部ストレージ」を開いてください。
- 2 **パソコンを操作してデータを転送**
- 3 **転送終了後、microUSBケーブル01(別売)を本製品から取り外す**

microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

本体メモリや内部ストレージ、microSDメモ리카ードの合計容量や空き容量を確認できます。

- 1 **アプリ一覧→[設定]→[ストレージ]**
- 2

内部ストレージ	合計容量	内部ストレージの合計容量/空き容量が確認できます。
	空き容量	
SDカード	合計容量	microSDメモ리카ードの合計容量/空き容量が確認できます。*
	空き容量	

* メモリの一部をmicroSDメモ리카ード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモ리카ードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモ리카ードを初期化する

microSDメモ리카ードを初期化すると、microSDメモ리카ードに保存されているデータ(アプリを含む)はすべて削除されます。

- 1 **アプリ一覧→[設定]→[ストレージ]**
- 2 **[SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]→[すべて消去]**

memo

- ◎ 初期化は充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。

ファイルコマンダーを利用する

「ファイルコマンダー」アプリを利用してデータのコピー／移動などができます。

1 アプリ一覧→[ファイルコマンダー]

ファイルコマンダーのホーム画面が表示されます。

- ・初めて利用するときは、「利用規約」の同意画面で内容を確認し、「同意する」をタップしてください。
- ・ファイルコマンダーのホーム画面が表示されない場合は、画面左上の [≡]→[ホーム]と操作します。

2 [写真]／[ミュージック]／[ビデオ]／[Documents]／[ダウンロード]／[Favorites]／[ごみ箱]／[内部ストレージ]→フォルダを選択

3 コピー／移動するファイルをロングタッチ→[切り取り]／[コピー]

4 コピー／移動先を表示→[貼り付け]

データ通信

赤外線通信	92
赤外線の利用について	92
赤外線でデータを受信する	92
赤外線でデータを送信する	92
Bluetooth[®]機能	93
Bluetooth [®] 機能をオンにする	93
Bluetooth [®] 機器を登録する	93
Bluetooth [®] 機能でデータを送受信する	94
無線LAN(Wi-Fi[®])機能	94
Wi-Fi [®] 機能をオンにする	94
Wi-Fi [®] ネットワークに接続する	95
Wi-Fi [®] 機能を切断する	95
Wi-Fi安定制御機能を設定する	95
Wi-Fi [®] 機能のスリープ設定をする	95
Wi-Fi [®] 機能の詳細設定をする	95
Wi-Fi Direct [®] を設定する	95
テザリング機能を利用する	96
テザリングについて	96
USBテザリング機能を利用する	96
Wi-Fi [®] テザリング機能を利用する	96
Bluetooth [®] テザリング機能を利用する	96

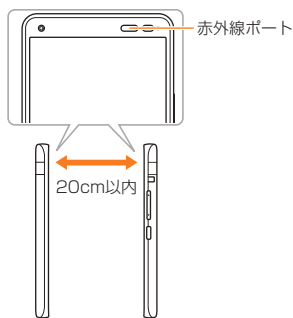
赤外線通信

本製品と赤外線通信機能を持つほかの機器との間で、電話帳、プロフィール、各種データを送受信できます。

赤外線の利用について

赤外線通信の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が完了するまで、本製品の赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。

赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信待機状態になっていることを確認してから送信してください。



memo

- ◎ 本製品の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
- ◎ 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- ◎ 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
- ◎ 送受信時に認証コードの入力が必要になる場合があります。認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
- ◎ 赤外線通信中に音声着信、アラームなど、他のアプリが起動した場合、赤外線通信は終了します。
- ◎ 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
- ◎ 相手側の機器やデータの種類、容量によっては再生や登録ができない場合があります。

赤外線データを受信する

1 アプリ一覧→[赤外線]

2 [赤外線受信]

認証コードの入力画面が表示された場合は、認証コード(4桁)を入力→[OK]と操作してください。

3 受信完了→[OK]

受信したデータは、赤外線画面で「受信データ」をタップすると確認できます。

■ 電話帳やプロフィールのvCardファイルを受信した場合

3 受信完了→[OK]→[OK]

「登録先」メニューが表示された場合は、登録するアカウントを選択してください。

memo

- ◎ データの種類、容量によっては保存できない場合があります。

赤外線データを送信する

1 アプリ一覧→[赤外線]

2 プロフィール送信	プロフィールをvCardファイルにして送信します。
連絡先送信	連絡先一覧画面が表示されます。連絡先をvCardファイルにして送信します。
ファイル送信	ギャラリー、もしくはファイルコマンドで各種ファイルを選択して送信します。

■ 連絡先送信/ファイル送信を選択した場合

3 送信するデータを選択→[OK]

認証コードの入力画面が表示された場合は、認証コード(4桁)を入力→[OK]と操作してください。

- ・ ファイルコマンドからのデータ送信の場合は、「OK」をタップする操作は不要です。

各機能のメニューから赤外線送信する

電話帳の連絡先やプロフィール(vCardファイル)、各種データを1件送信することができます。

例: 連絡先を送信する場合

1 送信する連絡先の詳細表示画面→[≡]→[共有]

2 [赤外線]

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®機器のペアリング(登録)を行ってください。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®機能使用時の注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器の電源を切ってください。


Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。

他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

- 他のBluetooth®機器からの接続を受けるには、本製品をあらかじめ他の機器から検出可能に設定しておく必要があります(▶P.93)。

1 アプリ一覧→[設定]→[Bluetooth]→[ON]にする

Bluetooth®機能がオンになり、ステータスバーに「」(接続待機中のアイコン)が表示されます。

memo

- ◎ Bluetooth®機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- ◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- ◎ Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また、航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

Bluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング(登録)を行います。

- 機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 アプリ一覧→[設定]→[Bluetooth]→[ON]にする


Bluetooth設定画面が表示されます。
検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

2 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

3 画面の指示に従って操作

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(4~16桁の数字)を入力します。

memo

- ◎ Bluetooth®機器との接続中には、他のBluetooth®機器を登録できない場合があります。
- ◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
- ◎ 接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、**[]**→[更新]と操作して、機器を再検索します。

パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するとき、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4~16桁の数字を入力できます。

memo

- ◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎ 接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 Bluetooth設定画面を表示

- Bluetooth設定画面を表示中は、他のBluetooth®機器から検出可能になります。

他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求された場合は、必要に応じて「ペア設定する」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続を解除するBluetooth®デバイス名をタップ→[OK]

- ペアリングを解除する場合は、**[]**→[切断]と操作します。

Bluetooth[®]機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth[®]機能をオンにしてください。

Bluetooth[®]機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth[®]機器に送信できます。

・送信は各アプリの「」や「」などのメニューから行ってください。

Bluetooth[®]機能でデータを受信する


1 他のBluetooth[®]機器からデータ送信

ステータスバーに「」が表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 [Bluetooth共有:ファイル着信]

4 [承諾]

ステータスバーに「」が表示され、データの受信が開始されます。通知パネルのお知らせで受信状態を確認できます。

無線LAN(Wi-Fi[®])機能

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi[®])環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN(Wi-Fi[®])親機(Wi-Fi[®]ネットワーク)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi[®]ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi[®])機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi[®]機能をオンにする

Wi-Fi[®]機能を使用するには、Wi-Fi[®]機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi[®]ネットワークを検索して接続します。

1 アプリ一覧→[設定]→[Wi-Fi]→[ON]にする

Wi-Fi[®]機能が起動し、利用可能なWi-Fi[®]ネットワークがスキャンされます。

Wi-Fi[®]機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo


- ◎ Wi-Fi[®]機能がオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fi[®]ネットワーク接続中は、Wi-Fi[®]機能が優先されます。
- ◎ Wi-Fi[®]ネットワークが切断されると、自動的にパケット通信に切り替わります。
- ◎ Wi-Fi[®]機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi[®]ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。Wi-Fi[®]ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善される場合があります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 アプリ一覧→[設定]→[Wi-Fi]→[ON]にする

Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]

- ・セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)*を入力し、「接続」をタップします。
*パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ・接続が完了すると、ステータスバーに「」が表示されます。

memo

- ◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

Wi-Fi®ネットワークを簡単に設定する

各種接続方式/接続方法に対応した無線LAN(Wi-Fi®)のアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

- ・あらかじめ無線LAN(Wi-Fi®)機能をオンにしてください。

1 Wi-Fi設定画面→→[Wi-Fiかんたん接続]

2 接続方式/接続方法に従って項目を選択

3 画面の指示に従って操作

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi設定画面→→[ネットワークを追加]

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティを選択

必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

memo

- ◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi®機能を切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 [削除]

memo

- ◎ Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークを削除]と操作しても、接続を切断できます。
- ◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi安定制御機能を設定する




Wi-Fi®の電波が安定しているときにWi-Fi®に接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→→[詳細設定]→[Wi-Fi安定制御機能]

2 「ON」にする

- ・再度タップすると、設定をオフに切り替えられます。

memo

- ◎ Wi-Fi安定制御機能をオンにした状態でWi-Fi®が不安定になったとき、Wi-Fi®のみに通信を制限する一部のアプリにおいても、アプリの動作仕様により、一時的に4G(LTE/WiMAX 2+)データ通信を行う場合があります。
- ◎ Wi-Fi安定制御機能がオンの場合、とともにが表示されるようになります。4G(LTE/WiMAX 2+)でのデータ通信の有無は、の矢印の有無でご確認いただけます。

Wi-Fi®機能のスリープ設定をする

Wi-Fi®機能のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi®機能がスリープするように設定できます。

また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

1 Wi-Fi設定画面→→[詳細設定]→[Wi-Fiのスリープ設定]

2 スリープ設定を選択

Wi-Fi®機能の詳細設定をする

1 Wi-Fi設定画面→→[詳細設定]

2 必要な項目を設定

ネットワークの通知	オープンネットワーク(パスワードなどが設定されていないWi-Fi®ネットワーク)が検出されたら通知するように設定します。
スキャンを常に実行する	Wi-Fi®機能がオフの場合でも、Googleの位置情報サービスや他のアプリからネットワークのスキャンができるように設定します。
Wi-Fiのスリープ設定	▶P.95「Wi-Fi®機能のスリープ設定をする」
証明書のインストール	Wi-Fi®認証用の証明書をインストールします。
Wi-Fi安定制御機能	電波が安定しているときのみWi-Fi®機能を使用するように設定します。
Wi-Fi Direct	▶P.95「Wi-Fi Direct®を設定する」
WPSプッシュボタン	ボタン方式のWi-Fi Protected Setup™対応アクセスポイントを登録するときに使用します。
WPS PIN入力	PIN入力方式のWi-Fi Protected Setup™対応アクセスポイントを登録するときに使用します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	IPアドレスが表示されます。

Wi-Fi Direct®を設定する

Wi-Fi Direct®対応デバイス同士を接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→→[詳細設定]→[Wi-Fi Direct]

デバイス一覧画面が表示されます。

- ・接続要求を出す場合は、デバイス一覧画面から接続先を選択し、画面の指示に従って操作します。接続を切断する場合は、接続済みのデバイスをタップして切断します。
- ・「デバイスの検索」をタップすると、デバイス一覧を更新できます。
- ・「デバイス名を変更」をタップすると、デバイス側で表示される本製品の名前を変更できます。

テザリング機能を利用する

テザリングについて

テザリングとは、本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続することができる機能です。無線LAN(Wi-Fi[®])機器を最大10台まで接続したり、microUSBケーブル01(別売)でパソコンと本製品を接続したり、Bluetooth[®]機器を最大5台まで接続して、インターネットに接続することもできます。



◎テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他]→[テザリング]

2 USBテザリング	USB経由でテザリングします。あらかじめ「microUSBケーブルでパソコンと接続する」(▶P.89)を参照してパソコンと接続してください。
------------	--

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。



◎USBテザリング機能をオフにする場合は、操作 2 で「USBテザリング」を再度タップして「OFF」にするか、microUSBケーブル01(別売)を抜いてください。

Wi-Fi[®]テザリング機能を利用する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他]→[テザリング]

2 Wi-Fiテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
Wi-Fiテザリング設定	ポータブルアクセスポイントのセットアップと管理をします。必要な情報を入力します。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。



◎「Wi-Fiテザリング設定」で「セキュリティ」を「なし」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

Bluetooth[®]テザリング機能を利用する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他]→[テザリング]

2 Bluetoothテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
------------------	------------------------------------

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

機能設定

機能設定	98
設定メニューを表示する	98
au設定メニューを利用する	98
無線とネットワークの設定をする	98
通話に関する設定をする	99
画面の設定をする	100
音と通知の設定をする	100
ストレージに関する設定をする	101
電池使用量を表示する	101
位置情報の設定をする	101
スタート画面の設定をする	101
セキュリティの設定をする	102
アカウントの設定をする	102
言語と入力に関する設定をする	102
バックアップとリセット	103
日付と時刻の設定をする	103
ユーザー補助の設定をする	103
印刷に関する設定をする	104
端末情報に関する設定をする	104

機能設定

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

設定メニューを表示する

1 アプリ一覧→[設定]

すべての設定メニューが表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
au 設定メニュー	auの各サービスの設定を行います。	P.98
プロフィール	プロフィールの表示や登録を行います。	P.38
Wi-Fi	無線LAN(Wi-Fi [®])機能を設定します。	P.94
Bluetooth	Bluetooth [®] 機能を設定します。	P.93
データ使用量	データ通信量の表示やデータ通信の使用上限を設定します。	P.98
その他	機内モードやVPN、テザリングなどの通信に関する設定を行います。	P.99
ホーム切替	ホームアプリを切り替えます。	P.27
通話	通話時間の確認やお留守番サービスの設定など、通話に関する設定を行います。	P.99
ディスプレイ	フォントや壁紙、明るさ、画面の向きなど、画面表示に関する設定を行います。	P.100
音と通知	マナーモードやバイブレータ(振動)、着信音、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.100
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモ리카ードのメモリ容量の確認、microSDメモ리카ードの初期化を行います。	P.101
エコモード	エコモードを設定します。	P.80
電池	電池残量や使用量を表示します。	P.101
アプリ	ダウンロードしたアプリを確認したり、実行中のアプリに関する設定を行います。	P.76
位置情報	無線LAN(Wi-Fi [®])機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。	P.101
スタート画面	スタート画面に関する設定を行います。	P.101
セキュリティ	SIMカードロックの設定などセキュリティに関する設定を行います。	P.102
アカウント	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.102
言語と入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	P.102
バックアップとリセット	データのバックアップや復元の設定をしたり、データの初期化を行います。	P.103
日付と時刻	日付・時刻の設定や、時間表示の設定を行います。	P.103
ユーザー補助	通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスの設定を行います。	P.103
印刷	印刷に関する設定を行います。	P.104
端末情報	電話番号や電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。	P.104

au設定メニューを利用する

au IDやシンクコールなどauの各種サービスを設定したり、データ移行などのサービスを利用したりできます。

1 設定メニュー→[au設定メニュー]

2 au ID	▶P.22「au IDを設定する」
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。
シンクコール	▶P.38「シンクコールを設定する」
ステータスバーの連絡先表示	通知領域に表示する連絡先の設定が行えます。
au位置情報サービス	auが提供する位置情報サービスです。対応アプリが、少ない電力消費で現地周辺の情報表示・配信をするためなどに使います。
au Wi-Fi接続ツール	▶P.84「au Wi-Fi接続ツールを利用する」
データを移行する	スマートフォンで撮影した写真や連絡先などさまざまなデータをauスマートパスに預けたり、microSDメモ리카ードへのバックアップやスマートフォンへの復元ができます。また機種変更時のデータ移行にもご利用できます。詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
海外で使う時にGLOBAL PASSPORT	海外でご利用の際、渡航先に応じて、適用される利用料金、ご利用設定方法、電話のかけかたなどをチェックできます。
スマホとタブレットを連携する	スマホとタブレットを連携して、便利にお使いになれます。スマホへの電話着信やEメール(@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、スマホをタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。
スマホ・タブレットの調子が悪い時	▶P.84「スマートフォン自動診断を利用する」
au災害対策・緊急速報メール	▶P.85「緊急速報メールを利用する」
データお預かり設定	「データを移行する」(上記)についての設定が行えます。
個人情報を守る	アプリが連絡先や位置情報などにアクセスした場合の許可・拒否について設定します。
歩きスマホ注意アプリ	歩きスマホは大変危険です。歩きスマホを検知してお知らせします。
端末情報送信設定	さらなる通信品質向上のため、音声通話やデータ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所(GPS位置情報)を検知・収集し、auに自動送信する機能です。

無線とネットワークの設定をする

Wi-Fi[®]やBluetooth[®]接続、ホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー

2 Wi-Fi	▶P.94「無線LAN(Wi-Fi [®])機能」
Bluetooth	▶P.93「Bluetooth [®] 機能」
データ使用量	モバイルデータを使用するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・[モ] → [バックグラウンドデータを制限] / [ネットワーク制限] / [モバイルネットワーク] と操作して、モバイルデータの詳細な設定を行うことができます。 ・[■] → [オート通信制御] → [7日間以上未使用のアプリのバックグラウンド通信を自動で制限します。] を選択 → [OK] と操作すると、7日間以上未使用のアプリについて、モバイルネットワークのバックグラウンドでの動作を自動で制限します。 ・[■] → [Wi-Fiを表示にする] と操作すると、Wi-Fi使用のタブが表示され、データ使用量を確認できます。

その他	機内モード	▶P.99「機内モードを設定する」
	デフォルトのSMSアプリ	電話番号などから起動するSMSのアプリを設定します。
	NFC/おサイフケータイ設定	▶P.73「おサイフケータイ®を設定する」
	テザリング	▶P.96「テザリング機能を利用する」
	VPN	▶P.99「VPNを設定する」
	モバイルネットワーク	モバイルネットワークの詳細な設定を行うことができます。 <ul style="list-style-type: none"> データローミングと通信事業者の設定については、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.113)をご参照ください。 アクセスポイント名の設定については、「パケット通信を利用する」(▶P.60)をご参照ください。

memo

- ◎「モバイルデータ」をオフにするとデータ通信が無効になり、4G(LTE/WiMAX 2+)通信でのパケット通信ができなくなります。
- ◎「オート通信制御」の「未使用アプリ」の「制限中」の[]をタップすると、バックグラウンドでの動作の制限を解除できます。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

1 設定メニュー→[その他]

2 「機内モード」を「ON」にする

機内モードが設定されると、ステータスバーに[]が表示されます。

memo

- ◎ 機内モードがオンの場合でも無線LAN(Wi-Fi®) / Bluetooth®機能をオンにすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎ 機内モードをオンに設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的にオフに設定されます。
- ◎ 機内モードをオンに設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能による通信などもオフにします。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク(VPN:Virtual Private Network)は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

- ・本製品は以下の種類のVPNに対応しています。

- PPTP
- L2TP/IPSec PSK
- L2TP/IPSec RSA
- IPSec Xauth PSK
- IPSec Xauth RSA
- IPSec Hybrid RSA

VPNを追加する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面が表示されます。

- ・初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。項目の内容については、「スタート画面の設定をする」(▶P.101)をご参照ください。

2 [+]

3 VPN設定の各項目を設定→[保存]

VPN画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

memo

- ◎ 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNをロングタッチ→[プロフィールを編集]→必要に応じてVPNの設定を変更→[保存]と操作します。
- 削除するには、削除するVPNをロングタッチ→[プロフィールを削除]→[OK]と操作します。

VPNに接続する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに[]が表示されます。

VPNを切断する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面が表示されます。

2 接続中のVPNをタップ→[切断]

通話に関する設定をする

通話時間の確認やお留守番サービスの設定など、通話に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[通話]

通話設定画面が表示されます。

2

通話時間	通話時間	国内での前回/累計の通話時間を表示します。
	通話時間(海外)	海外での前回/累計の通話時間を表示します。
着信相手非表示	着信時に相手の名前を表示しないようにするかどうかを設定します。	
伝言メモ	▶P.38「伝言メモを利用する」	
通話音声メモ	通話音声メモを選択して再生します。 <ul style="list-style-type: none"> ・通話音声メモリスト画面で、「[]」をタップしたり、通話音声メモをロングタッチしたりすると、通話音声メモの保護や削除などの操作が行えます。 	
着信拒否	▶P.100「着信拒否を設定する」	
通話サービス設定	お留守番サービスや着信転送サービスなどのネットワークサービスを設定します。	
SMS応答	SMS応答(▶P.37)のメッセージを編集します。	
シンクコール設定	▶P.38「シンクコールを設定する」	
auお客さまサポート	auお客さまサポートのウェブサイトに接続したり、電話によるお問い合わせができます。	

memo

通話時間について

- ◎ 表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。
- ◎ 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

伝言メモ/通話音声メモについて

- ◎ 録音できるのは、1件あたり約60秒間で、20件までです。20件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモ/通話音声メモが、古いものから順に削除されます。
- ◎ 録音されている伝言メモ/通話音声メモがすべて未再生または保護されている場合、伝言メモでの応答や通話音声メモの録音はできません。

着信拒否を設定する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 通話設定画面→[着信拒否]

2	電話番号指定	リストされた着信を拒否	特定の電話番号からの着信を拒否します。
	電話番号指定リスト		特定の電話番号を指定して、その電話番号からの着信を拒否します。 電話帳／履歴を引用して登録する場合 1. [＋]→[📞]／[📞] 2. 連絡先／履歴を選択→[登録] 電話番号を入力して登録する場合 1. [＋] 2. 電話番号を入力→[登録]
	非通知		電話番号を通知しない着信を拒否します。
	公衆電話		公衆電話からの着信を拒否します。
	通知不可能		電話番号を通知できない着信を拒否します。
	電話帳登録外		電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
	海外ローミング中全拒否		国際ローミング中の全着信を拒否します。
	着信履歴を保存する		拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。

画面の設定をする

画面の明るさの設定や文字フォントの切り替えなど、表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[ディスプレイ]

ディスプレイ設定メニューが表示されます。

2	明るさのレベル	画面の明るさを設定します。 ・「明るさを自動調整」を選択すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。
	壁紙	ホーム画面の壁紙を設定します。
	スリープ	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
	スクリーンセーバー	▶P.100「スクリーンセーバーを設定する」
	フォント切替	画面に表示される文字フォントを設定します。 ・起動中のアプリが終了する場合があります。
	フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。
	端末が回転したとき	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	Miracast	Miracast対応機器で本製品の画面を表示します。
	電池残量のパーセント表示	ステータスバーに電池残量をパーセント表示するかどうかを設定します。

スクリーンセーバーを設定する

1 ディスプレイ設定メニュー→[スクリーンセーバー]→「ON」にする

2 スクリーンセーバーの種類を選択

[📱]→[今すぐ開始]と操作すると、選択したスクリーンセーバーが起動します。

音と通知の設定をする

マナーモードの設定や着信音など、音やバイブレータに関する設定を行います。また、着信ランプなど、通知の動作に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[音と通知]

音と通知設定メニューが表示されます。

2	メディアの音量	▶P.100「各種音量を調節する」
	アラームの音量	
	着信の音量	
	通知の音量	
	マナーモード	▶P.100「マナーモードを設定する」
	マナーモード種別	
	着信時パイブ	着信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。
	割り込み	通話の着信時と通知の受信時の割り込みや、優先的な割り込みなどの設定をします。
	着信音	着信音に設定するデータを選択して登録します。
	パイブパターン	マナーモード時などのバイブレータのパターンを選択します。
	デフォルトの通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
	その他の音	タッチ操作音や充電開始音などの設定をします。
	着信LED	電話着信時の着信ランプの点滅色を設定します。
	お知らせLED	新着通知受信時に通知を確認するまで着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。
	端末がロックされているとき	スタート画面に通知を表示するかどうかを設定します。
	アプリの通知	通知動作をアプリごとに管理します。
	通知へのアクセス	通知情報にアクセスできるアプリごとに、アプリが通知情報にアクセスすることを許可するかどうかを設定します。

各種音量を調節する

1 音と通知設定メニュー→スライダを左右にドラッグして、音量を調節

音量を上げる／下げるにはスライダを右／左にドラッグします。



◎ マナーモード設定時に、「着信の音量」の音量を上げるとマナーモードは解除されます。「着信の音量」の音量を0にすると、マナーモードが設定されます。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 音と通知設定メニュー→「マナーモード」を選択→注意文を確認し[OK]

マナーモードがオンに設定されます。

・注意画面で「次回から表示しない」を選択すると、次回から表示されません。

マナーモードの種別を変更する

1 音と通知設定メニュー→[マナーモード種別]→[バイブレーション]／[ミュート]／[ドライブ]



◎ [🔇] (音量下ボタン) を押し、「着信の音量」が1段階下がります。[🔊] (音量下ボタン) を1秒以上長く押し、マナーモードのオン／オフが設定できます。

◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音、タイマー音は鳴動します。

◎ 「ドライブ」を選択した場合、着信時は運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。

◎ マナーモード設定中に消音の状態ではデータが再生された場合、機能によっては、再生中に[🔊] (音量下／上ボタン) を押し音量を調節できます。

ストレージに関する設定をする

1 設定メニュー→[ストレージ]

内部ストレージ	内部ストレージの使用量を確認します。
合計容量	内部ストレージの容量を確認します。
SDカード	microSDメモ리카ードの使用量を確認します。
合計容量	microSDメモ리카ードの容量を確認します。
SDカードをマウント	microSDメモ리카ードを認識します。
SDカードのマウント解除	microSDメモ리카ードの認識を解除して、microSDメモ리카ードを安全に取り外します。
SDカード内データを消去	▶P.89「microSDメモ리카ードを初期化する」

※表示される項目は、端末の状態によって異なります。

電池使用量を表示する

1 設定メニュー→[電池]

電池残量、充電状況や電池使用時間などが表示されます。

位置情報の設定をする

1 設定メニュー→[位置情報]→[ON]にする

2 Googleの位置情報サービス使用の確認画面で[同意しない]／[同意する]

[同意する]をタップすると、位置情報の取得モードが「高精度」になります。

モード	位置情報の取得モードを設定します。
最近の位置情報リクエスト	位置情報を取得したアプリを表示します。 ・アプリをタップするとアプリ情報を表示します。
位置情報サービス	位置情報の利用をアプリに許可するかどうかを設定したり、ロケーション履歴を管理したりします。



memo

GPS機能の使用について

- ◎電池の消費を節約する場合は、オフにしてください。
- ◎周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

スタート画面の設定をする

スタート画面でのセキュリティの種類などを設定します。

1 設定メニュー→[スタート画面]

スタート画面設定メニューが表示されます。

セキュリティの種類	なし	セキュリティを無効にし、スタート画面を非表示にします。
	スライド	セキュリティを無効にし、スライド操作で解除するスタート画面を表示します。
	パターン	スタート画面表示後、解除パターンを入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
	ロックNo.	スタート画面表示後、ロックNo.を入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
	パスワード	スタート画面表示後、パスワードを入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
アプリショートカット表示	スタート画面にショートカットアプリを表示するかどうかを設定します。	

パターンを表示	解除パターンを入力してセキュリティを解除するとき、指の軌跡を線で表示するかどうかを設定します。
自動ロック	スリープモード移行後、「セキュリティの種類」で設定したセキュリティの解除方法が必要になるまでの時間を設定します。
電源ボタンでロック	□(電源ボタン)を押してスリープモードに移行した場合に、セキュリティをかけるかどうかを設定します。
所有者情報	スタート画面に表示する所有者の情報を設定します。
スタート画面の背景	▶P.101「スタート画面の背景を設定する」
Smart Lock	信頼できる端末や場所の登録、または顔認証でセキュリティを自動的に解除する「Smart Lock」を設定します。

※表示される項目は、「セキュリティの種類」の設定により異なります。



memo

- ◎Smart Lock機能を利用する場合は、あらかじめセキュリティの種類を「パターン」／「ロックNo.」／「パスワード」に設定してください。

スタート画面のセキュリティをかける

セキュリティの種類を「なし」「スライド」以外に設定している場合、画面のバックライト点灯中に□(電源ボタン)を押す、または自動的に画面のバックライトが消灯して「自動ロック」で設定した時間が経過すると、セキュリティがかかります。

ただし、「電源ボタンでロック」をオフにすると、□(電源ボタン)を押してもセキュリティはかかりません。

スタート画面のセキュリティを解除する

セキュリティの種類を「パターン」「ロックNo.」「パスワード」に設定している場合は、スタート画面で[🔓]をスライドした後、設定しているセキュリティ解除方法を実行してください。



memo

- ◎スタート画面のセキュリティを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)への電話はかけられます。
- ◎セキュリティの解除パターン／ロックNo.／パスワードを5回続けて失敗した場合は、正しく指定されていない旨のメッセージが表示されます。「OK」をタップして30秒後に再試行できます。
- ◎Smart Lockを設定している場合、スタート画面の[🔓]をタップすると、Smart Lockが一時的に解除され、設定しているセキュリティが有効になります。

スタート画面の背景を設定する

スタート画面の背景を変更できます。

1 スタート画面設定メニュー→[スタート画面の背景]

2 [別の画像を設定する]

- ・「画像を選択」をタップすると、あらかじめ用意されている壁紙以外の画像を選択できます。

3 画像を選択→[壁紙に設定]



memo

- ◎操作2で「壁紙の設定を引き継ぐ」を選択した場合は、ホーム画面の壁紙がスタート画面の背景となります。

セキュリティの設定をする

1 設定メニュー→[セキュリティ]

セキュリティ設定メニューが表示されます。

2 プライバシーデータ設定	アプリが電話帳などのプライバシーデータへアクセスしたとき、ポップアップ表示でお知らせするかどうかを設定します。
端末の暗号化	内部ストレージを暗号化します。暗号化を行うと、電源を入れるたびにパターン、ロックNo.またはパスワードの入力が必要になります。
SIMカードロック設定	▶P.102「SIMカードロックを設定する」
パスワードを表示	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理アプリ	端末管理アプリを表示または無効にします。
提供元不明のアプリ	▶P.76「提供元不明のアプリのダウンロード」
ストレージのタイプ	認証情報ストレージのタイプを表示します。
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
ストレージからインストール	暗号化された証明書を内部ストレージとmicroSDメモリーカードからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。
信頼できるエージェント	信頼できるエージェント(Smart Lockなどの機能)を管理します。
画面の固定	特定のアプリの画面を固定して表示するように設定します。
使用履歴にアクセスできるアプリ	アプリの使用履歴データへのアクセスを許可するアプリを管理します。

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.12)をご参照ください。

1 セキュリティ設定メニュー→[SIMカードロック設定]→[SIMカードロック]を選択

2 SIMカードのPINコードを入力→[OK]

■電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

■PINコードを変更する

SIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 セキュリティ設定メニュー→[SIMカードロック設定]→[PINコードの変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

アカウントの設定をする

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

・同期するには、本製品でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

1 設定メニュー→[アカウント]

アカウント設定メニューが表示されます。

2 同期の設定をするアカウントの種別をタップ→同期の設定をするアカウントを選択



◎アカウント設定メニューで[]→[データの自動同期]→[OK]と操作すると、自動同期のオン/オフを切り替えることができます。

アカウントを追加/削除する

■アカウントを追加する

1 アカウント設定メニュー→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種別を選択

3 画面の指示に従って操作

■アカウントを削除する

1 アカウント設定メニュー→削除するアカウントの種別を選択→削除するアカウントを選択→[]

2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]



◎他のアプリで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」(▶P.103)が必要です。

言語と入力に関する設定をする

1 設定メニュー→[言語と入力]

2 言語(Language)	日本語と英語の表示を切り替えます。 ・起動中のアプリが終了する場合があります。
現在のキーボード	デフォルトのキーボードを設定します。
iWnn IME	▶P.33「iWnn IMEの各種設定を行う」
iWnn IMEキータイ入力	▶P.34「iWnn IMEキータイ入力の設定を行う」
Google音声入力	音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。
音声入力	音声入力サービスの各種設定を行います。
テキスト読み上げの出力	Googleテキスト読み上げエンジン テキストを読み上げる言語や、Googleテキスト読み上げエンジンの設定ができます。 Google Playから標準装備以外の言語に対応した音声データをインストールすることもできます。
音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
音声の高さ	テキストを読み上げる音程を設定します。
サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
デフォルトの言語のステータス	デフォルトの言語の状態を表示します。
ポインタの速度	ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。

※表示される項目は、画面によって異なります。

memo

- ◎ テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声合成エンジンのインストールが必要な場合があります。また、テキスト読み上げは「言語(Language)」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。
- ◎ microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェアアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

バックアップとリセット

1 設定メニュー→[バックアップとリセット]

バックアップとリセット設定メニューが表示されます。

2	データのバックアップ	アプリのデータや設定などをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
	バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
	自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップ済みのデータや設定を復元するように設定します。
	データの初期化	▶P.103「本製品を初期化する」

本製品を初期化する

1 バックアップとリセット設定メニュー→[データの初期化]

2 [携帯端末をリセット]→[OK]→[すべて消去]

- ・スタート画面の設定によっては、セキュリティ解除が必要な場合があります。

memo

- ◎ データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップをおすすめします。
- ◎ [SDカード内データを消去]を選択するとmicroSDメモリカード内のデータを消去できます。
- ◎ 設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
 - ・SIMカードロック設定
 - ・[NFC/おサイフケータイロック]の設定/ロックNo.
- ◎ 本製品を初期化すると、デジタル著作権管理(DRM)コンテンツのライセンス情報が削除され、コンテンツの再生ができなくなる場合があります。
- ◎ プリセットされているアプリの一部は削除されます(▶P.25)。

日付と時刻の設定をする

1 設定メニュー→[日付と時刻]

日付と時刻設定メニューが表示されます。

2	自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
	自動タイムゾーン	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正します。
	日付設定	▶P.103「日付を設定する」
	時刻設定	▶P.103「時刻を設定する」
	タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選択します。
	24時間表示	選択すると24時間表示、解除すると12時間表示となります。 ※ アプリによっては、対応されない場合があります。

memo

- ◎ 「自動設定」をオンにするとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「自動設定」に設定されています。
- ◎ 日付、時刻、タイムゾーンの手動設定をするには、あらかじめ「自動設定」「自動タイムゾーン」をオフにする必要があります。
- ◎ 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。設定メニュー→[日付と時刻]→[タイムゾーンの選択]→設定するタイムゾーンを選択、と操作して、タイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[日付設定]

2 数字を上下にスライドして日付を合わせる

3 [OK]

時刻を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[時刻設定]

2 数字を上下にスライドして時間と分を合わせる

「24時間表示」をオフにしている場合は、「午前」「午後」をスライドして切り替えます。

3 [OK]

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー→[ユーザー補助]

2	スマートフォン自動診断	スマートフォン自動診断を利用するかどうかを設定します。
	拡大操作	トリプルタップで拡大/縮小表示をするかどうかを設定します。
	大きい文字サイズ	文字サイズが大きくなります。
	高コントラストテキスト	画面に表示されるテキストのコントラストを上げるかどうかを設定します。
	画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するか設定します。
	テキスト読み上げの出力	▶P.102「言語と入力に関する設定をする」
	色反転	画面の色を反転表示するように設定します。
	色補正	画面の色を補正するように設定します。
	字幕	字幕表示に対応したアプリ使用時に、字幕を表示するかどうかを設定します。
	ロングタッチ時間	ロングタッチの時間を設定します。
	電源ボタンで通話を終了	<input type="checkbox"/> (電源ボタン)で通話を終了するかどうかを設定します。
	ユーザー補助のショートカット	簡単な操作でユーザー補助機能を起動できるようにするかどうかを設定します。

ユーザー補助プラグインを利用する

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助プラグインを有効にします。ユーザー補助のプラグインは、Google Playからインストールすることができます。

memo

- ◎ TalkBackを本製品にインストールしてオンにすると、タッチガイド機能がオンに設定されます。タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示することができる機能です。タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップをし、スライドをする場合は、2本の指で画面上を目的の方向へなぞります。タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー→[ユーザー補助]→[TalkBack]→[設定]と操作し、「タッチガイド」を解除します。

印刷に関する設定をする

Googleクラウドプリントを利用したプリンタの設定を行います。

- 印刷の利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.22)をご参照ください。

1 設定メニュー→[印刷]

2 [クラウド プリント]→[ON]にする→[OK]

使用できるプリンタの一覧が表示されます。

- 「■」をタップすると、プリンタの追加や設定を変更できます。

端末情報に関する設定をする

本製品のバージョンなどの情報を確認します。また、ソフトウェア更新などを行います。

1 設定メニュー→[端末情報]

ソフトウェア更新	▶P.119「ソフトウェアやOSを更新する」
端末の状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
SIMカードの状態	▶P.120「SIMロック解除」
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
使用情報	本製品の使用情報を送信するかどうかを設定します。
モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
Processor info	
Androidバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	
認証情報	

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する	106
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス).....	106
着信転送サービスを利用する(標準サービス).....	106
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス).....	107
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス).....	107
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス).....	108
三者通話サービスを利用する(オプションサービス).....	111
割込通話サービスを利用する(オプションサービス).....	111
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス).....	111
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス).....	112
グローバルパスポート	112
GLOBAL PASSPORT(グローバルパスポート)について.....	112
海外でご利用になるときは.....	112
海外で安心してご利用いただくために.....	113
海外利用に関する設定を行う.....	113
渡航先で電話をかける.....	113
渡航先で電話を受ける.....	113
お問い合わせ方法.....	114
サービスエリアと海外での通話料.....	114
パケットサービス・メッセージサービスの通信料.....	115
主な国・地域の国際アクセス番号&国番号一覧.....	115
グローバルパスポートに関するご利用上の注意.....	115

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.55
	着信お知らせサービス	P.106
	着信転送サービス	P.106
	発信番号表示サービス	P.107
	番号通知リクエストサービス	P.107
有料オプションサービス*	お留守番サービスEX	P.108
	三者通話サービス	P.111
	割込通話サービス	P.111
	迷惑電話撃退サービス	P.111
	通話明細分計サービス	P.112

* 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(<http://www.au.kddi.com/>)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する (標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

- 「着信お知らせサービス」を利用するには、お留守番サービスEXの圏外転送を設定してください(▶P.108)。
※ 有料オプションサービスにご契約されていない場合も設定を行ってください。
- 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
- お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- 着信があつてから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.108)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。

電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

memo

- 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.107)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- au国際電話サービスをご利用いただき、海外の電話に転送する際は、転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。
- au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※ お客様のご負担となります。 ※ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]→[無応答転送]
- 3 [転送]→[転送時間]→転送時間を設定→[OK]
 - ・ 転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。
 - ・ [OFF]をタップすると転送サービスを停止できます。
- 4 [転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]

memo

- 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]→[話中転送]
- 3 [転送]→[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]
 - ・ [OFF]をタップすると転送サービスを停止できます。

memo

- 話中転送と割込通話サービス(▶P.111)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなどに、電話を転送します。

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]→[圏外転送]
- 3 [転送]→[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]
 - ・ [OFF]をタップすると転送サービスを停止できます。

memo

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[選択転送]→[選択転送]
- 3 [転送]→[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]

memo

- ◎ 着信中に転送操作をすると、転送先電話番号に転送します。
- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]→[フル転送]
- 3 [転送]→[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]

- ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

memo

- ◎ フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.12)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様の端末のディスプレイに表示されるサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

- ◎ 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気をつけください。
- ◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- ◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
[非通知設定] (ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
[公衆電話] (Pay Phone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
[通知不可可能] (Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 アプリ一覧→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[発信者番号通知を許可]を「ON」にする

memo

- ◎ 電話をかけるときに「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知を許可」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- ◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知を許可」をオンにしても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- ◎ 「発信者番号通知を許可」をオフにしても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。
- ◎ 海外でのローミング中は、相手の方に電話番号が通知されない場合があります。
- ◎ 国際ローミング中は、「発信者番号通知を許可」の機能は無効になります。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

- ◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- ◎ お留守番サービス(▶P.108)、着信転送サービス(▶P.106)、割込通話サービス(▶P.111)、三者通話サービス(▶P.111)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.111)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- ◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[番号通知リクエストサービス]→[番号通知リクエストサービス]を「ON」にする

memo

- 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直してください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外(国際ローミングエリア)へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手の方からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
- 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ 公衆電話、国際電話
 - ・ SMS
 - ・ その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[番号通知リクエストサービス]→[番号通知リクエストサービス]を「OFF」にする

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.99)を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- ・ 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入の場合、お留守番サービスは開始されています。
- ・ お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.107)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで*1
お預かりできる件数	99件まで*2
1件あたりの録音時間	3分まで

- *1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
- *2 件数は伝言とボイスメール(▶P.109)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわらず、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

- 1 ホーム画面→[電話]→[1][4][1]→[発信]
- 2 ガイダンスに従って操作

memo

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話をお留守番サービスに転送します。

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]→[無応答転送]
- 3 [留守番]→[転送時間]→転送時間を設定→[OK]
 - ・ 転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。
 - ・ 「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 4 [OK]

memo

- 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]→[話中転送]
- 3 [留守番]
 - ・ 「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 4 [OK]

memo

- 話中転送と割込通話サービス(▶P.111)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなどに、電話をお留守番サービスに転送します。

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]→[圏外転送]
- 3 [留守番]
 - ・ 「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 4 [OK]

memo

- 国際ローミング中は、ご利用になれません。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動でお留守番サービスに転送します。

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[選択転送]→[選択転送]
- 3 [留守番]
- 4 [OK]



- ◎着信中に転送操作をすると、お留守番サービスに転送します。
- ◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
- 2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]→[フル転送]
- 3 [留守番]
 - ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
- 4 [OK]



- ◎フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

- 1 お留守番サービスで留守応答
 - ・かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.110「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)。
 - ・電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。
- 2 伝言を録音
録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。
- 3 「#」を押して録音を終了
録音終了後、ガイダンスに従って次のボタン操作ができます。
「1」:録音した伝言を再生して、内容を確認する
「2」:録音した伝言を「至急扱い」にする
「9」:録音した伝言を消去して、取り消す
「✳」:録音した伝言を消去して、録音し直す
- 4 電話を切る



- ◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
- ◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

- 1 ホーム画面→[電話]→[1][6][1][2]+相手の方のau電話番号を入力→[発信]
- 2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音



- ◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。



- ◎同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
- ◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
- ◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- ◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

- 1 ホーム画面→[電話]→「1」をロングタッチ→[OK]
ホーム画面→[電話]→[メニュー]→[通話設定]→[通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[伝言メッセージ再生]→[OK]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
ホーム画面→[電話]→[1][4][1][7]→[発信]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
- 2 ガイダンスに従ってボタン操作
画面にキーボードが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。
「1」:同じ伝言をもう一度聞く
「4」:5秒間巻き戻して聞き直す
「5」:伝言を一時停止(20秒間)*
「6」:5秒間早送りして聞く
「9」:伝言を消去
「0」:伝言再生中の操作方法を聞く
「#」:次の伝言を聞く
「✳」:前の伝言を聞く
※「通話終了」以外のボタンをタップすると、伝言の再生を再開します。
- 3 [通話終了]



- ◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.109)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容を確認／変更したり、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 アプリ一覧→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[応答内容変更]→[OK]

ホーム画面→[電話]→[1][4][1][4]→[発信]と操作しても設定できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

3 [1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話終了]

画面にキーボードが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

3 [2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[通話終了]

画面にキーボードが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

3 [3]→応答メッセージを確認→[通話終了]

画面にキーボードが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

3 [7]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[通話終了]

画面にキーボードが表示されていない場合は、「ダイヤルキー」をタップして表示します。

memo

- ◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- ◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないように設定することができます。
- ◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- ◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。

あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくとお客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。

詳しくは「応答メッセージの録音／確認／変更をする」(▶P.110)をご参照ください。

1 ホーム画面→[電話]→[1][6][1][0]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[通話終了]

memo

- ◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言の蓄積停止を解除する

1 ホーム画面→[電話]→[1][6][1][1]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[通話終了]

memo

- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(無条件)開始	1418
留守番転送設定(無条件)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.12)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 アプリ一覧→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[ガイダンスの言語を変更]→[英語ガイダンス]→[OK]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。ホーム画面→[電話]→[1][4][1][9][1]→[発信]と操作しても切り替えることができます。

memo

- ◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 アプリ一覧→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[ガイダンスの言語を変更]→[日本語ガイダンス]→[OK]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。ホーム画面→[電話]→[1][4][1][9][0]→[発信]と操作しても切り替えることができます。

memo



- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

三者通話サービスを利用する (オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中の電話画面^{*}→[メニュー]→[通話を追加] →Bさんの電話番号を入力

通話中に電話帳や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。
^{*}シンクコールのポップアップが表示されている場合は、「電話画面」をタップしてください。ポップアップは、「」/」をタップすると表示されます。

2 [発信]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさん呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは「通話終了」をタップするとAさんとの通話に戻ります。
Bさんとの通話を保留にしてAさんとの通話に戻るには、「切り替え」をタップします。

4 [メニュー]→[グループ通話]

3人で通話できます。
「通話終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。



- ◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- ◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- ◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- ◎ 三者通話の2人目の相手の方として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する (オプションサービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。



- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。
- ◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Nano IC Card 04を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 アプリ一覧→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[割込通話]

3 「割込通話」を「ON」にする

ホーム画面→[電話]→[1][4][5][1]→[発信]と操作しても開始できます。



- ◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.107)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.111)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 アプリ一覧→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[割込通話]

3 「割込通話」を「OFF」にする

ホーム画面→[電話]→[1][4][5][0]→[発信]と操作しても停止できます。



- ◎ 4G(LTE/WiMAX 2+)パケット通信中は、割込通話サービスを停止しても着信します。
- ◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 着信画面→[受話]

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。



- ◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
- ◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する (オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

■ 撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

- 1 ホーム画面→[電話]→[1][4][4][2]→[発信]
アプリ一覧→[設定]→[通話]→[通話サービス設定]→[迷惑電話撃退サービス]→[+]→[最新の電話番号を追加]と操作しても登録できません。
 - 2 [通話終了]
- 電話番号を指定して登録する場合
- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
 - 2 [通話サービス設定]→[迷惑電話撃退サービス]→[+]
 - 3 [直接入力して追加]→撃退する電話番号を入力→[登録]

memo

- ◎登録できる電話番号は30件までです。
- ◎電話番号の通知のない着信についても登録できます。
- ◎登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎国際ローミング中は、受信拒否リストへの登録ができません。日本で登録した相手の方でも国際ローミング中は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となる場合があります。
- ◎登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・SMS

■ 登録した電話番号を全件削除する

- 1 ホーム画面→[電話]→[1][4][4][9]→[発信]
 - 2 [通話終了]
- 電話番号を指定して削除/編集する
- 1 アプリ一覧→[設定]→[通話]
 - 2 [通話サービス設定]→[迷惑電話撃退サービス]
 - 3 削除する電話番号を選択→[削除]→[OK]
 - ・編集する場合は、編集する電話番号を選択→電話番号を編集→[登録]と操作します。

■ 通話明細分計サービスを利用する (オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

- 1 ホーム画面→[電話]→[1][3][1]+相手先電話番号を入力→[発信]
- 2 [通話終了]

memo

- ◎分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。
- ◎国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

グローバルパスポート

GLOBAL PASSPORT (グローバルパスポート)について

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM/UMTS/LTEネットワークのいずれでもご利用いただけます。

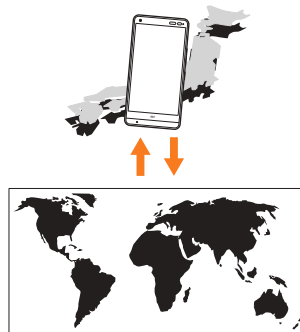
- ・いつもの電話番号のまま、海外で話せます。
- ・特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は日本国内分との合算請求です。お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

- ◎国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただけるサービスです。

■ ご利用イメージ

- 1 日本国内では、auのネットワークでご利用になれます
- 2 海外で電源をオンにすると、海外の事業者のネットワークで電話とSMSがご利用いただけます
- 3 パケット通信を行う場合は「データローミング」(▶P.113)を有効に設定します
- 4 海外に到着後、本機の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます



■ 海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートをご利用になるときは、海外利用に関する各種設定を行ってください。新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。

http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」(▶P.114)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては「SIMカードロックを設定する」(▶P.102)をご参照ください。

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料・パケット通信料は、日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

■ データローミングを設定する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]を選択→注意事項の内容を確認して[OK]

- アプリ一覧→[設定]→[データ使用量]→[■]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]を選択→注意事項の内容を確認して[OK]と操作しても、データローミングを有効にできません。



memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。

渡航先で電話をかける

■ 渡航先から国外(日本含む)に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面→[電話]

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 日本の国番号「81」を入力

4 市外局番「3」を入力

地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリア・モスクワの固定番号など一部例外もあります)。

5 相手の方の電話番号「1234XXXX」を入力→[発信]

- 発信時にオプションメニュー画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。



memo

- ◎電話をかける相手の方が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
- ◎「+」のダイヤルでつながらない場合は、「+」の代わりに渡航先の国際アクセス番号(▶P.115)を入力してください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話をかけることができます。

1 ホーム画面→[電話]

2 地域番号(市外局番)・相手先電話番号の順に入力

3 [発信]

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。



memo

- ◎渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料(▶P.114)がかかります。
- ◎日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- ◎日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間: 24時間

1 ホーム画面→[電話]

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→[発信]

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1(渡航先別電話番号)

国・地域名	お問い合わせ番号
北米・中南米	アメリカ/カナダ 1-877-532-6223
	メキシコ 01-800-123-3426
アジア	インド 000800-810-1134
	インドネシア 001-803-81-0235
	韓国 002-800-00777113
	シンガポール/タイ/香港 001-800-00777113
	台湾/中国/フィリピン/マカオ/マレーシア 00-800-00777113
	ベトナム 120-81-003
ヨーロッパ	イギリス/イタリア/オランダ/オーストリア/スイス/スペイン/ドイツ/ベルギー 00-800-00777113
	トルコ 00-800-8191-0089
	フランス 0800-90-0209
オセアニア	オーストラリア 0011-800-00777113
	グアム 1-888-891-3297
	サイパン 811-0064
	ハワイ 1-877-532-6223
中東	アラブ首長国連邦 800-081-0-0102
アフリカ	南アフリカ 0800-99-4522

受付時間: 24時間



- ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
- 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
- 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。
- 記載のない国・地域、および最新情報についてはauホームページをご参照ください。
<http://www.001.kddi.com/accessnumber/index.html>

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2(通話料有料)

「一般電話からのお問い合わせ方法1」でかけられない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

1 渡航先の国際アクセス番号(▶P.115)を入力→「81366706944」を入力→[発信]

日本国内からのお問い合わせ

au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)

一般電話から ☎ 0077-7-111 (通話料無料)

受付時間 9:00~20:00(年中無休)

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国・地域や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円/分。

国・地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他の国への国際通話料	着信した場合の料金
中国	○	○	70	175	265	145
韓国	○	○	50	125	265	70
台湾	○	○	70	175	265	145
タイ	○	○	70	175	265	155
フィリピン	○	○	75	175	265	155
インドネシア	○	○	70	260	280	155
ベトナム	○	○	70	195	280	80
香港	○	○	70	175	265	145
シンガポール	○	○	75	175	265	155
インド	○	○	70	180	280	180
マレーシア	○	○	75	175	265	80
マカオ	○	○	70	175	265	145
オセアニア						
ハワイ	○	○	120	140	210	165
グアム	○	○	80	140	210	130
サイパン	○	○	80	140	210	130
オーストラリア	○	○	80	180	280	80
北米・中南米						
アメリカ	○	○	120	140	210	165
カナダ	○	○	120	140	210	165
メキシコ	○	○	70	230	280	180
ブラジル	○	○	80	280	280	140
ヨーロッパ						
フランス	○	○	80	180	280	110
ドイツ	○	○	80	180	280	110
イギリス	○	○	80	180	280	110
イタリア	○	○	80	280	280	110
スペイン	○	○	80	180	280	110
スイス	○	○	80	180	280	110
オランダ	○	○	80	180	280	110
トルコ	○	○	80	180	280	110
オーストラリア	○	○	80	180	280	110
ベルギー	○	○	80	180	280	110
アフリカ						
アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140
南アフリカ	○	○	80	180	280	160



- 日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- 渡航先でコレクトコール・トルフリーナンパーなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
- アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国・地域内通話料金(120円/分または80円/分)となります。
- 中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「他の国への国際通話料」(265円/分)となります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
- 2015年11月現在の情報です。
- 記載のない国・地域および最新情報についてはauホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/global-passport/area-charge/>

パケットサービス・メッセージサービスの通信料

■パケットサービス・メッセージサービスの通信料(免税)

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円/KB	100円/通	無料

■海外ダブル定額(免税)

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB(割引前通信料が40,000円分)まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。

海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/charge/packet-discount/kaigai-double-teigaku/lte/>



- ◎ 海外でご利用になった場合の料金です。海外で受信したパケット量に応じて課金されます。
- ◎ 渡航先でのパケット通信料は、国内各種割引サービス・パケット通信料定額/割引サービスの対象となります。
- ◎ 1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日(0:00~23:59)の通信に対する金額です。月額定額制ではありません。

主な国・地域の国際アクセス番号&国番号一覧

■国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ/ハワイ/カナダ/グアム/サイパン	011
中国/マカオ/ベトナム/メキシコ/インド/フィリピン/マレーシア/イギリス/ドイツ/フランス/イタリア/スペイン/オランダ/スイス/トルコ/オーストリア/ベルギー/アラブ首長国連邦/南アフリカ	00
韓国	001, 002, 00700
香港/タイ/インドネシア/シンガポール	001
台湾	002, 005
ブラジル	0014, 0021
オーストラリア	0011

■国番号(カントリーコード)

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アメリカ(USA)	1	台湾(TWN)	886
アラブ首長国連邦(ARE)	971	中国(CHN)	86
イギリス(GBR)	44	ドイツ(DEU)	49
イタリア(ITA)	39	トルコ(TUR)	90
インド(IND)	91	日本(JPN)	81
インドネシア(IDN)	62	ハワイ(USA)	1
オーストラリア(AUS)	61	フィリピン(PHL)	63
オーストリア(AUT)	43	ブラジル(BRA)	55
オランダ(NLD)	31	フランス(FRA)	33
カナダ(CAN)	1	ベトナム(VIE)	84
韓国(KOR)	82	ベルギー(BEL)	32
グアム(USA)	1	香港(HKG)	852
サイパン(USA)	1	マカオ(MAC)	853
シンガポール(SGP)	65	マレーシア(MYS)	60
スイス(CHE)	41	南アフリカ(ZAF)	27
スペイン(ESP)	34	メキシコ(MEX)	52
タイ(THA)	66		



- ◎ 記載のない国・地域および最新情報についてはauホームページをご参照ください。
- ◆ 国際アクセス番号
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/inquiry/>
- ◆ 国番号
<http://www.001.kddi.com/countrycode/>

グローバルパスポートに関するご利用上の注意

■渡航先での音声通話に関するご注意

- ・ 渡航先でコレクトコール、トルフリーナンバー、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- ・ 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- ・ 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、日本国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれておりますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■通話明細に関するご注意

- ・ 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- ・ 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- ・ 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■渡航先でのパケット通信料に関するご注意

- ・ 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に(渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります)請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- ・ 日本国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- ・ 渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話(およびご利用の地域によってはSMS)のみご利用になれます。
- ・ SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかつたり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- ・ SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- ・ 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■ その他ご利用上の注意

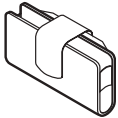
- ・ 渡航先での通話料・パケット通信料は、日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ・ 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- ・ 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- ・ 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しただくとつながりやすくなる場合があります。
- ・ 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- ・ サービスエリア内でも、電波の届かないところではご利用になれません。
- ・ グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- ・ 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- ・ グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- ・ 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- ・ 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- ・ 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の日本国内通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- ・ 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- ・ 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オン(再起動)することでご利用可能となる場合があります。

付録	118
周辺機器のご紹介	118
故障とお考えになる前に.....	118
イヤホンを使用する	119
ソフトウェアやOSを更新する.....	119
SIMロック解除	120
アフターサービスについて.....	120
利用できるデータの種類.....	121
主な仕様.....	121
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	121
索引	122
知的財産権について	124
おサイフケータイ [®] 対応サービスご利用上の注意	125
au Wi-Fi SPOT利用規約	126
OpenSSL License.....	127
FCC Notice	127
European RF Exposure Information.....	127
Declaration of Conformity	127

付録

周辺機器のご紹介

- 共通ACアダプタ05 (0501PWA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 (0301PQA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 ネイビー (0301PBA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 グリーン (0301PGA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 ピンク (0301PPA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 ブルー (0301PLA) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (ホワイト) (L02P001W) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (レッド) (L02P001R) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (ブルー) (L02P001L) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (ピンク) (L02P001P) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (シャンパンゴールド) (L02P001N) (別売)
- auキャリングケースFブラック (0105FCA) (別売)
- auキャリングケースGブラック (0106FCA) (別売)



- auキャリングケースHブラック (0107FCA) (別売)
- ポータブル充電器02 (0301PFA) (別売)
- microUSBケーブル01 (0301HVA) (別売)
- microUSBケーブル01 ネイビー (0301HBA) (別売)
- microUSBケーブル01 グリーン (0301HGA) (別売)
- microUSBケーブル01 ピンク (0301HPA) (別売)
- microUSBケーブル01 ブルー (0301HLA) (別売)



- ◎ ポータブル充電器02 (別売) では、本製品を十分に充電できない可能性があります。
- ◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ (<http://www.au.kddi.com/>) にてご確認ください。お客さまセンターにお問い合わせください。
- ◎ 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。
<http://auonlineshop.kddi.com/>

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.20
	□ (電源ボタン) を着信ランプが点灯するまで長く押ししていますか？	P.21
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.20
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.20
	指定の周辺機器 (アダプタなど) で充電していますか？	P.20
操作できない / 画面が動かない / 電源が切れない	□ (電源ボタン) を11秒以上長く押しと強制的に電源を切り再起動することができます。	P.21
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.20
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.20
電話がかかりにくい	電源は入っていますか？	P.21
	au Nano IC Card 04が挿入されていますか？	P.19
	電話番号が間違っていないですか？ (市外局番から入力していますか？)	P.36
	電話番号入力後、「発信」をタップしていますか？	P.36
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.99
	「圏外」が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところになっていませんか？
Wi-Fi®がつかない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.29
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.94
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	-
	「機内モード」が設定されていませんか？ エコモード設定時もWi-Fi®がオフへ設定されます。	P.99 P.80
ディスプレイ / 着信ランプは点灯 / 点滅するが着信音が鳴らない	「着信の音量」が最小に設定されていませんか？	P.100
	マナーモードに設定されていませんか？	P.100
ボタン / タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.21
	スタート画面のセキュリティが設定されていませんか？	P.101
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.21
おサイフケータイ®が使えない	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.20
	おサイフケータイ®をロックしていませんか？	P.73
	本製品の ㊄ マークがある位置を読み取り機にかざしていますか？	P.72
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.24
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.21
「㊄」が表示される	au Nano IC Card 04が挿入されていますか？	P.19
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.20
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.99
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？	P.20
	・赤色の充電ランプが消灯するまで、充電してください。	
	内蔵電池が寿命になっていませんか？	P.10
	「㊄」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.29

こんなときは	ご確認ください	参照
電話をかけたときに受話部(レシーバー)から「ブーツ、ブーツ、ブーツ…」と音がしてつながらずすぐに消える	サービスエリア外か、電波の弱いところにはいませんか？ 無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。	P.29 -
ディスプレイの照明がすぐに消える	「スリープ」が短く設定されていませんか？ エコモード設定時、バックライト消灯が「15秒」へ設定されます。	P.100 P.80
画面照明が暗い	「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？ 本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。 エコモード設定時、画面の明るさが最小値に設定されます。	P.100 -
相手の方の声が聞こえない/聞き取りにくい	通話音量が最小に設定されていませんか？ 受話部(レシーバー)が耳に当たるようにしてください。	P.36 P.18 P.19
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？ イヤホンマイク端子の奥までしっかり挿入してください。	P.119
テレビが映らない/映像が止まる/音声が出る	電池残量が少なくなっていますか？ 地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？ TVアンテナを伸ばしていますか？ 視聴している場所が選択している地域と合っていますか？	P.20 P.69 P.70 P.71
動作が遅くなった/アプリの動作が不安定になった/一部のアプリを起動できない	メモリの空き容量がなくなると動作が安定しませんが、空き容量が少なくなったら、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.69 P.76
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。 同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	- P.64
microSDメモ리카ードを認識しない	microSDメモ리카ードは正しく取り付けられていますか？ microSDメモ리카ードのマウントが解除されていますか？	P.88 P.101
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていますか？ 本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.20 P.65

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。
<http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair>

イヤホンを使用する

イヤホン(市販品)、イヤホンマイク(市販品)、ステレオイヤホンマイク(市販品)を接続して使用します。

- 1 本製品のイヤホンマイク端子カバーを開ける
- 2 イヤホンマイク端子にイヤホン(市販品)を接続



◎イヤホンマイク(市販品)の種類によっては使用できない場合があります。

ソフトウェアやOSを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

ソフトウェアのアップデートの種別により、更新の方法が異なります。

- ・本製品本体でソフトウェアをダウンロードして更新する
- ・本製品本体でWi-Fi®を利用して、ソフトウェアをダウンロードして更新する

■ご利用上の注意

- ・パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ・ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ・更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ・十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- ・電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ・ソフトウェア更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ・ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ・ローミング中は、ご利用になれません。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアやOSをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

- 1 アプリ一覧→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]
- 2 [更新確認]
以降は、画面の指示に従って操作してください。



- ◎利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ◎ソフトウェア更新/OSアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、アプリ一覧→[設定]→[端末情報]→[SIMカードの状態]→[状態の更新]と操作して行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://cs.kddi.com/support/simcard/>

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。

本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

memo

- ◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au電話を譲渡・承継された場合、「安心ケータイサポートプラスLTE」の加入状態は譲渡者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更時・端末増設時などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」・「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Nano IC Card 04について

au Nano IC Card 04は、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客様センター(紛失・盗難時の外線停止のお手続きについて)

- 一般電話からは ☎0077-7-113(通話料無料)
- au電話からは 局番なしの113(通話料無料)
- 受付時間 24時間(年中無休)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

- 一般電話/au電話からは ☎0120-925-919(通話料無料)
- 受付時間 9:00~21:00(年中無休)

オンライン修理受付(24時間受付)

- ※パソコン、スマートフォンからのみ受付可能
- https://cs.kddi.com/support/n_login.html



- インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障(破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど)の場合は、問診が必要のためお電話での受付となります。
- インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容		安心ケータイサポートプラスLTE	
		会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目 無料	補償なし
	2年目以降	お客様負担額 1回目:5,000円 2回目:8,000円 長期でご利用のお客様は2,000円割引となります*	
預かり修理	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失	1年目	無料
		2年目以降	無料(3年保証)
	部分破損	お客様負担額 上限5,000円	実費負担
	水濡れ、全損	お客様負担額 10,000円	
盗難、紛失	補償なし	補償なし (機種変更対応)	

金額はすべて税抜

※3年目(25カ月)以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割(WINシングルセット割、またはスマホセット割)に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合は対象です。

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色*)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

※同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品は、次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	.3gp、.mp4、.m4a、.3g2、.flac、.mp3、.mid、.xmf、.mxmf、.rtttl、.rtx、.ota、.imy、.ogg、.mkv、.ts、.wav、.aac、.amr
静止画	.jpg、.png、.bmp、.gif、.webp
動画	.3gp、.mp4、.m4v、.3g2、.ts、.webm、.mkv



- ◎ サイズによっては再生できない場合があります。
- ◎ 著作権保護が設定されているデータは、再生できない場合があります。

主な仕様

ディスプレイ	約5.0インチ、約1,677万色、TFT全透過型 720×1,280ドット(HD)	
質量	約155g	
充電時間(目安)	共通ACアダプタ O5(別売)	約160分
連続通話時間	国内	約1,300分
	海外(GSM/ UMTS/LTE)	約880分
連続待受時間	国内	約790時間
	海外(GSM/ UMTS/LTE)	約900時間
連続テザリング 時間	約980分	
Wi-Fiテザリング 最大接続数	10台	
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約71×141×10.1mm	
内蔵メモリ容量*	ROM:約16GB RAM:約2GB	
アウトカメラ有効画素数	約1,300万画素	
インカメラ有効画素数	約200万画素	
無線LAN(Wi-Fi)機能	IEEE802.11b/g/n準拠	
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.1準拠*2
	出力	Bluetooth®標準規格Class 1
	通信距離*3	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・機能*4	GATT SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN-NAP(Personal Area Networking-Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking-User) SCMS-T(Serial Copy Management System-T) HOGP(HID over GATT Profile) MAP(Message Access Profile) DUN(Dial-Up Networking Profile)*5
	使用周波数帯	2.4GHz帯
連続ワンセグ視聴時間	約12時間30分	

- *1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
- *2 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- *3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
- *4 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のごことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
- *5 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。



- ◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種KYV36の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準*ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.444W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.507W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- auのホームページ
<http://www.au.kddi.com/>

* 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

索引

記号/数字/アルファベット

au ID.....	22
au Nano IC Card 04.....	18、19
取り付け.....	19
取り外し.....	20
au Wi-Fi接続ツール.....	84
auお客さまサポート.....	82
au国際電話サービス.....	37
au災害対策アプリ.....	84
auスマートサポート.....	82
auスマートパス.....	86
au設定メニュー.....	98
auのネットワークサービス.....	105
英語ガイドンス.....	110
遠隔操作サービス.....	107、110
応答メッセージ.....	110
お留守番サービスEX.....	108
お留守番サービス総合案内.....	108
圏外転送.....	106
三者通話サービス.....	111
受信拒否リスト.....	111
選択転送.....	107
蓄積停止.....	110
着信お知らせサービス.....	106
着信転送サービス.....	106
通話明細分計サービス.....	112
伝言お知らせ.....	109
伝言録音.....	109
日本語ガイドンス.....	110
発信番号表示サービス.....	107
番号通知リクエストサービス.....	107
フル転送.....	107
ボイスメール.....	109
無応答転送.....	106
迷惑電話撃退サービス.....	111
留守伝言再生.....	109
話中転送.....	106
割込通話応答.....	111
割込通話サービス.....	111
auベシックホーム.....	28
Bluetooth®機能.....	93
機器登録.....	93
起動.....	93
注意.....	16
データの送受信.....	94
パスキー.....	93
ペアリング.....	93
Chrome.....	60
Webページの移動.....	60
Webページの表示.....	60
Webページのメニュー.....	60
ブックマーク.....	61
ブックマーク登録.....	61
履歴.....	61
Eメール.....	40
Eメールアドレスの変更.....	53
検索.....	46
作成.....	42
受信.....	45
設定.....	51
送信.....	42
デコレーションメール.....	44
添付.....	43
バックアップ.....	53
フォルダ作成.....	49
フォルダロック.....	50
振分け条件.....	45、49
迷惑メールフィルター.....	54
モード切替.....	40
Facebook.....	76
Gmail.....	57
更新.....	57
作成.....	57
受信.....	57
送信.....	57
転送.....	58

返信.....	58
メニュー.....	58
Google Play.....	75
Googleアカウント.....	22
Googleマップ.....	77
周辺のスポット.....	77
道案内.....	77
iWnn IME.....	33
キー操作音.....	33
キー操作バイブ.....	33
キーボードタイプ.....	33
キーポップアップ.....	33
候補表示行数.....	33
自動カーソル移動.....	33
トグル入力.....	33
microSDメモ리카ード.....	88
初期化.....	89
取り付け.....	88
取り外し.....	88
microSDメモ리카ードスロット.....	18
microUSBケーブル.....	
接続.....	89
NFC(FeliCa対応)アンテナ部.....	18
OS更新.....	119
PCメール.....	40、57
PINコード.....	12
変更.....	102
PINロック解除コード.....	12
Playミュージック.....	68
曲検索.....	68
再生.....	68
プレイリスト作成.....	69
Playムービー&TV.....	69
SAR.....	121
SATCH.....	67
SIMロック解除.....	120
SMS.....	55
SMSセンター.....	55
検索.....	56
削除.....	56
作成.....	55
受信.....	56
受信フィルター.....	57
設定.....	55
送信.....	55
転送.....	56
返信.....	56
TVアンテナ.....	18
VPN設定.....	99
Wi-Fi®.....	95
簡単設定.....	95
起動.....	94
スリープ設定.....	95
接続.....	95
切断.....	95
注意.....	16
ネットワークを追加.....	95
Wi-Fi Direct®.....	95
YouTube.....	76

あ

アウトカメラ.....	18
アカウント.....	102
アカウントを削除.....	102
アカウントを追加.....	102
同期.....	102
アシストリング.....	30
アフターサービス.....	120
アプリ一覧.....	25
ナビゲーション.....	27
メニュー.....	27
アラーム.....	78
繰り返し.....	78
設定.....	78
暗証番号.....	12
安心アクセス.....	83
安心ケータイサポートプラスLTE.....	120
位置情報の設定.....	101
イヤホンマイク端子.....	18
イヤホンマイク端子カバー.....	18
インカメラ.....	18
印刷.....	104
インターネット.....	60
引用入力(マッシュルーム).....	32
ウィジェット.....	25
移動.....	25
削除.....	25
追加.....	25
エコモード.....	80
エンターホーム.....	27
オート通信制御.....	98
おサイフケータイ®.....	72
NFCタグリーダー.....	74
NFCメニュー.....	74
ご利用にあたって.....	72
サポートメニュー.....	75
ロック設定.....	73
音と通知の設定.....	100
音量調節.....	100
操作音.....	100
着信音.....	100
マナーモード.....	100
音声レコーダー.....	79
音量.....	100
音量下/上ボタン.....	18

か

カード挿入口カバー.....	18
外部接続端子.....	18
外部接続端子カバー.....	18
各部の名称と機能.....	18
カメラ.....	65
エフェクト.....	67
画面の見かた.....	66
静止画撮影.....	67
設定.....	66
セルフタイマー.....	66
動画撮影.....	67
カレンダー.....	78
作成.....	78
タイトル.....	78
通知.....	78
メニュー.....	78
簡易ライト.....	18、80
機内モード.....	99
基本操作.....	24
ギャラリー.....	68
静止画の編集.....	68
緊急速報メール.....	85
近接センサー.....	18
クイック起動エリア.....	27
グローバルパスポート.....	112
お問い合わせ方法.....	114
電話番号.....	115
国際アクセス番号.....	115
データローミング.....	113
携帯電話機の比吸収率(SAR).....	121
ケータイ入力.....	32

設定	34
言語と入力	102
Google音声入力	102
言語	102
テキスト読み上げの出力	102
故障とお考えになる前に	118

さ	
災害関連情報	85
災害用音声お届けサービス	85
災害用伝言板	86
撮影ライト	18, 66
自分の電話番号	38
充電	20
充電ランプ	18
周辺機器	118
受話部	18
仕様	121
ショートカット	25
移動	25
削除	25
追加	25
ショートカットキー	27
シンクコール設定	38
ズームイン/ズームアウト	24
スクラッチヒーリング	11
スクリーンショット	30
スクリーンショットシェア	81
スタート画面の設定	101
ステータスアイコン	29
ステータスバー	24, 29
ストラップ取付口	18
ストレージ	89, 101
ストレージの設定	101
スピーカー	18
スマートソニックレシーバー	19
スマートフォン自動診断	84
スライド	24
スライドスクリーン	25
スリープモード	22
赤外線通信	92
受信	92
送信	92
認証コード	92
赤外線ポート	18
セキュリティの設定	102
送話口	18
ソフトウェア更新	119
ご利用上の注意	119
ダウンロード	119

た	
タッチ撮影	67
タッチパネル	18, 24
タップ	24
ダブルタップ	24
端末情報	104
着信拒否	100
着信中のメニュー	37
着信ランプ	18
通知アイコン	29
通知パネル	29
通話音声メモ	99
通話履歴	36
ディスプレイ	18
ディスプレイの設定	100
明るさ	100
自動回転	100
フォント切替	100
データの初期化	103
データ表示	68
メニュー	68
テザリング	96
Bluetoothテザリング	96
USBテザリング	96
Wi-Fiテザリング	96
テレビ	69
視聴	70
視聴画面の操作	70

終了	71
初期設定	70
設定	70
データ放送	70
テレビリンク	71
番組表	71
放送エリア	71
電源ボタン	18
電源を入れる	21
電源を切る	21
伝言メモ	99
電卓	79
電池使用状況	101
電話	35
SMS応答	37
受ける	37
かける	36
設定	99
伝言メモ応答	37
転送	37
電話帳	64
インポート	65
エクスポート	65
お気に入り登録	64
グループ	64
削除	64
作成	64
電話をかける	64
登録	64
編集	64
時計	78
設定	78
ドラッグ	24
取り扱い上のお願	11

な	
内蔵GPS/Bluetooth®/Wi-Fi®アンテナ部	18
内蔵サブアンテナ部	18
内蔵メインアンテナ部	18
内部ストレージ	88
ナビゲーションバー	24

は	
バケット通信	60
注意	16
バックアップとリセット	103
ハンガアウト	77
光センサー	18
日付と時刻	103
表記方法	8
ファイルコマンド	90
フォルダ	25
移動	25
削除	25
作成	25
フリック	24
プロフィール	38
ボイスパーティー	37
ホーム画面	24

ま	
マイク	18
マップ	77
マナーモード	100
無線とネットワーク	98
メール	40
Eメール	40
Gmail	40, 57
PCメール	40
SMS	40, 55
メモ帳	79
文字入力	30
英語/その他ユーザー辞書	33
絵文字入力	32
顔文字入力	32
記号入力	32
切り取り	32
ケータイ入力	32
コピー	32

日本語ユーザー辞書	33
貼り付け	32
フリック感度	33
フリック入力	31, 33
モバイルネットワーク	99

や	
ユーザー補助	103
予測変換	33

ら	
リーダー/ライター	72
レシーバー	18
レンズ部	18
ロングタッチ	24

わ	
ワイルドカード予測機能	31
ワンセグ	69

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



iWnn IME

Google, Google ロゴ, Android, Android ロゴ, Google Play, Google Play ロゴ, Play ミュージック, Playミュージック ロゴ, Playムービー, Playムービー ロゴ, Gmail, Gmail ロゴ, Google マップ, Google マップ ロゴ, Googleドライブ, Googleドライブ ロゴ, ハングアウト, ハングアウト ロゴ, Googleマップナビ, Googleマップナビ ロゴ, Google Chrome, Google Chrome ロゴ, Google 音声検索, Google 音声検索 ロゴ, YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft®, Windows® および Windows Vista® / Windows® 7 / Windows® 8 / Windows® 8.1 / Windows® 10 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。

Microsoft®, Microsoft® Excel®, Microsoft® PowerPoint®, Windows Media®, Exchange® は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Microsoft® Word, Microsoft® Office は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。

ロヴィ、Rovi, Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、および Gガイド関連ロゴは、米国 Rovi Corporation および / またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

microSD, microSDHC, microSDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

WiMAX は、WiMAX フォーラムの商標です。

Wi-Fi®, WPA®, Wi-Fi CERTIFIED ロゴ, Wi-Fi Protected Setup ロゴ, Wi-Fi Direct®, Miracast® は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™, Wi-Fi Protected Setup は Wi-Fi Alliance の商標です。

FeliCa はソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術方式です。

FeliCa はソニー株式会社の登録商標です。

ℱ は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

Facebook および Facebook ロゴは Facebook, Inc. の商標または登録商標です。

Twitter, Twitter ロゴは Twitter, Inc. の商標または登録商標です。

LINE は、LINE 株式会社の商標または登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社の iWnnIME を使用しています。iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2015 All Rights Reserved.

©2014 Comic Communication Co., Ltd. All rights reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

- (1) ACCESS, ACCESS ロゴ, NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- (2) 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

「エントリーホーム」「DIGNO」「スマートソニックレシーバー」は京セラ株式会社の登録商標です。

書体切り替えには、株式会社リムコーポレーションの「もじチェン」を使用しています。「もじチェン」は株式会社リムコーポレーションの登録商標です。本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

本製品には、絵文字画像として株式会社 NTT ドコモ から利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

本製品には、赤外線通信機能としてイーグロバレッジ株式会社の DeepCore® 3.0Plus for Android を搭載しています。Copyright © 2012 E-Globeledge Corp. All Rights Reserved.

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

シーン検出技術には株式会社モルフォの「PhotoScouter」を採用しております。「PhotoScouter」は株式会社モルフォの登録商標です。

夜景ポートレート撮影向け合成技術には「Morpho Night Portrait」を採用しています。「Morpho Night Portrait」は株式会社モルフォの商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」は株式会社モルフォの商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Rapid Effect」を採用しております。「Morpho Rapid Effect」は株式会社モルフォの商標です。

HDR (High Dynamic Range) 技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

その他社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

■ Windows の表記について

本書では各 OS (日本語版) を以下のように略して表記しています。

- Windows 10 は、Microsoft® Windows® 10 (Home, Pro, Enterprise) の略です。
- Windows 8 は、Microsoft® Windows® 8, Microsoft® Windows® 8 Pro, Microsoft® Windows® 8 Enterprise の略です。
- Windows 7 は、Microsoft® Windows® 7 (Starter, Home Basic, Home Premium, Professional, Enterprise, Ultimate) の略です。
- Windows Vista は、Microsoft® Windows Vista® (Home Basic, Home Premium, Business, Enterprise, Ultimate) の略です。

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
- (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
- (c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPL およびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。

また米国政府機関が定める米国輸出規制(Export Administration Regulations、およびその他の関連法令)、その他の国の法令等の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を直接的、または間接的に問わず輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省、その他関係機関へお問い合わせください。

■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客様のご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客様の端末の故障診断および使用状況データ(お客様によるアプリケーションの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客様によるアプリケーションの使用に関する詳細情報(特定の機能、使用頻度、メモリ/電池の使用状況))を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客様より端末の修理依頼があった際、お客様の同意のうえ収集することがあります。

おサイフケータイ[®]対応サービスご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ[®]対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ[®]対応サービスについて

1. おサイフケータイ[®]対応サービスとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用い、おサイフケータイ[®]に搭載されたFeliCaチップまたはTypeA/B方式に対応した、2章2項に定めるau ICカード内データを保存できるau ICカード各種(以下、au ICカードといいます)を利用したサービスです。NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー/ライター(R/W)機能、機器間通信(P2P)機能がご利用いただけます。
2. おサイフケータイ[®]対応サービスは、おサイフケータイ[®]対応サービス提供者(以下、SPといいます)が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ[®]対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ[®]対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ[®]対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCaチップ内及びau ICカード内のデータの取り扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ[®]対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ[®]のFeliCaチップまたはau ICカードへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます)及びau ICカードに保存されたデータ(電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、au ICカード内データといいます)の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ[®]の故障等により、FeliCaチップ内データまたはau ICカード内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ[®]の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ[®]の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ[®]をauショップもしくはPiPiItにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのバックアップ、移し替え等の措置(以下、SPバックアップ等といいます)については、SPの定めるおサイフケータイ[®]対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ[®]対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ[®]対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内またはau ICカード内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ[®]対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ[®]対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内またはau ICカード内データの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップまたは他のau ICカードへの移し替え等を行うことはできません。
7. その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3. FeliCaチップまたはau ICカードの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ[®]対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ[®]に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードを特定するために、当該FeliCaチップ及びau ICカード固有の番号が、おサイフケータイ[®]対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ[®]対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ[®]に搭載されたFeliCaチップ及びau ICカード固有の番号と、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップまたはau ICカードの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
3. auショップもしくはPiPiItは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客さまの電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内またはau ICカード内データについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

5. その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他のau電話におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約内容又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身のFeliCaチップ内またはau ICカード内データの削除ができなくなることがあります。なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内またはau ICカード内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。
4. 機内モード設定中は、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。

au Wi-Fi SPOT利用規約

「au Wi-Fi SPOT」のご利用にあたっては、以下の利用規約の内容を承諾の上、ご利用ください。

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス(以下「当社」といいます。)、はこの利用規約(以下「本規約」といいます。))に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI・沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者(以下「KDDI等」といいます。))の通信サービスの契約者(以下の(3)項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。))に対して、「au Wi-Fi SPOT」(以下「本サービス」といいます)を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

- (1) 当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの(以下「お客さま」といいます。))はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。
- (2) 当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。
- (3) 本サービスの提供対象者と利用可能エリアは、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。
- (4) 本サービスの提供は(3)項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。
- (5) 本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。
- (6) 国際ローミングサービスの取扱いは次によります。
 - ① お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。
 - ② お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。

- ③ 当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。
- ④ お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等(知的財産権その他の権利の侵害等をいう。))の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。
- ⑤ お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとし

- (7) 国際ローミングサービスの利用可能エリアと通話料金等は、次によります。なお、ご契約のプランによっては国際ローミングサービスがご利用になれませんので、Web等でご確認ください。
 - 1) 利用可能エリア(国、地域等)はWeb等に掲載します。
 - 2) 通話料金は、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通話料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。
- (8) 本サービスの利用により生じた債権は当社がKDDI等に譲渡し、その債権額をKDDI等から請求します。
- (9) 本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。
- (10) お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。
- (11) 本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。
- (12) 当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報、次の目的のために利用させていただきます。
 - ・ サービスの紹介、提案、および申込受付のため
 - ・ サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
 - ・ サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
 - ・ サービスの提供に関する妥当性の判断のため
 - ・ 他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
 - ・ お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
 - ・ 市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
 - ・ ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
 - ・ サービスの終了後の管理のため
 - ・ その他お客さまのお取引を適切かつ円滑に履行するため
- (13) 本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本改訂規約は、2013年10月31日から実施します。

OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these

international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

European RF Exposure Information

Your mobile device is both a radio transmitter and receiver, and is designed not to exceed limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were produced by independent scientific organization, ICNIRP, and include safety margins designed to protect all persons, regardless of age and condition of health.

The guidelines apply a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg, and the highest SAR value for this device was 0.651 W/kg*.

As testing measures SAR at the highest transmitting power of a device, actual SAR tends to be lower during ordinary operation. Lower SAR levels are typical during ordinary operation as automatic changes are made within the device to ensure the network can be reached with minimal power.

The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions to be adopted when using mobile devices. WHO also notes that those wishing to reduce exposure may do so by limiting call length and by using a 'hands-free' device to distance the phone from the head and body. For further information, please see the WHO website: <http://www.who.int/peh-emi/en/>

* Note that tests are also carried out in accordance with international testing guidelines.

Declaration of Conformity

Product is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2.

Safety Information

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.



MEMO

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、 一人ひとりができること。

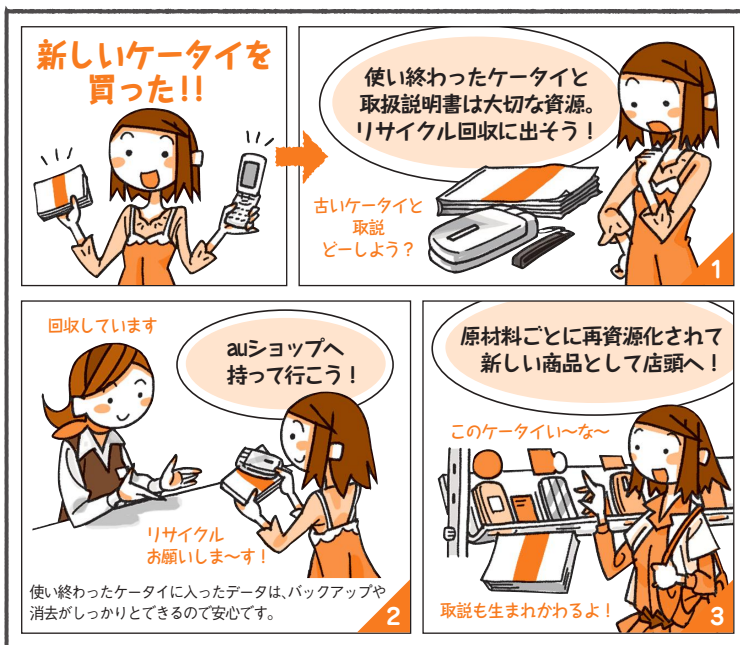
それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。

取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立っています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。

みなさまのご協力をお願いいたします。



ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

<http://www.au.kddi.com/mobile/recycle>

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について (通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

一般電話からは



0077-7-111

au電話からは

局番なしの157番

Pressing “zero” will connect you to an operator,
after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて (通話料無料)

受付時間 24時間 (年中無休)

一般電話からは



0077-7-113

au電話からは

局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)



0120-977-033 (沖縄を除く地域)



0120-977-699 (沖縄)

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について (通話料無料)

受付時間 9:00~21:00 (年中無休)

一般電話/au電話から



0120-925-919



有害サイトから
子供を守る!



やめましょう、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した、紙資源を
製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。
本冊子は、その一環として製作されています。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話やPHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再
利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機
・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず④マーク
のあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2015年11月第1版

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元：京セラ株式会社